SHIZUOKA Association of Radiological Technological Technological SHIZUOKA Southal of the SHIZUOKA Association of Radiological Technological Te SHIZUOKA

J.O.U.R.N.A.L

Vol. 32 No. 1 2022 (通巻214号)

		次 一	1111			
米 面 =	「今長就任になたって」		今 .	直桥	吉	

会告	第12回フレッシャーズセミナー (9/10) 第38回日本診療放射線技師学術大会(兵庫県)(ハイブリッド開催)(9/16~18) 第15回静岡県MRI技術研究会(10/15) 秋季公開講演会(11/3) 第14回中部放射線医療技術学術大会(愛知県)(11/5~6) 令和4年度原子力緊急時災害対策研修会(11/19)	2 3 4 5 6 7
おめでと	う <mark>ございます 永年勤続表彰</mark>	8
新役員名約 新役員挨抗 委員会·普	<u> </u>	10 11 17
報告	第6回ワークライフバランス検討委員会研修会(2/26) 第14回静岡県MRI技術研究会(3/12)	19 21
	令和3年度静岡県放射線技師研修会(3/19) 第11回公益社団法人静岡県放射線技師会定時総会・第26回静岡県放射線技師学術大会(5/29) 令和4年度叙勲受章祝賀会(5/29) 令和4年度第1、2回告示研修(実技研修)(6/4~5) 第47回放射線技師のためのセミナー(6/18)	22 23 25 29 31
学術論文	第14回静岡県MRI技術研究会(3/12) 令和3年度静岡県放射線技師研修会(3/19)	32 35
受賞記念	第12回中部放射線医療技術学術大会学術奨励賞	49
メッセー	ブボード	50
本会の歩る会員動静本会への名	み	54 57 58
議事録	令和 4 年度 第 1 回理事会議事録(4/23) 第11回静岡県放射線技師会定時総会 議事録(抄) 令和 4 年度 臨時理事会議事録	59 80 92
仁市 又合。	カリング ダー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	94



『会長就任にあたって』

(公社)静岡県放射線技師会 会長 髙橋 真



この度、公益社団法人静岡県放射線技師会の会長に就任いたしました、すずかけセントラル病院の髙橋真と申します。前任の山本英雄会長の後を引き継ぎ12代目の会長となります。本会は昭和23年に発足し、70年以上という長い歴史を有しております。これまで歴任されてこられた会長はじめ、諸先輩方が築き上げてきた実績や、ご苦労を考えると、大変身が引き締まる思いです。

さて、本会の役割は、診療放射線技師の職業倫理を高揚するとともに、放射線の安全利用及び診療放射線技術の向上発展を図り、県民の健康維持増進に寄与することを目的とした会です。

これらを踏まえ、今回の就任にあたり、まずは3つの課題に取り組みたいと考えております。その1つ目として、タスクシフト/シェアに伴う診療放射線技師法改正の告示研修の推進を図ることです。本年6月4,5日両日、第1回、第2回の研修が実施されました。曽我生涯教育委員長をはじめとする委員会の皆様と密に連絡を取りながら、一人でも多くの会員がこの研修を受講できるよう、また、ファシリテーターの方々の負担を軽減できるよう調整をしてまいります。

2つ目は、会員加入率を70%(1,100人)以上にしていくことです。県内には、1,500名を超える診療放射線技師がおりますが、そのうち4月現在982名(約65%)が静岡県放射線技師会の会員となっております。1つ目の課題とも重複しますが、医師のタスク/シフトに伴う告示研修の受講率向上のための環境や、各部会や委員会が活動しやすい環境を

作り、魅力ある技師会の運営がなされれば、 自ずと加入者が増えるのではないかと考えて おります。

また、私自身感じている研修会等の魅力の一つとして、他施設の会員同士で様々な交流が出来ることだと考えております。今後の感染の状況にもよりますが、感染対策指針に則った対応を行いながら、会場を利用しての研修を1回でも多く開催し、互いの顔が見え、相互に交流が出来る場を提供したいと考えております。

3つ目に、啓蒙活動や情報発信の強化として、重要な機能であるホームページの更新です。Zoomなどを利用したウェブ研修が増える中、会員の皆様への情報の発信や、県民の皆様へ放射線に関する正しい情報が提供できる形を模索したいと考えております。

また、各地区で開催されているふれあい広 場等での啓蒙活動に加え、テレビや映画でラ ジエーションハウスが放映され、診療放射線 技師という職業に関心が高まっている中、日 本診療放射線技師会でも議題に上がっている 中・高校生への啓蒙活動も、組織理事の皆様 とともに、前向きに検討してまいりたいと思 います。

世界情勢が目まぐるしく変化する中、診療 放射線技師に求められる役割は、今後更に増 えていくのではないかとも感じております。 新たな役員と力を合わせ、会員の皆様や県民 のために、誠心誠意努力いたします。

どうか、今までと変わらぬご支援とご指導 ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上 げます。

告

「第12回 フレッシャーズセミナー」

日本診療放射線技師会では診療放射線技師のためのフレッシャーズセミナーとして、新たに診療放射線技師として勤務するフレッシャーズを対象とした基礎講習を開催いたします。

下記の内容にて開催いたしますが、新人のみではなく、会員・非会員、すでに勤務している方、どなたでも参加可能なプログラムとなっています。医療安全・感染対策等の研修としての活用も可能です。是非とも参加して頂き日常業務への糧になればと考えております。

今回の講習会は会場型で開催いたします。新規採用3年以内の診療放射線技師を優先的に 受け付けたいと思います。多くの方々の参加をお待ちしております。

記

【日 時】 令和4年9月10日(土曜日)

13時00分~17時30分(受付12時45分~)

【場 所】藤枝市立総合病院 2 階講堂

【対 象】 会員、非会員(新規採用3年以内の方を優先)

【参加費】 無料

【お申込み】 メールかFAXにて会員番号、名前、勤務先、技師歴をお知らせください

Email kyouiku@shizuhogi.jp FAX 054-251-9690

申込期間は9月2日(金曜日)まで。

定員は40名 (新規採用3年以内の方を優先)

【内 容】 12:45~13:00 受付

13:00~13:30 入会案内

13:30~14:30 エチケット・マナー、医療コミュニケーション講座

14:30~15:30 医療安全講座 15:30~16:30 感染対策講座 16:30~17:30 被ばく低減講座



生涯教育委員会

『第38回日本診療放射線技師学術大会(兵庫県)』

第38回日本診療放射線技師学術大会を2022年9月16日(金)から18日(日)までの3日間、神戸コンベンションセンターで開催致します。

本大会は「タスク・シフト/シェアに伴う業務拡大を推進しよう ~革新への挑戦~」を掲げ、準備を進めています。現段階では、新型コロナウイルス感染症に関する国の政策や海外からの受け入れ態勢などを見据え、一部対面形式、一部ライブ形式でのハイブリッド開催とし、後日オンデマンド配信を行う計画です。

先の見えない感染症対応、状況の変化などの要素による紆余曲折が予想されますが、可能な限り従来の学会発表や各種講演・セミナーを開催し、その上で今後の社会に向けた新たな方法や可能性を探っていきたいと思います。

大会に参加いただける皆様には、さまざまな点でご不便をお掛けするかもしれませんが、 われわれと共に新たな社会に向けて歩きだそうではありませんか。

今後の情勢により変更する場合がありますが、感染予防対策を実施してまいりますので、 ご理解ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。皆様のご来場を心よりお待ち申し上 げております。

記

【日 時】 2022年9月16日(金)·17日(土)·18日(日)

【場 所】 神戸コンベンションセンター〔ハイブリッド開催〕 〒650-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町6丁目

【参加費】 正会員 事前参加登録 10,000円 当日参加登録 14,000円 非会員 事前参加登録 15,000円 当日参加登録 18,000円 学 生 事前参加登録 2,000円 当日参加登録 2,000円 (学生:学部学生のみ.社会人大学院生は含まれません)

【内 容】 学会発表・各種講演・セミナーを開催予定 オンデマンド配信

告

『第15回静岡県MRI技術研究会 開催案内』

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。このたび下記の通り「第15回静岡県MRI技術研究会」を開催することになりました。今回は「小児」をテーマとした内容になっております。3年ぶりの会場参加型での開催を予定しております。皆さまお誘いあわせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。 敬具

記

【日 時】 令和 4 年10月15日(土) 14:00~16:30(受付開始;13:30)

【場 所】 B-nest静岡市産学交流センター ペガサート 6 F プレゼンテーションルーム 〒421-0857 静岡市葵区御幸町3-21 (054-275-1655)

*公共交通機関をご利用ください。

※Web開催への切り替えの可能性あり。(新型肺炎の感染状況を鑑みて、8月頃に決定予定)

【参加費】 500円

【内 容】

1. 企業講演 造影剤に関する情報提供

2. 会員発表

「小児MRIの検査環境について」 「小児MRIの撮像技術について」 静岡県立こども病院 佐野 恭平 会員 富士市立中央病院 鈴木 健太郎 会員

3. 教育講演

小児 (新生児~未就学児) の中枢神経系領域を撮像する上で、技師が知っておくべきポイントについてご講演いただきます。

静岡県立こども病院 放射線診療部 小山 雅司 先生

※本会は、日本磁気共鳴専門技術者認定機構の認定研究会です(更新点数5単位)。

※本会は、日本救急撮影認定機構の認定講習会です(2単位)。

出席証明書は、認定単位取得の証明に使用できます。

(公社) 静岡県放射線技師会MRI部会/ゲルベ・ジャパン株式会社

以上

11月3日(木·祝) 公益事業 令和4年度秋季公開講演会 県民公開講座 (公社)静岡県放射線技師会

『レントゲン週間 がん検診受診率向上を目指して』参加のお願い

静岡県放射線技師会は公益事業としてがん撲滅、そしてがん検診受診率向上を目指し、県民の皆様が安心して健康で過ごせますように健康増進を推進するため、また、放射線技師の資質向上を目的とした講演会の企画をしています。

本年度は、様々ながんに対応すべく会員から複数のがん検診受診をテーマに3演題。

講演は、聖隷福祉事業団 保健事業部 地域・企業健診センター 副所長 兼 聖隷福祉 事業団 保健事業部精度管理センター長 丹羽 宏 先生 にご講演頂きます。

詳細等はすべて決まっていませんが、多くの方々に興味を持ってもらえる、参加したくなるような内容を企画できればと思っています。

つきましては、ご家族やご近所様、職場の方など皆様お誘い合わせの上、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

【日 時】 令和 4 年11月 3 日 (木·祝) 13:55~16:30

【場 所】 静岡県産業経済会館 大会議室 + Web配信 (Hybrid開催) 〒420-0853 静岡県葵区追手町44番地の1 TEL 054-273-4331

【参加費】 無料 (Webは事前申込制)

【申込方法】 静岡県放射線技師会ホームページの会告・セミナーの参加申込フォームよりお申し込みください (専用ページURL http://shizuhogi.jp/i/seminar.html)

【Web申込期間】 令和4年10月3日(月)~11月2日(水)

【内 容】

13:30~ 受付開始 13:55~14:00 会長挨拶

14:00~15:00 会員演題(20分:3演題) 『受診前に知ってほしい胃がん検診情報』

聖隷沼津健康診断センター 山崎 洋和 会員

『もっと知ろう乳がん検診』

聖隷三方原病院 中村 陽子 会員

『DWIBSによるがん検診について』

すずかけセントラル病院 健康管理センター 佐藤 好将 会員

15:10~16:10 公開講演

『静岡県の肺がん検診の実情と胸部X線写真の読影』

聖隷福祉事業団保健事業部 地域・企業健診センター 副所長 兼

聖隷福祉事業団保健事業部 精度管理センター長 丹羽 宏 先生

『第14回中部放射線医療技術学術大会(CCRT)』

第14回中部放射線医療技術学術大会(CCRT)を11月5,6日の2日間にて、3年ぶりに ウインクあいちで現地開催いたします。

今回の学術大会のテーマは、「実践知への探究:放射線技術のリテラシー」です。今大会では、その日々の診療行為を見つめ直し、エビデンスに基づいて適切に行われているか、放射線技術のリテラシーがあるのかを皆さんと伴に考え、そして高めていく大会にしたいと思います。また、日常診療の中で、多くの実践知に関して知見をもった方々からの講演も計画しております。皆様とともに学び、ディスカッションができればと考えています。我々が主に扱う電離放射線は、少なからず人体に影響があるといわれています。それを適切に扱うことが我々の責務であり、その結果、様々な放射線画像を有益な診療情報として提供することができます。本テーマを具現化するために様々な企画を準備してまいりますので、是非とも多数の皆様にご参加いただきますよう心よりお願い申し上げます。

大会が開催される頃は、感染状況も改善していることを切に願っております。我々も感染 予防に十分考慮した上で運営させていただきますので、皆様と久しぶりにお会いし語り合う ことができることを楽しみにしております。

大会会長 國友博史 (藤田医科大学)

記

【日 時】 2022年11月5日(土)、6日(日)

【場 所】 ウインクあいち (愛知県産業労働センター) 〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅 4 丁日4-38

【参加費】 正会員 4,000円

(日本放射線技師会,中日本地域放射線技師会,日本放射線技術学会) 非会員 6,000円

学 生 無料 (学生証提示のこと, 社会人除く) 技術学会学生会員 無料 (会員証提示のこと, 社会人除く)

※参加登録方法:本学術大会は事前登録のみとなります。

【内 容】 一般研究発表、ランチョンセミナー 等

最新の情報は、ホームページをご覧ください。 https://square.umin.ac.jp/ccrt2022/index.html

会告告

『令和4年度 原子力緊急時災害対策研修会(ZOOM公開)』

静岡県放射線技師会は、静岡県地域防災計画(原子力災害対策編)の協力団体に指定されております。今回の研修会では、GM管取り扱いと緊急被ばく汚染スクリーナー養成を目指した実習等を行い、その内容などをZOOM配信し、より多くの皆様に原子力災害対応についての知識を深めてもらう企画となっております。また、研修会場に参加頂ける方には、実習後に「浜岡原子力発電所施設見学ツアー」も行います。貴重な機会となると思いますので奮ってご参加ください。

記

【日 時】 令和4年11月19日(土) 会 場 12:45~17:00

ZOOM 13:00~14:30

【参加費】 無料

【参加人数】 ①会場参加者 24名(事前登録制となります。会員の先着順とさせて頂きます。) ②ZOOM視聴参加者 100名

(会員家族、会員職場の皆様へ公開とさせて頂きます。お声掛け等お願いします。)

【会 場】 浜岡原子力発電所

静岡県御前崎市佐倉5561 TEL 0537-85-2460 (浜岡地域事務所 総括・広報) ※会場参加者は現地集合・現地解散となります。

【参加方法】 ①会場参加者

令和4年10月20日(木)までに、下記メールまで参加希望の旨、連絡ください。 (随時受付け、定員となり次第ホームページでお知らせします。)

メールアドレス: fuku-t@shizuhogi.jp 静岡県放射線技師会 副会長 牛場 宛て ②ZOOM視聴参加者

静岡県放射線技師会ホームページの参加申込フォームから申込ください。 申込期間 令和4年10月1日(土)~11月13日(日)

*本研修会の著作権等の権利を侵害する行為、録画等の不正利用を固く禁じます。

【内 容】

12:45 受付 開会

13:00 ZOOM公開 「GM管取り扱いとスクリーニング」講義と実習

講師 静岡県放射線技師会管理士部会 千葉部会長・勝浦部会員

14:00 ZOOM公開 演題「浜岡原子力発電所の概要と安全性向上対策」

講師 中部電力(株)浜岡地域事務所 総括・広報グループ長

14:30 浜岡原子力発電所内の見学ツアー (発電所、地震・津波対策状況等)

17:00 閉会

【主 催】 公益社団法人 静岡県放射線技師会



- ・会場参加者はIDカードをご持参ください。また、参加登録 後、警備上及び感染状況等によるお願いをメールで致します。
- ・会場参加者、ZOOM視聴参加者とも原子力緊急時災害対策 研修会受講票をお渡しします。また、会員は日本放射線技師 会学術研修ポイント対象研修となります。
- ・感染状況により変更等の可能性がある事をご理解下さい。



(公社) 静岡県放射線技師会永年勤続表彰者

永年勤続35年

杉山 哲一 沼津市立病院 小栗 徳彦 中東遠総合医療センター

瀧井 達志 焼津市立総合病院 小山 雅之 高仲循環器クリニック

杉村 俊樹 焼津市立総合病院 本多 正英 常葉大学リハビリテーション病院

土井 良高 中東遠総合医療センター 橋本 和明 沼津市立病院

永年勤続20年

篠田 里沙 中東遠総合医療センター 中山 謙 菊川市立総合病院

太田 達也 聖隷予防検診センター 石原 和浩 聖隷健康サポートセンターShizuoka

河井 淑裕 藤枝市立総合病院 伊藤 勝利 中伊豆リハビリテーションセンター

鈴木 恵 聖隷健康診断センター 松崎 真也 ハートセンター磐田

和田 裕香 遠州病院 石塚 正哲 聖隷富士病院

内田 知宏 遠州病院 山村 楠明 遠州病院

畑中 貴台 中東遠総合医療センター 鈴木 絵里 自宅

大川 宏人 静岡県立静岡がんセンター 榊原 智子 静岡県結核予防会

深井 知章 静岡県立静岡がんセンター

顕彰表彰

山本 英雄 聖隷袋井市民病院

和田 健 高橋整形リハビリクリニック

小池 澄男 自宅

功労表彰

松本 恭徳 静岡県立こども病院

役員感謝状

富士宮市立病院 深澤 英史 聖隷健康診断センター 小林 秀行 畑 利浩 島田市立総合医療センター 神谷 正貴 浜松医科大学医学部附属病院 森田 光博 ICHO桜ヶ丘病院 廣瀬 和秀 富十病院 中村 元哉 堀 吉孝 静岡市立静岡病院 静岡県立総合病院 鈴木 紀晶 大石 恵一 静岡県立総合病院 大杉 正典 磐田市立総合病院 畑中 貴台 中東遠総合医療センター 遠藤 基生 静岡赤十字病院 竹山 有希 中東遠総合医療センター 佐野 祐二 国際医療福祉大学熱海病院 勝浦 拓也 聖隷沼津病院 後藤 修司 静岡県立総合病院 疋野奈央子 聖隷予防検診センター 廣澤 賢一 静岡県立静岡がんセンター 大倉 義郎 伊豆保健医療センター 宿島 久志 島田市立総合医療センター 中村 文俊 浜松医療センター

(公社) 日本診療放射線技師会永年勤続表彰者

永年勤続30年

天野 守計 藤枝市立総合病院 阪口 充 沼津市立病院

加藤 和幸 島田市立総合医療センター 植田 到 きせがわ病院

常葉 勇介 静岡市立清水病院 望月 英紀 静岡県産業労働福祉協会

川瀬 俊浩 中東遠総合医療センター

公益社団法人 静岡県放射線技師会 新役員名簿

(任期:令和4年5月29日~令和6年5月26日)

副 会 長 (委員会・企画)	会						長	髙	橋		真	すずかけセントラル病院
副会長(会務) 佐藤正明 JA静岡厚生連清水厚生病院 副会長(学術) 小林秀行 聖隸健康診断センター 監事 事 田 仁 一 聖隷紙松病院 事大倉善郎 伊豆保健医療センター 顧 田 田 健 高橋整形リハビリクリニック 顧		Δ.	丰	(禾	日 /	今· 企				古		A 101 102 1 W 121 100 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1
副会長(学 術) 小林秀行 聖隷健康診断センター 監事 事期日 (一 理談紙病院 事期日 (一 理談紙病院 事期日 (一 理談紙病院 所期日 (市) 日期日 (市) 日期日 (市) 和日 (市) 健康経典計画民病院 日期日 (市) 理事(常任・総務) 一村良也時間見立こども病院 事時間見立こども病院 理事(常任・総務) 河井湖 裕藤枝市立総合病院 理事(常任・総務) 一井級裕 (市) 上十七シターShizuoki 理事(常任・総務) 日本人介 (日本経典) 日本人介 (日本経典) 理事(常任・総務会員管理) 野次 (京 任・金融) 市場間市立清水病院 理事(常任・編集) 常業勇介 (市) 市場間本立市立株院 理事(常任・編集) 常業勇介 (市) 市場間本立市立市域院 理事(常任・編集) 市場間本・中部部 (日本 (本) (市) 市場間県立総合病院 理事(常任・編集) 市場間本・中部 (日本 (本) (日本 (本) (日本 (本) (日本	-			V/20 1000				_				Vincial Control of the Control of
監 事 果 田 一 聖隷浜松病院 監 事 大 倉 郎 伊豆保健医療センター 顧 問 和 田 健 高橋整形リハビリクリニック 顧 間 山 本 基 建課鉄井市民病院 理 事(常任・総務庶務) 河 井 線 藤枝市立総合病院 理 事(常任・総務庶務) 河 井 線 藤枝市立総合病院 理 事(常任・庶務・員曹里 野 沢 滋幸 聖隷健康サポートセンターShizuok 理 事(常任・金計) 斎藤 忍里隷予防検診センター 理 事(常任・金計) 斎藤 勇介 静岡市立清水病院 理 事(常任・編集) 常業勇介 静岡市立清水病院 理 事(組織・中・部) 中村 英明 新岡済生会総合病院 理 事(組織・中部) 中村 子田理 希 磐田市立総合病院 理 事(金融 長下 田理 希 静岡県立静岡原立総合病院 理 事(金融 長下 華田 安島長 大石 恵 京上 原院 海路県立 東京院 理 事(金融 会長 下 華田 安島長 本 原 新田 立 部の院 東京院									10000000000			-
監 事 大 倉 夢 即 伊豆保健医療センター 顧 問 和 田 他 高橋整形リハビリクリニック 顧 問 山 本 基 理 事(常任・総務庶務) 中 村 裏 他 静岡県立こども病院 理 事(常任・総務庶務) 河 井 淑 裕 藤枝市立総合病院 理 事(常任・庶務金員管理) 野 沢 滋 幸 聖糠使康中ボートセンターShizuoki 理 事(常任・庶務金員管理) 野 沢 滋 幸 聖糠砂原厚生連務阿厚生病院 理 事(常任・金 計) 斎 型 型 要職務所院 理 事(常任・金 計) 素 升 静岡市立清水病院 理 事(組織・中 部) 中 村 正 財際所済を合病院 理 事(金 画 資 日 企 事 日 企 事 日 企 事 日 企 事 日 企 事 日 主 工 工	_		10	(-1								
顧 問 和 田 健 高橋整形リハビリクリニック 顧 問 山 本 英 建業袋井市民病院 理 事(常任・総務庶務) 中村東 也 静岡県立こども病院 理 事(常任・庶務一般) 福地大介 JA静岡厚生連静岡厚生病院 理 事(常任・庶務会員管理) 野沢 滋幸 空線健康サポートセンターShizuoka 理 事(常任・会計) 斎藤 忍空業予防検診センター 理 事(常任・広報) 菅原和 仁富士市立中央病院 理 事(常任・広報) 菅原和 仁富士市立中央病院 理 事(部任・広報) 菅原和 仁富士市立中央病院 理 事(部級・東部) 大多和 神田 国際医療福祉大学熱海病院 理 事(組織・東部) 大多和 神田 国際医療福祉大学熱海病院 理 事(組織・東部) 本分正費 野田 新岡済生会総合病院 理 事(企画調査) 長田 新岡県立総合有院 事師周児立総合病院 理 事(企画調査) 長長 本業の上 新岡県立総合有院 理 事(企画調査) 長長 本業の上 新岡市立総合有院 理 生産 本会長 年業の上 新岡県立総合所 <								_				30.000 3000 000 1000 1000 1000 1000
顧 問 山本英雄 聖練袋井市民病院 理 事(常任・総務所) 中村真也 静岡県立こども病院 理 事(常任・総務庶務) 河井淑裕 藤枝市立総合病院 理 事(常任・庶務会員管理) 野沢滋幸 聖隸健康サポートセンターShizuoka 理 事(常任・庶務会員管理) 野沢滋幸 聖隸健康サポートセンターShizuoka 理 事(常任・会計) 斎藤 忍 聖練予防検診センター 理 事(常任・広報) 菅原和仁 富士市立中央病院 理 事(常任・広報) 菅原和 仁 富士市立中央病院 理 事(組織・東部) 大多和 純一国際医療福祉大学熱海病院 理 事(組織・西部) 中村英明 静岡市立結合病院 理 事(金融 新・西部) 寺田理希 磐田市立総合病院 理 事(金融 新・西部) 寺田理希 磐田市立総合病院 理 事(金融 新・金長 下 新・田 東 新 経田市立静岡病院 華藤岡県立総合病院 理 事(金融 新・金長 下 華和 宏 新 全長 下 華和 宏 新 金長 長 市 野 四県立総合病院 管理 生 金長 長 華 新 全 委員 長 管 我 隆 正 電 上 野 「 新 四県立総合 「 新 四県 」 「 新 四県立総合 「 新 四県 」 「 新 四県立総合 「 市 四県 」 「 市 四県 」 「 市 四県 」 「 市 四県 」 「 四県 」												
理 事(常任・総務庶務) 中村良 世	-							-		古		
理 事(常任・総務庶務) 河 井 淑 裕 藤枝市立総合病院 理 事(常任・庶務一般) 福 地 大 介 JA静岡厚生連静岡厚生病院 理 事(常任・庶務一般) 福 地 大 介 JA静岡厚生連静岡厚生病院 理 事(常任・庶務会員管理) 野 沢 滋 幸 聖隸健康サポートセンターShizuoka 理 事(常任・会 計) 斎 藤 忍 聖隸子防検診センター 理 事(常任・広報) 菅 原 和 仁 富士市立中央病院 理 事(當任・広報) 菅 原 和 仁 富士市立中央病院 理 事(組織・東部) 大多和 純 一 国際医療福祉大学熱海病院 理 事(組織・中部) 中 村 英 明 静岡済生会総合病院 理 事(金 画調金) 廣 竇 一 静岡県立静岡がんセンター 超 事(金 画調金) 展 區 三 三七宮市立病院 理 事(金 画調金) 長 天 石 恵 一 静岡県立総合病院 理 事(金 長 大 石 恵 一 静岡県立総合病院 アンギオ部会長長 本 原 修 副長 静岡市立静岡病院 管理士者会長長 本 毎 日 立総合病院 選挙管理委員長 佐藤 修 司 静岡市立静岡病院 選挙管理委員長 佐藤 正 明 JA静岡原生連清水厚生病院 生涯教育委員長 中 村 英 明 市立総合病院 生涯教育委員長 中 村 英 明 市立総合病院 実務所管理運営委員長 自 表	-		車	(沿	- 仁	. 妐						
理 事(常任・庶務一般) 福 地 大 介 JA静岡厚生連静岡厚生病院 理 事(常任・庶務会員管理) 野 沢 滋 幸 聖隸健康サポートセンターShizuoka 理 事(常 任・会 計) 斎 藤 忍 聖隸予防検診センター 理 事(常 任・会 計) 斎 藤 忍 聖隸予防検診センター 理 事(常 任・広 報) 菅 原 和 仁 富士市立中央病院 理 事(組 織・東 部) 大多和 純 一 国際医療福祉大学熱海病院 理 事(組 織・東 部) 中 村 英 明 静岡済生会総合病院 理 事(組 織・西 部) 中 谷 正 貴 浜松医科大学医学部附属病院 理 事(金 画 調 査) 廣 澤 賢 一 静岡県立静岡がんセンター 超 事(金 画 調 査) 廣 澤 賢 一 静岡県立総合病院 理 事(金 画 調 査) 長 天 田 宏 一 富士宮市立病院 理 事(金 画 書) 長 天 東 和 宏 一 静岡県立総合病院 アンギオ部会長長中村陽子 空線三方原病院 子 聖隸三方原病院 管理士新会長長中村陽子 空線三方原病院 事 商 宏 長 中 財 房 開岡県立総合病院 養 事 事 査 委員長 中 山 修 中東遠総合病院 要務所管理運営委員長 佐藤正明 JA静岡厚立総合病院 国 工脳障害研究所附属病院 生涯教育委員長 申 財 英 明 静岡原生海院の所の所属病院 第 日 財 英 財 新 日 工 経 会 会 会 倉 府院 定 新 安員長 申 財 英 明 章 第 日 田 理 希 磐田市立総合病院 定 新 安員長 申 財 英 明 章				-			200.00	-				
理 事(常任・庶務会員管理) 野 沢 滋 幸 聖隷健康サポートセンターShizuoka 理 事(常任・会 計) 斎 藤 忍 聖隷予防検診センター 理 事(常任・宏 報) 菅 原 和 仁 富士市立中央病院 理 事(常任・広 報) 菅 原 和 仁 富士市立中央病院 理 事(組 織・東 部) 大多和 純 一 国際医療福祉大学熱海病院 理 事(組 織・東 部) 中 村 英 明 静岡済生会総合病院 理 事(組 織・西 部) 神 谷 正 貴 浜松医科大学医学部附属病院 理 事(金 画 調 査) 廣 澤 賢 一 静岡県立静岡がんセンター 超 事(金 画 調 査) 廣 澤 賢 一 静岡県立静岡病院 理 事(金 画 調 査) 長 天 石 恵 一 静岡県立総合病院 アンギオ部会長 長 萩 原 雄 三 浜松医療センター 乳腺画像部会長 中村陽子聖隷三方原病院 管理士部会長 手 業 和 宏 静岡市立静岡病院 養 審査委員長 佐藤修司静岡県立総合病院 選挙管理委員長 中中山修中東遠総合病院 要務所管理運営委員長 佐藤正明月A静岡厚生港清水厚生病院 医療安全推進委員長中中村英明静岡済生会総合病院 第1 五脳障害研究所附属病院 学術委員長 中村英明 静岡済生会総合病院 学術委員長 中村英明 静岡済生会総合病院 学術委員長 中村英明 静岡済生会総合病院 京田 電 第2 長 市 現								1 1				
理 事(常任・会計) 斎藤 忍 聖練予防検診センター 理 事(常任・編集) 常葉勇介 静岡市立清水病院 理 事(常任・広報) 菅原和仁 富士市立中央病院 理 事(組織・東部) 大多和純一 国際医療福祉大学熱海病院 理 事(組織・中部) 中村英明 静岡済生会総合病院 理 事(組織・西部) 神谷正貴 孫田理希 磐田市立総合病院 理 事(企画調査) 廣澤 賢一 静岡県立静岡がんセンター 超音波部会長 天田宏一 富士宮市立病院 MRI部会長 天石恵一 静岡県立総合病院 アンギオ部会長 萩原雄三 浜松医療センター 乳腺画像部会長 中村陽子 聖練三方原病院 管理士部会長 養 藤修司 静岡県立総合病院 要要員長 佐藤 修司 静岡県立総合病院 要等管理委員長 中山 修中東遠総合医療センター 事務所管理運営委員長 佐藤正明 JA静岡厚生連清水厚生病院 生涯教育委員長 中山 修 中東遠総合医療でンター 事務所管理運営委員長 佐藤正明 JA静岡原立総合病院 生涯教育委員長 中山 修 中東遠総合医療でンター 事務所管理運営委員長 佐藤正明 JA静岡原生連清水厚生病院 生涯教育委員長 中村英明 静岡済生会総合病院 安月長 中村英明 静岡済生会総合病院 第安月長 中村 英明 静岡済生会総合病院 学 財策安月長 中村 英明 静岡済生会総合病院 学 財策安月長 中村 英明 富士脳障害研究所附属病院 学 所委員長 年 場 勇 介 静岡県立静岡がんセンター 編集 委月長 常業 勇 介 静岡市立清水病院	-							-				Wind account the parties of the control of the cont
理 事(常任・編集) 常葉勇介 静岡市立清水病院 理 事(常任・広報) 菅原和仁 富士市立中央病院 理 事(組織・東部) 大多和純一 国際医療福祉大学熱海病院 理 事(組織・中部) 中村英明 静岡済生会総合病院 理 事(組織・中部) 中村英明 静岡済生会総合病院 理 事(金 圃調査) 廣澤賢一 静岡県立齢岡がんセンター 超 音波部会長 大石恵一 静岡県立総合病院 型 事の会長 大石恵一 静岡県立総合病院 工 市部会長 大石恵一 静岡県立総合病院 工 市部会会長 中村陽子 聖隷三方原病院 管理士部会長 長藤修司 静岡市立静岡病院 養養管理 委員長 佐藤で町 静岡県立総合病院 支援を管理 委員長 佐藤で町 静岡県立総合病院 実務所管理運営委員長 佐藤で町 静岡県立総合病院 生涯教育委員長 中中山修中東遠総合医療センター 事務所管理運営委員長 佐藤正明 国土脳障害研究所附属病院 実務所管理運営委員長 中中村英明 韓岡市立総合病院 東務所管理運営委員長 中村英明 韓岡市立総合病院 東務所管理運営委員長 中村英明 韓岡市立総合病院	_							- 2/-		122		
理 事(常任・広報) 菅原和仁 富士市立中央病院 理 事(組織・東部) 大多和純一 国際医療福祉大学熱海病院 理 事(組織・中部) 中村英明 静岡済生会総合病院 理 事(組織・中部) 中村英明 静岡済生会総合病院 理 事(組織・中部) 中村英明 静岡県立総合病院 理 事(企画調査) 廣澤賢一 静岡県立総合病院 理 事(企画調査) 展 長 大石恵一 静岡県立総合病院 第 部公会長 大石恵一 静岡県立総合病院 第 部公会長 大石恵一 静岡県立総合病院 第 第 第 第 第 第 東線三方原病院 第 事務所管理運営委員長 長藤藤で 東海岡県立総合病院 要 東務所管理運営委員長 佐藤 で現 東海岡県立総合病院 要 東京市管理運営委員長 佐藤 正明 「お藤岡市立総合病院 東京市管理運営委員長 中村英明 第四 第四 第四 第四 第四 第四 第四 <t< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1000 20</td><td></td><td></td><td>孟</td><td></td><td></td></t<>							1000 20			孟		
理 事(組織・東部) 大多和 純 一 国際医療福祉大学熱海病院 理 事(組織・中部) 中村英明 静岡済生会総合病院 理 事(組織・西部) 神谷正貴 浜松医科大学医学部附属病院 理 事(組織・西部) 神谷正貴 浜松医科大学医学部附属病院 超 事(企画調査) 香田理希 磐田市立総合病院 超 音波部会長 天石恵一 静岡県立総合病院 アンギオ部会長 長大石恵一 静岡県立総合病院 東線画像部会長 中村陽子聖隷三方原病院 管理士部会長 千葉和宏静岡市立静岡病院 表彰審査委員長 長藤修司静岡県立総合病院 選挙管理委員長 佐藤 で司静岡県立総合病院 生涯教育委員長 佐藤 正明 JA静岡厚生連清水厚生病院 生涯教育委員長 中村英明 静岡済生会総合病院 医療安全推進委員長中村英明 静岡済生会総合病院 災害対策委員長 中村英明 静岡済生会総合病院 学術委員長 中村 英明 静岡済生会総合病院 学術委員長 中村 英明 静岡済生会総合病院 学術委員長 中村 英明 静岡流生会総合病院 学 簡 要目長 第四年希磐田市立総合病院 学術委員長 中村 英明 静岡市立着水病院	_											
理 事(組織・中部) 中村英明 静岡済生会総合病院 理 事(組織・西部) 神谷正貴 浜松医科大学医学部附属病院 理 事(企画調査) 廣澤賢一 静岡県立静岡がんセンター 超音波部会長 玉田宏一 富士宮市立病院 MRI部会長 大石恵一 静岡県立総合病院 アンギオ部会長 萩原雄三 浜松医療センター 乳腺画像部会長中村陽子 聖隷三方原病院 管理士部会長 千葉和宏静岡市立静岡病院 養節審査委員長後藤修司静岡県立総合病院 静岡県立総合病院 選挙管理委員長中山修中東遠総合医療センター 事務所管理運営委員長佐藤正明JA静岡厚生連清水厚生病院 生涯教育委員長常在藤正明JA静岡淳生連清水厚生病院 生涯教育委員長常百円村英明静岡済生会総合病院 災害対策委員長中村英明韓周済生会総合病院 第出随障害研究所附属病院 学術委員長時期第2 中村英明韓田市立総合病院 学術委員長時期在委員長時澤子田理希韓田市立総合病院 韓田市立総合病院 企画調査委員長時澤子田理希韓田市立総合病院 韓田市立総合病院 企画調査委員長期百年 第選日本 静岡県立静岡がんセンター 編集委員長常業勇介静岡市立清水病院												
理 事(組織・西部) 神谷正貴 浜松医科大学医学部附属病院 理 事(企画調査) 費田市立総合病院 理 事(企画調査) 廣澤賢一 静岡県立静岡がんセンター 超音波部会長 玉田宏一 富士宮市立病院 MRI部会長大石恵一 静岡県立総合病院 アンギオ部会長 萩原雄三 浜松医療センター 乳腺画像部会長中村陽子 聖隷三方原病院 管理士部会長千葉和宏 静岡市立静岡病院 養彰審査委員長後藤修司静岡県立総合病院 選挙管理委員長佐藤正明JA静岡厚生連清水厚生病院 生涯教育委員長中山 修中東遠総合医療センター事務所管理運営委員長佐藤正明JA静岡厚生連清水厚生病院 生涯教育委員長曽我隆正富士脳障害研究所附属病院 医療安全推進委員長中村英明静岡済生会総合病院 災害対策委員長中村英明韓岡済生会総合病院 学術委員長中規定部院所附属病院 学術委員長年場克明電土脳障害研究所附属病院 企画調査委員長 等期度 新岡県立静岡がんセンター 編集委員長第第分静岡市立清水病院				-								
理 事(企 画 調 査) 寺田理 希 磐田市立総合病院 理 事(企 画 調 査) 廣澤賢一 静岡県立静岡がんセンター 超音波部会長 玉田宏一 富士宮市立病院 MRI 部会長 大石恵一 静岡県立総合病院 アンギオ部会長 萩原雄三 浜松医療センター 乳腺画像部会長中村陽子 聖隷三方原病院 管理士部会長千葉和宏静岡市立静岡病院 静岡県立総合病院 麦彰審査委員長後藤修司 静岡県立総合病院 選挙管理委員長佐藤正明JA静岡厚生連清水厚生病院 生涯教育委員長佐藤正明JA静岡厚生連清水厚生病院 生涯教育委員長時我隆正富士脳障害研究所附属病院 災害対策委員長中村英明静岡済生会総合病院 学術委員長中規ラ明富士脳障害研究所附属病院 学術委員長時田理希磐田市立総合病院 企画調査委員長 青田理希磐田市立総合病院 企画調査委員長 青田理希磐田市立総合病院 企画調査委員長 常野 静岡県立静岡がんセンター 編集委員長常業勇介静岡県立静岡がんセンター				- Daniel								
理 事(企 画 調 査) 廣 澤 賢 一 静岡県立静岡がんセンター 超 音 波 部 会 長 玉 田 宏 一 富士宮市立病院 M R I 部 会 長 大 石 恵 一 静岡県立総合病院 アンギオ部会長 萩原雄三 浜松医療センター 乳腺画像部会長中村陽子型隷三方原病院 華 和 宏 静岡市立静岡病院 養 彰 審 査 委員長後藤修司静岡県立総合病院 藤 修司静岡県立総合病院 選挙管理委員長中山修中東遠総合医療センター事務所管理運営委員長佐藤正明JA静岡厚生連清水厚生病院生涯教育委員長曽我隆正富士脳障害研究所附属病院生涯教育委員長曽我隆正富士脳障害研究所附属病院 生涯教育委員長中村英明静岡済生会総合病院 災害対策委員長中村英明 静岡済生会総合病院 学術委員長時日理希 磐田市立総合病院 企画調査委員長 青田理希 磐田市立総合病院 企画調査委員長 青田理希 磐田市立総合病院 企画調査委員長 青田理希 磐田市立総合病院 企画調査委員長 第 男介静岡市立清水病院						- 12		-				
超 音 波 部 会 長 玉 田 宏 一 富士宮市立病院 M R I 部 会 長 大 石 恵 一 静岡県立総合病院 市 恵 一 静岡県立総合病院 ア ン ギ オ 部 会 長 萩 原 雄 三 浜松医療センター 乳 腺 画 像 部 会 長 中 村 陽 子 聖隷三方原病院 管 理 士 部 会 長 千 葉 和 宏 静岡市立静岡病院 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市						調						
M R I 部 会 長 大 石 恵 一 静岡県立総合病院 アンギオ部会長 萩原雄三 浜松医療センター 乳腺画像部会長中村陽子 聖隷三方原病院 管理士部会長千葉和宏静岡市立静岡病院表彰審査委員長後藤修司静岡県立総合病院理業営委員長中山修中東遠総合医療センター事務所管理運営委員長佐藤正明JA静岡厚生連清水厚生病院生涯教育委員長曽我隆正富士脳障害研究所附属病院医療安全推進委員長中村英明静岡済生会総合病院災害対策委員長中村英明静岡済生会総合病院災害対策委員長中村英明韓岡済生会総合病院等時間済生会総合病院 医療安全推進委員長中村英明韓岡済生会総合病院等時間済生会総合病院 で病する日長中村英明韓岡済生会総合病院 上期 新聞音生会総合病院 企画調査委員長 中村 英明 静岡済生会総合病院 学術委員長 中村 英明 静岡市立総合病院 企画調査委員長 帯田理希 磐田市立総合病院 企画調査委員長 廣澤 日田理希 磐田市立総合病院 企画調査要員長 廣澤 日田理希 磐田市立総合病院 企画調査要員長 京業 月介 静岡市立清水病院		<u> </u>										
アンギオ部会長 萩原雄三 浜松医療センター 乳腺画像部会長中村陽子 聖隷三方原病院 管理士部会長千葉和宏静岡市立静岡病院 表彰審査委員長後藤修司静岡県立総合病院 選挙管理委員長中山修中東遠総合医療センター事務所管理運営委員長佐藤正明JA静岡厚生連清水厚生病院生涯教育委員長ウ村英明財岡済生会総合病院医療安全推進委員長中村英明静岡済生会総合病院災害対策委員長中村英明韓岡済生会総合病院災害対策委員長中村英明韓岡済生会総合病院 災害対策委員長中村英明韓岡済生会総合病院 災害対策委員長中村英明韓岡済生会総合病院 資糖買売所附属病院 中村英明韓田市立総合病院 中村英明韓田市立総合病院 中村 英明韓田市立総合病院 中村 英明韓田市立総合病院 中村 英明 韓田市立総合病院 中 西	-											
 乳腺画像部会長中村陽子 聖隷三方原病院 管理士部会長千葉和宏静岡市立静岡病院表彰審査委員長後藤修司静岡県立総合病院 中東遠総合医療センター事務所管理運営委員長佐藤正明JA静岡厚生連清水厚生病院生涯教育委員長曽我隆正富士脳障害研究所附属病院医療安全推進委員長中村英明静岡済生会総合病院災害対策委員長中村英明韓岡済生会総合病院災害対策委員長中村英明富士脳障害研究所附属病院学術委員長寺田理希韓田市立総合病院空時間する 学術委員長 中期 第田市立総合病院 企画調査委員長 廣澤賢一静岡県立静岡がんセンター編集委員長 東東角介静岡市立清水病院 												1970 N. 1870 N
 管理士部会長千葉和宏静岡市立静岡病院表彰審査委員長後藤修司静岡県立総合病院理学管理委員長中山修中東遠総合医療センター事務所管理運営委員長佐藤正明JA静岡厚生連清水厚生病院生涯教育委員長曽我隆正富士脳障害研究所附属病院医療安全推進委員長中村英明静岡済生会総合病院災害対策委員長中村英明静岡済生会総合病院災害対策委員長中規克明韓田市立総合病院学術委員長寺田理希磐田市立総合病院企師調査委員長 青田理希 磐田市立総合病院企師調査委員長 廣澤賢一静岡県立静岡がんセンター編集委員長 東勇介静岡市立清水病院 	_				66,850							1407 (131 (2310) 1903)
表 彰 審 査 委 員 長 後 藤 修 司 静岡県立総合病院 選 挙 管 理 委 員 長 中 山 修 中東遠総合医療センター 事務所管理運営委員長 佐 藤 正 明 JA静岡厚生連清水厚生病院 生 涯 教 育 委 員 長 曽 我 隆 正 富士脳障害研究所附属病院 医療安全推進委員長 中 村 英 明 静岡済生会総合病院 災 害 対 策 委 員 長 中 場 克 明 富士脳障害研究所附属病院 学 術 委 員 長 寺 田 理 希 磐田市立総合病院 企 画 調 査 委 員 長 廣 澤 賢 一 静岡県立静岡がんセンター 編 集 委 員 長 常 葉 勇 介 静岡市立清水病院	_									0.000		
選 挙 管 理 委 員 長 中 山 修 中東遠総合医療センター 事務所管理運営委員長 佐 藤 正 明 JA静岡厚生連清水厚生病院 生 涯 教 育 委 員 長 曽 我 隆 正 富士脳障害研究所附属病院 医療安全推進委員長 中 村 英 明 静岡済生会総合病院 災害 対 策 委 員 長 牛 場 克 明 富士脳障害研究所附属病院 学 術 委 員 長 寺 田 理 希 磐田市立総合病院 企 画 調 査 委 員 長 廣 澤 賢 ー 静岡県立静岡がんセンター 編 集 委 員 長 常 葉 勇 介 静岡市立清水病院										7.00		
事務所管理運営委員長 佐藤正明 JA静岡厚生連清水厚生病院 生涯教育委員長曽我隆正富士脳障害研究所附属病院医療安全推進委員長中村英明静岡済生会総合病院災害対策委員長中場克明富士脳障害研究所附属病院学術委員長寺田理希磐田市立総合病院企画調査委員長廣澤賢一静岡県立静岡がんセンター編集委員長藤澤勇介静岡市立清水病院						110				119		CONTROL D CONTRACTOR CONTROL TO BE SERVICED.
生 涯 教 育 委 員 長 曽 我 隆 正 富士脳障害研究所附属病院 医療安全推進委員長 中 村 英 明 静岡済生会総合病院 災害 対 策 委 員 長 牛 場 克 明 富士脳障害研究所附属病院 学 術 委 員 長 寺 田 理 希 磐田市立総合病院 企 画 調 査 委 員 長 廣 澤 賢 ー 静岡県立静岡がんセンター 編 集 委 員 長 常 葉 勇 介 静岡市立清水病院	-								- 0 0	正	00.000	
医療安全推進委員長 中村英明 静岡済生会総合病院 災害対策委員長 牛場克明 富士脳障害研究所附属病院 学術委員長 寺田理希 磐田市立総合病院 企画調査委員長廣澤賢一 静岡県立静岡がんセンター 編集委員長常葉勇介 静岡市立清水病院						16.1%						
災害対策委員長 牛場克明 富士脳障害研究所附属病院 学術委員長 寺田理希 磐田市立総合病院 企画調査委員長 廣澤賢一 静岡県立静岡がんセンター編集委員長 常葉勇介 静岡市立清水病院												
学 術 委 員 長 寺 田 理 希 磐田市立総合病院 企 画 調 査 委 員 長 廣 澤 賢 一 静岡県立静岡がんセンター 編 集 委 員 長 常 葉 勇 介 静岡市立清水病院	-						10-000 1077		-			2
企 画 調 査 委 員 長 廣 澤 賢 一 静岡県立静岡がんセンター 編 集 委 員 長 常 葉 勇 介 静岡市立清水病院												
編集委員長常葉勇介静岡市立清水病院												
The 19 to 19												
13	情	報	管	理	委	員	長	菅	原	和	仁	富士市立中央病院
ワークライフバランス検討委員長 鈴 木 恵 聖隷健康診断センター	ワー	ークライ	イフバ	バラン			200					
事務担当職員清水陽代事務局									_	陽		
事務担当職員竹永和代事務局	事	務	担	È	当	職						

新役員挨拶

新役員に一層のご支援お願いいたします

会長

髙橋 真 すずかけセントラル病院



この度、会長を務めさせていただくことになりました、すずかけセントラル病院の高橋真です。昨年までの3期6年、副会長(学術)として会務に携わって参りました。この間、コロナ禍で部会などの研修会が思うように開催できず、また、自身が未熟ゆえに会員の皆様にご迷惑をお掛けすることも多々あり、反省ばかりの日々でした。そのような中、常任理事や部会長の皆様と新たな試みとして、WEB配信を取り入れながら、少しずつ皆様に情報をお送り出来たことはとても大きな出来事でした。チーム力の凄さをあらためて実感いたしました。

本年からは会長として、診療放射線技師の資質向上と、県民の健康増進の一翼を担えるよう、新たな理事とともに取り組んでまいりたいと思います。会員の皆様のご支援とご協力を宜しくお願いいたします。

副会長 (学術)

小林 秀行 聖隷健康診断センター



今年度より2年間、副会長の職を務めさせていただきます聖隷健康診断センターの小林です。昨年までの4年間、地区選出理事としての仕事をさせて頂く機会を頂き、引き続き県技師会の仕事をさせて頂くことは大変光栄であることとともに重責を感じております。

学術担当として部会との連携を密に行い、会員の知識技術の向上に貢献していくこと、また静岡県放射線技師会がさらに発展できるよう、企画運営についても提案をしてまいります。このような機会を頂いたことに感謝し、自らが成長できる場となるよう取り組んでまいります。今後も引き続き会員の皆様からのご指導ご協力のほどよろしくお願いいたします。

副会長(委員会・企画) 災害対策委員長





今期より、副会長並びに災害対策委員長を務めさせて頂くことになりました、富士脳障害研究所附属病院の牛場です。副会長という大役にたいへん緊張しておりますが、各役員の皆様と協力し、会の運営が円滑に進むよう取り組んでいきたいとおもいます。コロナ禍において前役員の方々はたくさんの困難があったかと思います。今期は公益法人移行10周年記念事業があります。皆様にご指導いただきながら静岡県放射線技師会の発展に貢献出来るよう、微力ではありますが努力する所存です。2年間よろしくお願い致します。

副会長(会務) 事務所管理運営委員長

佐藤 正明 JA静岡厚生連清水厚生病院



この度、令和4・5年度副会長(中部)を務めさせて頂くこととなりましたJA静岡厚生連清水厚生病院の佐藤正明です。

技師会の役員は遡ること18年前に常任理事を務めさせて頂きました。その経験を基に今日まで陰ながら技師会活動を応援してきました。病院勤務も終活に入ろうかという中、このような大役を仰せつかりましたことを「幸運な運命」と捉え、最後の一花(お勤め)をささやかながら咲かそうと「緊褌一番」決意で臨む所存です。皆々様のご助言、ご協力、何卒宜しくお願いいたします。(ジャーナル編集後記の愛好者です。)

監事

栗田 仁一 聖隷浜松病院



この度、監事を務めさせていただきます聖隷浜松病院の栗田です。前期に引き続き2期目となります。会計理事の経験を活かし、公益事業の推進および県技師会の発展に寄与できるよう努め、新役員体制をサポートしていきたいと存じます。引き続きご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

監事

大倉 善郎 伊豆保健医療センター



この度、監事を担当させていただくことになりました伊豆保健医療センターの大倉と申します。県技師会活動としては、組織理事、選挙管理委員長等を務めさせていただいております。監事という仕事については、公私ともに経験がなく、わからないことが多いのですが、実務をこなしながら学習を行い、ご迷惑をおかけしないよう努力致します。皆様にご助言をいただきながら誠心誠意務めて参りますので宜しくお願い致します。

顧問

和田 健 高橋整形リハビリクリニック



本会は公益社団法人に移行して10年経過し大きな節目を迎えることとなりました。公益事業は3本の柱を基軸に県民の健康増進に寄与することを目的として、県民参加の公開講演や専門部会でのスキルアップそして委員会活動を通しての情報交換など、公益事業の推進とコロナ禍での財務運営を図ってきましたが、今期は感染症の影響も和らぎ活性化した公益事業の推進に向けて、会長の諮問に応じて参考意見を述べさせて頂き、会務遂行の一助となるよう務めて参ります。会員各位のご指導・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

顧問

山本 英雄 聖隷袋井市民病院



この度、顧問を拝命いたしました聖隷袋井市民病院の山本です。

これまでの経験(会長3期、副会長3期、理事2期)を新体制への支援をしていくことが責務と思っています。これまでの事業に加えて、告示研修、国民への放射線知識の啓発など技師会の活動(ニーズ)も多様化していきます。新しい役員の邪魔にならないように協力していきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

理事(常任・総務)

中村 真也 静岡県立こども病院



今期、総務理事を務めさせていただきます静岡県立こども病院 放射線技術室の中村と申します。技師会の理事としての活動は初めてなため、至らない点も多くあるかもしれませんが、皆様のお力をお借りして頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

理事(常任・総務庶務)

河井 淑裕藤枝市立総合病院



令和4、5年度総務庶務理事を担当することになりました、藤枝市立総合病院の河井です。県技師会役員は十数年前に管理士部会を担当した以来で、随分ご無沙汰しておりました。世代交代も進み、自分も年をとったものだと痛感します・・・。右も左もわからない状態で、皆さんにご迷惑をおかけすると思いますが、何卒お願いいたします。

理事(常任・庶務一般)

福地 大介 JA静岡厚生連静岡厚生病院



この度、常任理事・庶務一般を務めさせていただくことになりました、JA静岡厚生連静岡厚生病院の福地大介です。まだまだ会務内容もほとんど把握出来ておらず不安の方が大きいですが、役員の皆様と力を合わせて、素晴らしい静岡県放射線技師会になります様、楽しく頑張っていきたいと思います。

至らぬ点も多々あるかと思いますが、皆様のご指導、ご協力をよろしくお願い致します。

理事(常任・庶務会員管理)

野沢 滋幸 聖隷健康診断センターShizuoka



このたび、庶務会員管理を拝命した、聖隷健康サポートセンターShizuokaの野沢滋幸です。私は、日本放射線技師会と連携した会員の皆様の登録業務、会費未納による除籍対象の方へのご連絡、会費未納の方へのご連絡、日々の入会申請・承認業務など諸々の任務遂行により、例えばいつの間にか除籍となってしまわないよう支援したりなど、会員の皆様が困らないよう務めたいと存じます。会員管理の立場から静岡県放射線技師会の円滑な事業展開、会員の皆様への還元に尽力して参りたいと存じます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

理事(常任・会計)

齋藤 忍 聖隷予防検診センター



今期、会計理事を務めさせていただくことになりました、聖隷予防検診センターの齋藤忍と申します。 理事としては初めての就任となりますが、過去の部会長などの経験を活かし、皆様のご指導をいただきながら、親しみやすい静岡県放射線技師会を、一緒につくっていければと思っております。

至らない点も多々あると思いますが、よろしくお 願い致します。

理事(常任・編集)

常葉 勇介 静岡市立清水病院



今年度より常任理事・編集を担当させていただく こととなりました静岡市立清水病院の常葉と申します。 会員の皆様の中には、見覚えのある顔だと思われ るかもしれませんが、諸般の事情により再びこの役 職を拝命させていただきました。

前回は右も左も分からぬような手探り状態から2年間頑張ってまいりましたが、今回この役職をいただいたからには以前には至らぬ所を克服し、会員と技師会のため奮闘していきたいと思います。

今後とも会員の皆様のご指導とご協力をよろしく お願い申し上げます。

理事(常任・広報)

菅原 和仁 富士市立中央病院



今年度より、常任理事・広報を務めさせて頂きます、富士市立中央病院の菅原と申します。昨年度同様にオンラインでの活動が主流になってくると思いますが、御迷惑かけずに任務を遂行できるか不安でしかありません。今後とも静岡県放射線技師会の活動が市民の皆様に分かりやすく伝わるように尽力してまいります。

何分にも身に余る重責ではありますが、皆様の温かいご指導、ご協力を期待して誠心誠意業務に尽力いたす覚悟であります。2年間どうぞよろしくお願いいたします。

理事(組織・東部)

大多和 純一 国際医療福祉大学熱海病院



この度、令和4・5年度と東部地区の組織理事を 務めさせて頂きます、国際医療福祉大学熱海病院の 大多和純一と申します。このような大役は初めての 経験であり、不安でいっぱいです。ご迷惑をお掛け することもあるかもしれませんが、役員の皆様や他 の理事の助言・協力を仰ぎ、技師会に貢献出来るよ うに頑張っていきたいと思います。これからの2年 間、よろしくお願いいたします。

理事(組織・中部)

中村 英明 静岡済生会総合病院



今期、令和4、5年度組織理事(中部地区)を務 めさせていただきます静岡済生会総合病院、中村英 明です。私は技師会の業務に携わることは今回が初 めてであり不安で一杯です。前任者や、周りの役員、 会員の皆様にご指導をいただきながら、精一杯つと めさせていただきたいと思います。また、これを機 会に色々な方々と交流をもち、知り合いになりたい と思っておりますのでぜひ声をかけていただけたら と思います。どうぞよろしくお願いい致します。

理事(組織・西部)

神谷 下貴 浜松医科大学医学部附属病院



今年度より西部地区の組織理事を務めさせていた だきます浜松医大の神谷です。どうぞよろしくおね がいします。

昨期まで学術理事として静岡県技師会の仕事をさ せていただきましたが、今期からは西部地区会会長 としての役割を与えていただき、西部地区会の活動を 通じて県技師会へ貢献する所存です。新型コロナ感 染症の流行による社会・生活様式の様変わりに対応 しつつ、会員の皆様に有益な場を提供できるよう努め てまいりますので、今後ともよろしくお願いします。

理事(学術)

寺田 理希 磐田市立総合病院



市立総合病院の寺田理希です。よろしくお願いいたします。 みなさんは、診療放射線技師として自己研鑽するた めにどのような取り組みをしているでしょうか? 通常の 業務に忙殺されていませんか?今回、私が就任した学 術理事は、県技師会で開催される新春講演会や学術 大会を通し、みなさんの聞きたいことや興味のあるこ とを企画することです。みなさんの声に耳を傾け楽し いと思える会を企画し、少しでもみなさんの放射線技 師力アップのお手伝いができればと思っております。

masaki.terada@hospital.iwata.shizuoka.jp までお声を聞かせてください。

理事(企画調査)

庸澤 腎一 静岡県立静岡がんセンター



この度、理事(企画調査)を務めさせていただく ことになりました、静岡がんセンターの廣澤です。 昨年度は、東部組織理事を担当しており、企画調査 や県技師会活動につきまして、多少は理解している と思います。今回も微力ながら全力で務めていきた いと思います。コロナ禍での会務執行にも、ようや く対応できるようになってきました。今年度は WEBなどのツールを駆使してコロナ禍に負けない ように、出来ることを一歩ずつ着実に実行していき ます。皆様のご指導とご協力を頂けたら幸いです。 2年間、よろしくお願いいたします。

超音波部会長

玉田 宏一 富士宮市立病院



今期より超音波部会長を務めさせて頂きます富士 宮市立病院の玉田です。歴史のある超音波部会に携 わらせて頂けることとなりましたが、私でお役に立 てるのか不安を感じております。静岡超音波研究会 や東海超音波研究会とも連携しながら超音波部会を 盛り上げていきたいと考えております。また、他の 部会の方々とも連携を深め、一緒に有意義な部会活 動ができればと考えております。未熟者ではござい ますが、皆様のお力添えを頂きますよう、お願い申 し上げます。

MRI部会長

大石 恵一 静岡県立総合病院



昨期に引き続きMRI部会長を担当します、静岡県 立総合病院の大石恵一と申します。

MRI部会は年2回の研究会開催を通して、会員の 皆様に有益な情報や貴重な意見交換の場を提供でき るよう務めてまいります。研究会の形が大きく変化 する中で、時勢に応じた企画を考えてまいりますの で、皆様のご指導とご協力よろしくお願いいたしま す。

アンギオ部会長

萩原 雄三 浜松医療センター



今期よりアンギオ部会長を務めます、浜松医療センターの萩原と申します。歴代の会長に恥じぬよう精一杯務めさせていただきます。

皆様に役立つ情報をお届けできるような研修会を 企画していきたいと思っておりますので、ご協力の ほどよろしくお願いします。

乳腺画像部会長

中村 陽子 聖隷三方原病院



今期、乳腺画像部会長を務めさせていただきます、 聖隷三方原病院の中村陽子と申します。乳腺画像部 会では年2回の研修会開催を通し、会員の皆様に少 しでも役立つ情報をお届けできたらと思っておりま す。今後はハイブリッド開催なども視野に入れ、沢 山の方が参加しやすい研修会にしていきたいと考え ております。皆様のご指導とご協力よろしくお願い いたします。

管理士部会長

千葉 和宏 静岡市立静岡病院



今期、管理士部会長を務めさせていただく、静岡 市立静岡病院の千葉和宏と申します。

放射線管理や機器管理など、「管理」という言葉がつくだけでなんとなく大変そう、難しそうというようなイメージがついてきます。私自身もそうでした。管理士部会が企画・開催している放射線技師のためのセミナーを通して、少しでも放射線管理、被ばく管理、機器管理などがより身近に感じ、もっと積極的に取り組んでいけるよう意識の向上につなげていきたいと思います。皆様のご支援ご協力、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

表彰審査委員長

後藤 修司 静岡県立総合病院



この度、表彰審査委員長を務めさせていただくことになりました静岡県立総合病院の後藤修司と申します。

表彰審査委員長として長期にわたり活躍された、 小池澄男様より引き継ぐこととなりました。表彰関係の仕事を教わり習得し、微力ながら職務に務めさ せて頂きます。

みなさまのご支援、ご協力の程、よろしくお願い いたします。

選挙管理委員長

中山 修中東遠総合医療センター



この度、選挙管理委員長を務めさせていただくことになりました、中東遠総合医療センターの中山修と申します。

選挙管理は、初めてのことでわからないことが多いですが、会員の皆さまのお力を借りながら、静岡県放射線技師会のお役に立てるよう努力していきたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

情報管理委員長

菅原 和仁 富士市立中央病院



今年度より、情報管理委員長を務めさせていただくこととなりました富士市立中央病院の菅原と申します。ITスキルは皆無に等しい微力非才の身ではありますが、大任をお受けしたからには、前任の佐野様のサポートを受けながら誠心誠意、任務を遂行していきたいと思います。皆様のご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

生涯教育委員長

曽我 隆正 富士脳障害研究所付属病院



今期も引き続き生涯教育委員長の大役を仰せつかりました富士脳障害研究所附属病院の曽我隆正と申します。

フレッシャーズセミナー、告示研修(実技研修)、中日本地域における基礎技術講習会の企画、運営を主な活動としております。時に今年度は、県内での告示研修(実技研修)は10回の開催を予定しており、なるべく多くの方に受講していただくことを目標としております。

至らぬところがあるかとは思いますが、魅力ある 講習会を開催していくように努力いたしますので、 二年間よろしくお願い致します。

医療安全推進委員長

中村 英明 静岡済生会総合病院



今期、令和4、5年度医療安全推進委員長を務めさせていただきます静岡済生会総合病院、中村英明です。医療安全対策は我々の業務において大変重要な事項ですがじっくり学ぶという機会も少ないのではないでしょうか?まずは我々が12月に行う予定の医療安全セミナーで情報を収集してみるのはいかがでしょうか。きっと色々なヒントがあると思います。

私たちは、みなさまのご協力を得ながらお役に立 つ情報提供ができるようにすすめて参りたいと思い ますのでどうぞよろしくお願いいたします。

ワークライフバランス検討委員長

鈴木 恵 聖隷健康診断センター



この度、ワークライフバランス検討委員会の委員 長を務めさせていただくことになりました、聖隷健 康診断センターの鈴木恵と申します。当委員会では、 技師会会員の皆様に「働きやすい職場環境、業務改 善、モチベーション向上」などをキーワードに、皆 様のお役に立つことができ、有益な情報の提供が行 えるような活動をしていきたいと思っております。 至らぬ点もあるかと思いますが、2年間どうぞよろ しくお願いいたします。

静岡県放射線技師会 委員会・部会名簿

(任期:令和4年5月29日~令和6年5月26日)

【編集委員会】

常葉 勇介 静岡市立清水病院

福地 大介

JA静岡厚生連静岡厚生病院

遠藤 基生

静岡赤十字病院

堀 吉孝

静岡市立静岡病院

三輪 則夫

徳山整形外科医院

杉山 大介

SBS静岡健康増進センター

【学術委員会】

寺田 理希 磐田市立総合病院

平井 健太

静岡県立総合病院

早坂みさを

静岡県立総合病院

増田 裕司

富士市立中央病院

筒井 亜季

JA静岡厚生連 遠州病院

坪内 秀生

聖隷沼津病院

斎藤 友紀

JCHO 桜が丘病院

黒田 紗弓

中東遠総合医療センター

【企画調査委員会】

廣澤 賢一 静岡県立静岡がんセンター

大多和純一

国際医療福祉大学熱海病院

廣瀬 和秀

有隣厚生会富士病院

中村 英明

静岡済生会総合病院

中们关奶

....

増田 和道

静岡済生会総合病院

浜松医科大学医学部附属病院

土井 龍典 岡部 修平

聖隷浜松病院

【表彰審査委員会】

後藤 修司 静岡県立総合病院

和田 健

高橋整形リハビリクリニック

山本 英雄

聖隷袋井市民病院

小池 澄男

自宅

玉田 宏一

富士宮市立病院

杉村 正義

聖隷浜松病院

増田 和道

静岡済生会総合病院

野沢 滋幸

聖隷健康サポートセンターShizuoka

【選挙管理委員会】

中山 修 中東遠総合医療センター

石川 莉紗 聖隷浜松病院

佐藤 正和

主球供仏炳阮

永島 暁人

静岡済生会総合病院

後藤 弘徳

静岡県立静岡がんセンター

島田市立総合医療センター

高屋敷英明

三島総合病院

【事務所管理運営委員会】

佐藤 正明

JA静岡厚生連 清水厚生病院

大多和純一

国際医療福祉大学熱海病院

中村 英明

静岡済生会総合病院

神谷 正貴

浜松医科大学医学部附属病院

中村 真也

静岡県立こども病院

【情報管理委員会】

菅原 和仁

富士市立中央病院

野沢 滋幸

聖隷健康サポートセンターShizuoka

佐野 祐二

国際医療福祉大学熱海病院

【生涯教育委員会】

曽我 隆正

富士脳障害研究所付属病院

天野 守計

藤枝市立総合病院

畑中 貴台

中東遠総合医療センター

大川 剛史

藤枝市立総合病院

七尾 光広

順天堂大学医学部付属静岡病院

【医療安全推進委員会】

中村 英明

静岡済生会総合病院

柚木 一雄

共立蒲原総合病院

村松 朋紀

浜松医療センター

鈴木 康太

聖隷三方原病院

望月 大樹

富十宮市立病院

【災害対策委員会】

牛場 克明 富士脳障害研究所附属病院

深澤 英史 富士宮市立病院

中村 英明 静岡済生会総合病院

土井 龍典 浜松医科大学医学部附属病院

岡部 修平 聖隷浜松病院

千葉 和宏 静岡市立静岡病院

勝浦 拓也 聖隷沼津病院

【ワークバランス検討委員会】

鈴木 恵 聖隷健康診断センター

落合 臣人 富士宮市立病院

後藤 琢真 沼津市立病院

後藤 英樹 静岡済生会総合病院

川口 彩子 島田市立総合医療センター

金原明日香 JA静岡厚生連 遠州病院

【超音波部会】

玉田 宏一 富士宮市立病院

澤口 信孝 富士市立中央病院

山田 浩之 藤枝市立総合病院 早坂みさを 静岡県立総合病院

斎藤 友紀 JCHO 桜ヶ丘総合病院

山本 裕介 菊川市立総合病院

落合 義隆 中東遠総合医療センター

樋口 翔也 静岡済生会総合病院

前島 由佳 島田市立総合医療センター

中村 元哉 静岡県立総合病院

【MRI部会】

大石 恵一 静岡県立総合病院

清水 匡大 順天堂大学医学部附属静岡病院

 増田
 裕司
 富士市立中央病院

 滝井
 剛
 静岡市立清水病院

 鈴木
 康介
 藤枝市立総合病院

松本 卓弥 聖隷三方原病院

山田 洋次 浜松医科大学医学部附属病院

【アンギオ部会】

萩原 雄三 浜松医療センター

畑中 貴台 中東遠総合医療センター

浅見 浩明 共立蒲原総合病院

望月 佑馬 聖隷浜松病院

小田 幸佑 静岡県立総合病院

清水 賢介 岡村記念病院

【乳腺画像部会】

中村 陽子 聖隷三方原病院

筒井 亜季 IA静岡厚生連 遠州病院

鈴木 奈緒 静岡県立総合病院

安澤 千奈 磐田市立総合病院

阿部 佳奈 国際医療福祉大学熱海病院

有坂 英里 順天堂大学医学部附属静岡病院

廣澤 和美 島田市立総合医療センター

竹山 有希 中東遠総合医療センター

【管理士部会】

千葉 和宏 静岡市立静岡病院

勝浦 拓也 聖隷沼津病院

鈴木 康太 聖隷三方原病院

筒井 克好 JA静岡厚生連 遠州病院

黒田 紗弓 中東遠総合医療センター

大瀧 篤志 静岡市立清水病院

平井 健太 静岡県立総合病院

佐々木 臣 沼津中央病院

望月 大樹 富士宮市立病院

第6回ワークライフバランス検討委員会研修会 報告

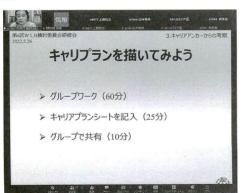
令和4年2月26日 Web開催

令和4年2月26日に第6回ワークライフバランス検討委員会研修会をweb開催しました。

研修会には52名ほどが参加してくださいました。 他県からの参加者や、学生にも参加していただく ことができました。

今回は『身近な先輩に聞く キャリアデザイン』と題し、まずは聖隷浜松病院の小林秀行先生 にご講演いただきました。

研修会のテーマでもあった、職業人生の設計を考える足掛かりとしてキャリアアンカーテストを使う方法を教えていただきました。このテストでは、キャリアを選択する際に自身が持つ価値観や欲求を数値化することができます。聖隷浜松病院では半日の研修で行われているテストだそうですが、今回の研修では短時間でご指導をいただきました。



業務を続ける中、また家庭環境の変化により自 分自身の価値観も変化をしていきます。小林先生 のお話では、キャリアアンカーテストを使うのは 一度きりではなく、時機を見て使うことで変化も 数値に現れることがあるそうです。

次に、第二部『教えて!あなたの働き方』として5名の放射線技師さんからお話を聞かせていた

だきました。

沖クリニックの高山正子先生からは、家庭に主軸を置く働き方をするためにフリーランスで仕事をしているお話と、そこに至った経緯を伺いました。フリーランスで働くが故に、仕事に対する責任も人一倍持っていらっしゃるようでした。

富士市立中央病院の猪股崇亨先生からは、大学院で学んだお話を伺いました。大学院に進学するきっかけとなったのは、就職してから上司に勧められたそうです。大学院の進学を通じて、研究や論文の勉強もされたそうです。仕事と勉学をうまく両立するために、時間の使い方にも気を配られていたそうです。

GEヘルスケアジャパンの盛史範先生からは、病院勤務からメーカーへ転職されたお話を伺いました。病院勤務で接したメーカーのアプリの方が持っている知識や対応にとても尊敬をしていたとの事で、それがきっかけとなり転職をされたとのお話でした。仕事の内容が大きく変わる転職を経験されていて、なかなか聞けないお話でした。

静岡がんセンターの伊藤宏明先生からは、専門性を追求している技師さんとしてお話を伺いました。伊藤先生のお話では、がんセンターという特殊な施設での検査を担っていることと、医師からの依頼で読影をすることになったのがきっかけで、専門的な知識を身につけていらっしゃったそうです。ご自身がご病気をされたことにも触れ、仕事もプライベートも充実した生活の大切さを感じたそうです。

静岡県立総合病院の法橋一生先生からは、診療 放射線技師でありながら病院の情報システム担当 として勤務されているお話を伺いました。法橋先 生は、まだフィルムレスが進んでいない頃に画像情報・DICOM規格などについての発表を聞く機会があり、その発表をされた先生との交流がきっかけで専門的な勉強をされたそうです。勤務先の情報システムが導入されることを機に、副院長先生からの依頼で今の仕事に従事されているそうです。

皆様のお話で、仕事の転機は学生の頃の志だけでなく、いろいろな人との交流でも得られるものなのだと感じました。周囲のアドバイスや、自分の興味など、気づいていないところに将来が見えてくるのかもしれません。

ワークライフバランス検討委員 和田 夏季

第14回静岡県MRI技術研究会 報告 \$\frac{\pi}{\pi}\empty{12H(\pi)}{\text{Webliff}}\text{Webliff}\$

令和4年3月12日に第14回静岡県MRI技術研究 会をWeb開催いたしました。土曜日開催という こともあり、事前参加登録では満員御礼の500名 の方々に参加登録していただきました。参加登録 500名に対し、研究会当日の参加者は計377名(実 参加率:75%)であり、地域別でみると県内96名、 県外281名(43都道府県)という内訳でした。共 催メーカーのゲルベジャパンのご協力のもと、今 回は配信機器(カメラ・マイク等)をスペック アップして配信作業をすることができました。

研究会のテーマは「撮像技術」とし、会員発表 2題、教育講演1題の構成で企画しました。

会員発表は「こんなときどうする?部位別にみ るアーチファクト対策 と題し、初めに国際医療 福祉大学熱海病院の杉山正樹会員にMRCPにおけ るアーチファクト対策についてご発表いただきま した。MRCPにおけるモーションアーチファクト は原因 (呼吸または蠕動運動など) に応じて対策 を考える必要があることをお話しいただいた上で、 呼吸同期をより良くするための手法や胆道系描出 不良の原因とその対処方法などについてもご説明 いただきました。

続いて中東遠総合医療センターの川瀬俊浩会員 に心臓MRIにおけるアーチファクト対策について ご発表いただきました。心臓は特に不整脈による 動きのアーチファクトが検査担当者の頭を悩ませ る要因となります。不整脈が期外収縮なのか、発 作性頻脈なのかを正しく判断し、対策を考講じる ことが重要であるとお話しいただきました。そし て様々なシーケンスの特性を生かし、診断できる 1枚を何とか撮るために必要な技についてご説明 いただきました。

教育講演では東京慈恵会医科大学附属病院の北 川久先生に「即戦MRI講座:現場に役立つ私流の MRI戦術について | を講演いただきました。全国 の学会や研究会でご活躍されている講師の視点で、 即現場で活かせる撮像技術(="技")を惜しげも なく提示していただきました。そしてその技がな ぜ有効なのかについて、疾患や撮像方法の特徴を 掘り下げながらわかりやすく説明していただきま した。またMRIにおける技磨きのためには、①自 分が検査した画像に責任を持ち、症例を振り返る こと、②シーケンスの特徴をよく理解することが 大切であるとお話しいただきました。

併せて、技を継承するための部門づくりのため に、個人の知識や経験をスタッフ間で共有するこ とが大切であるとお話しいただきました。素晴ら しい講演内容だけでなく、熱のこもったスライド や説明からは、北川先生のMRIに対する愛が感じ られる講演となりました。

今回の研究会は技術的な話題がメインの構成と なりました。どのご施設でも最適化された撮像条 件・プロトコルでMRI検査がされていると思いま すが、今回の会員発表や教育講演が皆様にとって 再確認や新たな発見の一助となれていれば幸甚で す。今後も情報発信の場にふさわしい企画をして 参りますので、引き続き当研究会をよろしくお願 いいたします。次回研究会は2022年10月を予定し ております。

最後に当研究会の開催に際してご尽力いただき ました皆様、講師を引き受けて下さった皆様に厚 く御礼申し上げます。

MRI部会長 大石 恵一

令和3年度静岡県放射線技師研修会 報告

 δ_{0} , δ_{0}

令和4年3月19日 web配信

令和4年3月19日に経営に参画できる診療放射 線技師の育成を目的とした第二回静岡県放射線技 師研修会をweb配信方式でメーカー講演 (3題)、 特別講演 (1題) 開催しました。

GEヘルスケアジャパン株式会社の秋山謙作様に「画像診断装置の稼働データ統合と利活用~生産性の向上と働き方改革を見据えて~」と題して講演していただきました。CPMコンサルにより各モダリテイの検査データを可視化、分析。バラッキを可視化することで課題を特定し、得られた示唆に基づき改善をすることでMRI検査の予約日時が4週間短縮したという実例を基にお話をしていただきました。

シーメンスヘルスケア株式会社の岩田和浩様は「医療デジタル化によるワークフローの改善および人工知能技術を用いた画像診断・治療計画支援」と題して、MRI、CT装置における最新AI技術開発の情報提供をしていただきました。

株式会社フィリップス・ジャパン北原雄高様の「LEANを活用した業務改革とヘルスコンティニウムの実現に向けて」の講演では、LEANを活用してムリ、ムラ、ムダを特定し、排除。業務がスムーズに流れ検査件数を向上させると同時に業務負担の軽減、患者待ち時間の軽減、時間外労働の軽減をし、組織の文化的な変革を促し、患者の視点から価値を提供する総合的な確立のためオペレーションの変革を目指す取り組みについてお話していただきました。

コロナ禍における医療を取り巻く環境が激変している中、赤字病院の割合が高まるなど病院経営は厳しさを増しています。そこにはマネジメントカの欠如と同時に、マネジメントを担う人材不足

が一因となっているといえます。 放射線部門における経営管理も同様に、診療放射線技師としての能力以外に経営に生かせる能力を持つことも必要であると考えさせられる講演内容でした。



特別講演として公益社団法人静岡県放射線技師会会長の山本英雄様をお招きして「静岡県放射線技師会の現在とタスクシフトから見る未来像について」と題して御講演していただきました。静岡県放射線技師会には東中西で風土が違うという独自の問題点があることを知りました。県内の技師会登録者が63%と少ないため、診療放射線技師の生涯教育、質の向上を大きな目的としているこの静岡県放射線技師会の登録者数を増やすため、魅力的な活動をしていかなければならないと改めて思いました。また告示研修についての説明もあり、様々な質問が出ました。小さな疑問が解消される中身の濃い特別講演となりました。



企画調查委員長 廣瀬 和秀

第11回(公社)静岡県放射線技師会定時総会 第26回静岡県放射線技師学術大会 報告

令和4年5月29日(日) 浜松プレスタワー 17階 静岡新聞ホール

令和4年5月29日(日)、依然として新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、大会テーマを「県民に伝えよう ~放射線技術の現在と未来を~」として、第11回(公社) 静岡県放射線技師会定時総会および第26回静岡県放射線技師学術大会はWEB配信と現地開催を組み合わせたHybrid方式により開催されました。会場収容人数の制限もあり、現地会場での出席者は限定されることにはなりましたが、withコロナでやっていくという県技師会からの力強いメッセージが感じられました。現地参加者:81名(技師会員:75名、企業その他:6名)、WEB参加者:155名(技師会員:126名、技師会未入会:16名、一般:5名、学生:8名)、合計236名の方にご参加いただきました。



定時総会は定刻通り始まり、緊張と和やかな空気が入り混じる中での開催の運びとなりました。 冒頭の山本会長の挨拶では、診療放射線技師の業務拡大に伴う告示研修の重要性を「ラジエーションハウス」の映画の内容に絡めてお話しくださいました。また、新型コロナウイルス蔓延により行えていなかった2019年度のCCRT学術奨励賞の特別表彰が静岡県立こども病院 佐野恭平会員に対 して執り行われました。その他、永年勤続表彰、 事業報告、監査報告、総会議事が式次第に沿って 円滑に進められました。議事の最後には山本会長 が総会の郵送ハガキに寄せられたコメントに対し て回答され、定時総会を予定通りに終えました。 ランチョンセミナー

『動態検査の現在と未来』というテーマのもと、 2名の講師にご講演いただきました。

『面検出器CTを用いた4Dイメージング』

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 首都圏支社 CT営業推進部 猪川 弘康 先生

主に胸部領域に特化した内容で、動態CTの有用性についての講演となりました。面検出器を用いて頭尾方向16cmだけでなく、チルト機構を用いてより広範囲の動態撮影が可能なことを示されていました。胸部領域の動きを捉える際のポイントとして、肺葉ごとに動きの違いがあることを認識しておくことが必要だということでした。また、DLR技術であるAiCEとの組み合わせにより、動態撮影という被曝が増加する撮影においても低線量で画質を担保することができることも示されていました。

『単純X線撮影技術で実現する動態撮影

~X線動画像の臨床応用への期待~』 コニカミノルタジャパン株式会社 ヘルスケアカンパニー 中部支社 営業推進グループ 山口 晃史 先生

一般撮影装置において動態撮影の有用性を、特

に胸部撮影を中心にご講演いただきました。この技術はパルス曝射が可能なX線発生装置とFPDを導入することで動態画像を取得可能となり、通常の一般撮影業務ワークフローの中に簡便に組み込むことができる点が非常に有用だと感じました。また、取得した動態画像をワークステーションで解析し肺機能の定量評価をすることが可能で、その結果はスパイロメトリー検査の結果とも相関することも示されていました。現在全国50施設に導入されているとのことですが、今後より多くの施設で導入が期待される技術だと感じました。

公開講演

『ラジエーションハウスが教えてくれたこと

~誕生から映画化までのキセキ~』

講師: 福島県立医科大学 保健科学部 診療放射線学科

准教授 五月女 康作 先生



漫画連載に始まり、ドラマ、さらには映画化など大人気のラジエーションハウスの原作・監修者である五月女先生のご講演ということで会場、オンライン視聴者からも熱い視線が注がれるなか、御自身の技師人生のスタートから現在に至るまでを真剣に、時にユーモラスに語っていただき、あっという間の90分間となりました。ラジエーションハウス誕生のきっかけは技師歴2,3年目の時、高校の同級生に何気なく言われた言葉がきっかけだったそうです。放射線技師という職業に対して世間と我々技師の間に大きな乖離があることを感じ、御自身が感じたその乖離を埋めようと試行錯誤するなかで、メディアを用いて世間の

イメージを変えようと思いついたそうです。御自身のご尽力や人脈や偶然が重なって漫画というカタチで世間の目に触れることになったということでした。また、ドラマや映画化までの経緯や撮影の裏側などもご紹介いただき、まるで自分が現場にいるかのような没入感で講演に夢中になれました。ご講演の中で、先生の考える技師冥利を「知識と技術に裏付けられた気づきと気転が目の前の患者の人生を変える」という言葉で表現されていました。我々技師が日常業務で感じている仕事に対するポジティブな感覚を、明確に言語化されていて非常に感銘を受けるとともに、この言葉を常に意識して業務に臨まなければいけないと改めて感じました。

最後にTake Home Messageとして「環境が人を変える」というお言葉を頂きました。現在、放射線技師の業務も変革の過渡期にあり環境の変化を迎えていますが、これをピンチではなくチャンスだと捉えて、変化に前向きに対応しようとすることが我々放射線技師それぞれの働き方をより良いものにしていくのであろうと感じました。先生御自身の生き様がまさにこの言葉を体現しており、非常に説得力のあるメッセージとなりました。

研究発表

学術大会はセッション I:核医学・放射線管理に5演題、セッションⅡ:X線撮影・放射線治療に5演題、セッションⅢ:CT、MRIに5演題、合計15演題の発表が行われました。いずれの発表においても質疑応答では活発な意見交換がなされていました。若手技師の研究発表も多くあり、今後も会員が貴重な経験を積む場として開催していきたいと考えております。

学術発表終了後は、次回大会長を務める中部地 区会長 中村英明理事より挨拶があり、続いて次 期執行役員の紹介が行われました。

最後に、小林秀行 実行委員長から閉会の挨拶 があり、学術大会の終了の運びとなりました。

学術委員 富士市立中央病院 増田 裕司

令和4年度叙勲受章祝賀会 報告

δορουρουρορορορορορορορορορορορορορο

令和4年5月29日 浜松プレスタワー

本会の元会長(現顧問)の和田健会員の瑞宝双 光章受章祝賀会が令和4年5月29日(日)、学術 大会終了後に浜松プレスタワーにて開催されまし た。多くの会員の方に参加していただきたかった のですが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大 を鑑みて、人数を制限して行われました。

このような状況の中、和田健会員が以前勤務されていた浜松医療センターの皆様が集まってくださいました。短い時間でしたが、とても心温まる祝賀会となりました。

はじめに山本英雄前会長より、ご祝辞と和田健会員のご紹介をいただきました。次に、浜松医療センターの中村文俊会員より、祝福のお言葉をいただきました。和田健会員からもご自身の経歴、静岡県放射線技師会の歴史、今後の技師像など貴重なお話をいただきました。詳細は次項の和田健会員執筆、「私のヒストリー」をご覧ください。

今後も、和田健会員が健康に留意され、ますま すご活躍されることを祈念いたします。

編集委員 遠藤 基生



山本英雄前会長のご祝辞



和田健会員と浜松医療センターの皆様



和田健様と集合写真

※写真撮影時のみマスクを外しています

令和4年度 叙勲受章祝賀会 『私のヒストリー』 (公社)静岡県放射線技師会 顧問 和田 健

(1) 浜松市医師会中央病院での功労

昭和43年10月診療エックス線技師として浜松市 医師会中央病院に入職した。千葉大学白壁先生一 門の方々が胃部二重造影法を発表されたのを機に 胃腸精密検査コンサルタントとして浜松市医師会 の要請をうけ、毎週土曜日の午前に蛍光板式透視 装置による胃腸検査を行い、午後からX線写真の 読影会を手伝いながら読影の基本を習得した。そ の時期と並行して東京虎の門病院 放射線科 福田 先生一門の方々がコバルト治療患者の診察や甲状 腺・肝臓シンチグラム、甲状腺摂取率、トリオソ ルブ等の検査も開始した。

昭和45年4月県西部成人病検診センターが開設 され、ミラーカメラ搭載の検診車による胃部集団 検診は大井川以西を検診範囲として早朝より胃が ん検診に携わった。当時の診療放射線技師は3名 であった。昭和48年4月の県西部浜松医療セン ター開設に向けて高度医療機器の導入及び新しい 循環器系検査の習得のため、3月の多忙の中、二 週間にわたり三重大学医学部放射線医学教室の田 口教授・山口助教授そして江原・西村両技師のご 指導の下、心臓カテーテル検査法を中心に研修を 行った。開業医から紹介された患者を入院して院 内医師と連携して治療に当たるオープンシステム の浜松市医師会中央病院は昭和48年3月31日を もって閉院し発展的に県西部浜松医療センターに 移行した。

(2) 県西部浜松医療センター (現 浜松医療セン ター)での功労

昭和48年4月1日 県西部浜松医療センターは

オープンシステムの病院として、技師7名でス タートした。循環器系医療機器の操作は三重大学 で習得した技術と自ら研鑽した知識を基に不安と 緊張の毎日であり、日々検査に追われ昼食も16時 を回ることも多々ありました。そのような状況下 でも身近な技術的問題点をテーマにした研究活動 は診療時間終了後に始まった。昭和49年6月国立 浜松医科大学関連教育病院に指定されたのを機に、 国立熱海病院 乾 三郎技師長(当時 日本放射線技 術学会静岡支部長)の紹介で昭和50年に大日本途 料株式会社 平城 実氏の指導の下、血管撮影系に おけるX線画像の動体物理特性等について研究し、 社団法人 日本放射線技術学会 第4回全国放射線 技術シンポジュームにおいて、「希土類 Lanex regular systemにおける鮮鋭度特性 | について論 文発表を行った。その論文が大阪大学の理学部教 授の目に留まり日本放射線技術学会の山下 一也 理事より連絡があり、学術誌chemicalの外国版 abstractに掲載する機会を得た。その後、循環器 系画像検査に関連する多くの研究論文を発表する などしてX線画像の良質化と患者被ばく線量の低 減化に努めた。昭和52年国内初、米国INSTAR社 製高速VTRによる血管撮影法を確立するなど 先進的な高度医療の推進に尽力した。同時期ごろ 英国EMI社のCT装置が国内2号機として当院 も稼動するようになったと記憶しております。

血管撮影法における技術を広く啓発するために 昭和52年、県内の診療放射線技師に呼びかけて 「血管撮影技術研究会」を発足し、その技術を会 員と共有し血管撮影画像の良質化と患者被ばく線 量の低減化に努めるなど、今日の公益社団法人 静岡県放射線技師会アンギオ部会の基盤を定着させた。

平成9年には高遮蔽能力を有するアクリル製水晶体防護メガネを(株)クラレのご協力で考案し、虚血性心疾患の画像診断及び治療に考案したX線防護メガネを使用することにより、術者の水晶体被ばくの低減に大きな影響を与えた。その功績が認められ平成9年4月15日社団法人 静岡県産業技術協会より職域創意工夫功労奨励賞を受賞し、高い評価を受けた。平成10年5月の総会時に放射線検査における被ばく線量軽減の啓発と職域における創意工夫に貢献した功績で、社団法人 静岡県放射線技師会 松本賞を受賞した。

平成10年4月診療放射線技術科長として先進的 高度医療機器の導入等を図り画像の院内ネット ワーク化に務め平成12年には県内初一般撮影系に フラットパネルディテクタによるデジタルX線撮 影システムを導入し画像のファイリングや高画質 な画像情報の提供に務めた。

平成12年度から2年間、浜松市医師会会長より 浜松市医師会肺がん検診精度管理委員に任命され、 胸部X線写真の画像評価やX線撮影機器等の精度 管理などについて、浜松医科大学附属病院 呼吸 器科専門医と共同で浜松市内病院及び診療所等の 医療機関に対し胸部X線画像評価等の助言を行い、 その結果胸部X線写真の画像の向上が図られて、 平成15年度から開始した浜松市内病院及び診療所 等による個別肺がん検診事業の中で胸部X線画像 の良質化に務めることにより肺がんの早期発見に 貢献した。

平成15年4月1日診療支援部長として院内コメディカル部門を統括し、院内オーダーリングシステムの構築やデジタル画像の院内WEB配信を積極的に推進してデジタルデータの一元管理に務め、平成18年3月31日に定年退職した。このほか平成元年3月には県西部浜松医療センター 記章図柄(シンボルマーク)募集にて自ら考案したシンボルマークが最優秀作品に認められ、今日の浜松医療センターの文書類等に広く利用されている。

(3) 医療法人社団 綾和会 浜松南病院での功労

定年退職翌日の平成18年4月1日から13年有余、 医療法人社団 綾和会 浜松南病院の診療放射線技師および放射線技師長として地域住民の整形外科領域におけるX線検査や骨密度測定、クローン病などの難治性消化管疾患のX線造影検査、肺がん・胃がん検診事業等にも積極的に取り組み、浜松市南部地区の中核病院として地域医療の発展にも尽力した。堀井薬品工業(株)のご協力で、低濃度Baによる経口的小腸造影法の有用性について物理データおよび臨床例を情報誌 INNERVISIONに論文掲載して検査技術の向上を図った。

(4) 医療法人社団 一志会 高橋整形リハビリクリニックでの功労

令和元年10月からジュビロ磐田のチームドクターでもある高橋整形リハビリクリニックに勤務し整形外科疾患やX線骨密度測定そしてスポーツ傷害などのX線画像検査に貢献している。

(5) 社団法人 静岡県放射線技師会(現 公益社団法人 静岡県放射線技師会)役員での功労

平成12年4月から4年間、社団法人 静岡県放射線技師会 副会長として学術研究活動の推進と診療放射線技師の資質の向上に務め、平成16年4月会長に就任すると新たに技師会事務所の購入に向けて、会員の協力により購入資金の積立を開始し、平成23年3月 臨時総会にて新事務所購入は承認され登記申請等を行い、平成23年6月から新技師会事務所での業務を開始し技師会活動の更なる発展に向けて尽力した。

平成22年4月からは法人化検討委員会を発足させ、法人法改正内容について学習と検討を行う中、新会計基準の適応を鑑み浜松の東海浜松会計事務所と財務委託契約を結び平成22年度から予算案および決算書の作成を専門家に委ねることとした。また公益法人移行へ対応する新定款、諸規程案の検討などの議論を積み重ね、理事会そして臨時総会を経て、平成24年4月1日公益社団法人への移

行を達成し、晴れて新しい歴史を刻む一歩を踏み 出した。

平成23年3月11日の東日本大震災時には県医務課の要請を受け、いち早く県庁危機管理センターに専用電話を開設し、診療放射線技師3名常駐させて延10日間450件に及ぶ県内外の住民からの放射線被ばくに対する健康相談を実施して不安解消に務めた。

副会長および会長として長年にわたり保健衛生の向上に務めた功労により、平成19年5月社団法人日本放射線技師会創立60周年記念式典にて厚生労働大臣表彰を受賞した。また、平成29年11月3日文化の日に静岡県表彰条例に基づく保健衛生功労者として静岡県知事表彰を受賞した。

そして公益社団法人 日本診療放射線技師会 地 区役員として多年にわたり診療放射線技師の職業 倫理の高揚と放射線技術学の向上発展に務め、令 和元年5月 公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長より地域役員功労賞を受賞した。

(6) 社団法人 日本放射線技術学会静岡支部 役 員での功労

社団法人日本放射線技術学会 静岡支部 副支部 長そして理事として昭和53年4月から13年間、放 射線技術学の向上発展のための企画運営や放射線 被ばくの低減などの啓発活動により地域住民の保 健衛生の向上及び健康増進に務めた。長年の役員 功労や放射線技術学の研鑽等が認められ、平成7 年9月 社団法人日本放射線技術学会中部部会創 立30周年記念式典において、社団法人日本放射 線技術学会会長より功労賞を受賞した。

(7) 財団法人 結核予防会静岡県支部 (現 公益財団法人 静岡県結核予防会) 役員での功労

社団法人 静岡県放射線技師会(現 公益社団法人 静岡県放射線技師会)会長をしていた関係で財団法人 結核予防会静岡県支部長より役員就任の要請を受け、平成16年5月6日から平成19年9月4日まで評議員、平成19年9月4日から平成25

年3月31日そして公益財団法人へ移行した平成25年4月1日から現在まで通算18年有余、評議員そして監事として結核予防会の基本理念である結核を中心とする疾病の予防に関する事業を通して事業内容の精査や会計基準に則った収支予算書や収支決算書等の監査を行っている。

結びに、令和3年11月3日 日本国天皇より瑞 宝双光章が授与されました。医療人として半世紀 以上にわたり「 雨垂れ石を穿つ 」を座右の銘と し、診療放射線技師そして技師会役員として長年 診療放射線技術の向上発展を図り、もって地域住 民の健康維持増進に尽力した結果が功績として認 められたことは誠に名誉のことであります。思い 起こせばアナログからデジタル画像へと変革して きた時代の厳しい医療環境の中で、多くの方々に 支えられ今日まで活躍できたことを嬉しく思いま す。これも偏に各職場の皆様そして共に汗を流し た役員の皆様方の献身的な力添えに感謝申し上げ ます。これからも富国有徳の理想郷を目指す静岡 の一県民として健康で健やかな人生を歩んでいき たいと願うばかりです。このような機会を企画し て頂きました山本会長をはじめ役員の皆様に厚く 御礼申し上げます。



令和4年5月29日 和田 健

令和4年度第1、2回告示研修(実技研修) 報告

令和4年6月4日(土)、5日(日) 静岡県立総合病院

令和4年度第1、2回告示研修(実技研修)を 令和4年6月4日、5日の2日間にわたり、静岡 県立総合病院にて開催しました。

令和3年7月9日医政発0709第7号「臨床検査 技師等に関する法律施行令の一部を改正する政令 等の公布について」が厚生労働省医政局長より発 出され、診療放射線技師の業務範囲の見直し等が 行われました。具体的には①静脈路に造影剤注入 装置を接続する際に静脈路を確保する行為、②動 脈路に造影剤注入装置を接続する行為(動脈路確 保のためのものを除く。) 及び造影剤を投与する ために当該造影剤注入装置を操作する行為、③下 部消化管検査のために肛門に挿入したカテーテル から注入した造影剤及び空気を吸引する行為、④ 上部消化管検査のために鼻腔に挿入されたカテー テルから造影剤を注入する行為及び当該造影剤の 注入が終了した後に当該カテーテルを抜去する行 為、⑤核医学検査のために静脈路に放射性医薬品 を投与するための装置を接続する行為、当該放射 性医薬品を投与するために当該装置を操作する行 為並びに当該放射性医薬品の投与が終了した後に 抜針及び止血を行う行為です。以上の業務を行う ための絶対条件として、医療の安全を担保するこ とが求められています。そのため、日本診療放射 線技師会が主催し、各県で業務追加に伴う必要な 知識、技能、態度を習得することを目標とした研 修を基礎講習の修了者を対象に実施しました。受 講者数は6月4日が46名、6月5日は45名でした。

午前中は動画視聴を行いました。1.造影剤を使用した検査や核医学検査のために、静脈路を確保する行為、放射性医薬品の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為を30分。2.核医学検査

のために、放射性医薬品を注入するための装置を接続し、装置を操作する行為を40分。3.動脈路に造影剤注入装置を接続する行為、動脈に造影剤を投与するために造影剤注入装置を操作する行為を60分。4.下部消化管検査(CTコロノグラフィ検査を含む。)のため、注入した造影剤及び空気を吸引する行為を45分。5.上部消化管検査のために挿入した鼻腔カテーテルから造影剤を注入する行為、造影剤の投与が終了した後に鼻腔カテーテルを抜去する行為を20分おこないました。

午後からはシミュレーター、実習機材等を用いた静脈実技、動脈実技、上部下部消化管実技、核医学及び静脈(CT)実技の実習に入りました。医師1名、看護師1名、ファシリテータ6名のもと、受講生を6チーム(A~F)に分割し、2名1組として1チーム8名4組で実技研修を受講していただきました。

静脈実技では、8ブースを準備して看護師とファシリテータが講師となり、1ブース2名1組で穿刺役、患者役をそれぞれが担いました。その都度、講師からチェックが入りその場で指導を受けており、シミュレーション通りに終えないので刺激がある実習になりました。

動脈実技では、4ブースを準備して医師とファシリテータが講師となり、1ブース4名2組で清潔役、補助役をそれぞれが担い、ガウンテクニック、造影剤注入装置に接続する行為について、講師からのデモンストレーション後に順次手順に沿って各人が実習を行いました。

上部下部消化管実習では、各4プース準備をしてファシリテータが講師となり、1プース2名1組で行いました。下部消化管は肛門からカテーテ

ルを挿入、造影剤及び空気を吸入する行為の実習を、上部消化管では鼻腔カテーテルより造影剤を 注入する、抜去する行為の実習をシミュレーター を使用して行いました。

RI実技及び静脈(CT実技)では、各4ブースを準備してファシリテータが講師となり、1ブース2名1組で行いました。造影検査手技の操作手順、核医学検査の操作手順の実技を講師よりその都度指導を受けながら行っていきました。

告示研修は厚生労働大臣が指定する研修であり、 令和6年4月1日前に診療放射線技師の免許を受けた者は、追加された行為を行おうとするときはあらかじめ受講が義務付けられています。

追加された行為を診療放射線技師が実施するか 否かはそれぞれの施設の考え方によります。いつ 何時、実施するように依頼されても良いように準 備しておくことがこの研修会に参加する意義だと 思います。この研修会をベースに、更に各施設に おいて教育、研修を行い安全、安心な医療を提供 するようにお願いしたいと思います。

生涯教育委員 曽我 隆正

第47回放射線技師のためのセミナー 報告

令和4年6月18日 Web開催

令和4年6月18日(土)に「第47回放射線技師 のためのセミナー」を静岡県放射線技師会事務所 にてWeb開催致しました。

令和3年5月28日に「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」が公布され、医師の働き方改革とともに、各医療関係職種の専門性の活用としてタスク・シフト/シェアを推進し医師の負担を軽減しつつ、医療関係職種がより専門性を生かせるよう各職種の業務範囲の拡大を行うこととなり、診療放射線技師法および施行規則も改正され、令和3年10月1日に施行されました。そこで今回は「タスク・シフト/シェア」をテーマとし、医療機器メーカーからのアプローチ、各施設でのタスク・シフト/シェアに向けた取り組み、静脈路確保に関する基本的知識について企画を行いました。

企業講演では、バイエル薬品株式会社と株式会社根本杏林堂の2社よりご講演頂きました。バイエル薬品からは、医療放射線情報一元管理システムRadimetricsとインジェクターを連携させることで線量情報と造影剤情報の一元管理を行うことができ、造影剤注入データの管理や血管外漏出の再発防止・リスク管理に役立てるとご紹介頂きました。根本杏林堂からは、赤外線光を利用した造影剤モレ検知サポートシステムLDを用いることで、皮膚表面の膨隆を伴わないような血管外漏出でも検知し、警告や造影剤の注入を停止できるとご紹介頂きました。

会員発表では、タスク・シフト/シェアによる 業務拡大への取り組みと将来像について3施設の 会員よりご発表頂きました。中東遠総合医療セン ターの鈴木康章会員からは、告示研修のファシリ テーターとしてタスク・シフト/シェアに関する 法改正についてや、告示研修の流れや注意事項を 分かりやすく解説頂きました。自施設では科内に ワーキンググループを立ち上げマニュアルの整備 や研修プログラムの検討を行うとご報告頂きまし た。静岡市立静岡病院の増田秀道会員からは静脈 路確保に向けた年度計画や人員増員計画、看護部 と協力した研修プログラムについてご報告頂きま した。聖隷沼津病院の田沢範康会員からは医師や 看護部など他職種と連携するにあたり、普段から 信頼関係を築き、協力体制を確保する大切さをご 発表くださいました。

特別講演では、静岡市立静岡病院の看護師でが ん放射線療法看護認定看護師でもある渡部美尚子 先生を講師にお迎えし、「静脈路確保に関する 知っておきたい知識と事故防止について」をテー マにご講演頂きました。解剖学的知識や合併症の リスクと発生時の対応などとても分かりやすく教 えて頂きました。

本セミナーは58名(静放技会員46名、その他12名)の方にご参加頂きました。ご参加・ご講演頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。今後も皆様の業務の一助となるようなセミナーを開催していていきたいと思います。



管理士部会 千葉 和宏

学 術 論 文

部位別アーチファクト対策MRCP

国際医療福祉大学熱海病院 杉山 正樹

【はじめに】

MRCP (MR CholangioPancreatography: MR 胆管膵管撮像法) とは非常に長いTE (500ms以上)を使用し、T2値の長い組織(液体成分)である胆汁、膵液の信号を強調する。胆道系,膵管は細かい管腔構造のため画像を得るために薄いスライス厚($1\sim2$ mm)の3 D収集を行う。実際には患者の呼吸動作に合わせた呼吸同期などの方法を用いる。

MRCPで良好な画像を得るには一定時間の安定した呼吸動作が必要で患者の理解と協力が不可欠である。また、胆道系の状態によっては信号変化が起き、偽陰性所見を呈する可能性がある。可能な限り胆道系を描出するためには撮像条件や撮像シーケンスの変更を行う必要がある。

今回、MRCP特有のアーチファクトについて解 説し、その対策を述べていきたい。

【MRCP検査準備】

検査の食事制限は胆汁排出や胆嚢収縮を防ぐために検査予約の4時間前から絶飲食としている。

検査説明では息止めを繰り返すことと呼吸同期をすることを必ず丁寧に説明している。メトロノームを試聴してもらい呼吸間隔を事前に把握してもらうような工夫もしている。

検査直前に「MRI用経口消化管造影剤」(以下; 消化管造影剤)を服用してもらい胃-十二指腸内 にある液体成分の信号抑制を行う。

ポジショニングでは図1に示すベルトテクニッ



図1 ベルトテクニック

クと呼ばれる腹部の動き抑制を必ず行っている。 当院では腹帯を臍の高さに合わせ呼吸を吐かせた 状態で固定している。

【3D MRCPについて】

マルチスライス法による $3\,\mathrm{D}$ データ収集が一般的であり、 $1\,\mathrm{mm}$ 程度の薄いスライス厚が設定可能である。高いSNR(S/N:信号雑音比)と高い空間分解能の画像データが取得できるため、MIP(maximum intensity projection:最大強度投影法)処理したprojection画像は多方向から観察ができ、MPR(multiplanar reconstruction:多断面再構成)処理も可能で異なる方向から細かいスライス厚での評価も可能である。

シーケンスはT2強調画像を短時間に撮像可能なものを用い、シングルショット系の高速Spin Echo法であるFASE (Fast Advanced Spin Echo; Canon)や高速Spin Echo法に90° flip back pulseを付与したFRFSE (Fast Recovery Fast Spin Echo; GE)を用いている。k-space充填方法の効率化をしたFast 3D (Canon;図2)や圧縮センシング技術を利用したHyper Sense (GE)を併用することで撮像時間の短縮も可能である。

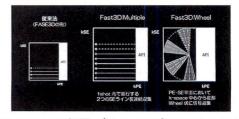


図2 Fast 3D概要 *Canonアプリケーションより

【呼吸同期.横隔膜同期】

前述した3D MRCPは種々の呼吸動作に同期した収集を行う。呼吸同期(respiratory)は装置メーカーにより仕様は異なるが呼吸による腹壁の動きを空気圧の変化として検知し、撮像タイミ

ングを同期する手法である。一方、横隔膜同期は Navigater echoにより肝臓(横隔膜)の動きをリ アルタイムにトラッキングし、同期収集を行う手 法である。詳細は各装置の操作マニュアルに委ね るが、一般的に言えることは同期している対象が 異なるため、検査に用いる際は目的部位や依頼内 容を踏まえて選択すべきである。

【MRCP検査依頼 代表例】

① 腹腔鏡下胆嚢摘出術前

腹腔鏡下胆嚢摘出術は低侵襲ではあるが術中偶発症に胆道損傷、出血、胆汁瘻などがある。 MRCPは胆嚢管、肝管後枝の走行の把握において 有用で腹腔鏡下胆嚢摘出術の術前検査に必要¹⁾ とされている。肝内胆管合流部や胆嚢管の位置、 走行には分類があり²⁾ MRCPで描出すべき解剖 学的情報(図3)である。

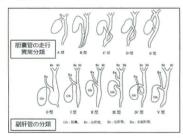


図3 肝外胆管走行異常の分類2)

② IPMN (Intraductal Papillary Mucinous Neoplasms of the Pancreas: 膵管内乳頭粘液性腫瘍)

IPMNには腺腫,腺癌,浸潤癌があり、2017年にIPMN国際診療ガイドラインが改訂されIPMNの分類(主膵管型,分枝型,混合型)や画像所見による治療方針(手術,経過観察など)が示されている³⁾。特に分枝型IPMN(図4)は治療方針の決定に際し悪性リスクを腫瘤サイズや経過観察のサ

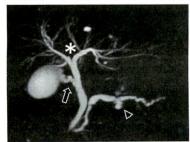


図 4 3 D-MRCP (MIP像) ➡:胆嚢管 *:肝内胆管合流部 ➤:分枝型IPMN

イズ変化で判断するため、その描出は重要である。

【MRCPのアーチファクトと要因】

以下に主なアーチファクトを挙げる。

- ・モーションアーチファクト
- · 胆道系描出不良
- ·磁場均一性不良, B1不均一

モーションアーチファクトの主要因は呼吸同期 不良、腸管蠕動などがある。胆道系描出不良の主 要因は胆汁鬱滞による濃縮胆汁である。また消化 管造影剤が胆管へ逆流することで起きることもある。

その他磁場均一性不良やB1不均一は体内金属や腹水、又は患者の体型によって起こることもあり、対応としては低磁場装置に変更することやシミングを目的部位へ局所的に行うなど、限定的な対処になり大きな改善は見込めないことが多い。

【モーションアーチファクトの対策】

呼吸同期においてアーチファクト低減の方法は信号収集のタイミング域を短く設定することである。ショット数(Canon)を上げるTrigger Point/Trigger Window(GE)の数値を上げることで収集帯域や収集タイミングを狭めることができる。設定変更で呼吸による動きの影響を少なくできるが、一呼吸で収集できるデータ数が減るため、撮像時間自体は延長することに注意する。

同期困難な原因に腸管蠕動の影響がある。呼吸とは無関係な運動であり、たとえ呼吸は安定していても画質不良を起こす。蠕動を止めることは不可能であるため、対策方法は図5のように息止めによる3DMRCPを撮像することで対応する。同期撮像に比べ撮像時間(息止め時間)に限りがあるため、多くのスライス枚数が撮像できずデータ数や分解能が同期撮像に比べて劣りはするが、診断可能な画像は取得可能と考えている。

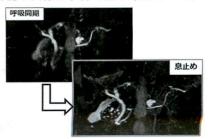


図5 息止め3D MRCPによる画質改善例

【胆汁鬱滞の影響】

胆道系描出不良の主原因は胆汁鬱滞による。胆汁の流れが悪く排出されない胆汁は濃縮されていく。濃縮された胆汁は胆泥や濃縮胆汁としてMR信号の変化を起こしT2短縮及びT1短縮となる $^{4)}$ 。胆汁は本来T2高信号、T1低信号であるが濃縮されることでT2強調画像では低信号となり濃縮胆汁ではむしろT1強調画像で高信号となる。このような状態で撮像をしてもT2強調べースであるMRCPでは胆道系管腔構造の全ては描出されない。

【胆道系描出不良の対策】

胆汁鬱滞の程度は3D MRCPの前に撮像するT2、T1強調画像の信号変化が判断材料となる。T2、T1短縮が軽度であればMRCPのTEをより短く(例:600ms→300ms)設定し、描出される信号域を広くした画像を取得する(図6)。T2、T1 短縮がかなり進んでいるようならばbalanced SSFP系シーケンス(TrueSSFP、FIESTAなど)を撮像する。定常状態収集を行うことでT2/T1 コントラストを得られるため信号短縮した胆道系の描出も可能となる(図7)。

デメリットとしては、背景信号が必要以上に描出されるため、胆道~膵管が視認しづらくなる可能性がある。

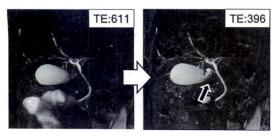


図 6 TE設定による描出改善例(胆泥) ⇒:胆嚢管の描出が改善している

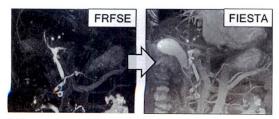


図7 balanced SSFP (FIESTA) の描出改善例 (濃縮胆汁)

また消化管造影剤の使用にも注意が必要である。 消化管内容液への陰性効果は高いが胆管へ逆流し た場合に偽陰性所見となる。患者の治療歴に内視 鏡下の胆管治療歴などがある場合、Oddi筋の機 能不全の可能性があるため、患者の既往は必ず確 認し依頼医と協議した上で消化管造影剤の使用は 控えることも考えなければならない。

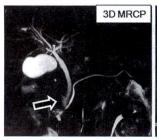




図8 消化管造影剤の胆管逆流例 ⇒:下部総胆管の信号低下を認めるがEBCPでは結石無し

【おわりに】

MRCPは腹部MRI検査で高頻度の検査だが、患者毎にアーチファクト発生の要因が異なる。統一した対応が難しいが、事前の準備を怠らず検査中の画像所見を把握すれば対応が可能な場合が多い。何より丁寧で明快な検査説明を心掛け患者の理解と協力を得ることこそが、アーチファクト対策として最善と考える。

【参考文献】

- 1) 森隆太郎,永野靖彦松尾憲一,他:腹腔鏡下 胆嚢摘出術のための術前検査法-MRCPと DIC・CTの比較-,胆道19巻4号,426-432, 2005
- 中村弘樹,木下博明,広橋一裕,他:肝外胆管 走行異常の検討,胆道8巻4号,359-364,1994
- 3) Tanaka M, Fernandez—del Castillo C, Kamisawa T, et al. Revision of international consensus Fukuoka guidelines for the management of IPMN of the pancreas. Pancreatology 17, 738-753, 2017
- 4) H Hricak, R A Filly, A R Margulis, K L Moon, L E Crooks, L Kaufman, Work in progress: nuclear magnetic resonance imaging of the gallbladder, Radiology.May;147 (2):481-484. doi: 10.1148/radiology.147.2.6836126, 1983

学術論文

線量管理システム「DoseWatch」

GEヘルスケア・ジャパン株式会社 エジソン・ソリューション本部 秋山 謙作

Abstract

日本国内では、医療被ばく線量管理に対する意識は高まる一方である。今後より一層放射線管理が求められていくと考えている。GEへルスケア・ジャパン株式会社(以下GEへルスケア)では、その国内ニーズに応えるべく「DoseWatch」を基本とし、様々な形で線量管理のサービスを展開してきたが、継続的に開発、サービスを充実させていく。本稿ではこれからの展望、最新の情報をお届けする。

キーワード

線量管理システム「DoseWatch」、クラウド、 EdiSolWorks(ESW)

はじめに

日本は他の諸国と比較してCTの台数およびその稼働率が高い国であることから(*1)、医療被ばくへの懸念、放射線線量の管理に対する意識が高い。2019年に医療法施行規則の一部を改正する省令(平成31年厚生労働省令第21号)が公布された。この中で診療用放射線の安全管理体制整備が2020年4月1日に施行され、複数の項目と共に医療被ばくの線量管理・線量記録が放射線装置を備える全ての医療施設に義務付けられるように

なった。

予防から診断、治療、経過観察・予後管理までをカバーする "プレシジョン・ヘルス"の実現を目指すGEヘルスケアは、放射線診断および治療の分野で高まる安全性および治療アウトカムへの期待に応え、2020年4月より施行の医療被ばく線量管理・線量記録の義務化への医療施設の対応をサポートすべく、放射線線量管理システム「DoseWatch」の提供をより一層強化している。

概要

このような国内市場に対応すべく、既存のDoseWatchを基本線量管理に限定して導入いただけるDoseWatch Starter (DWS)の提供を開始、続く2020年にはお客様の要望に対応する新たなサブスクリプション型のサービスプラン、DoseWatch AIOをスタートさせた。

弊社の線量管理システム「DoseWatch」は、2014年よりサービス提供を開始してから、国内外で1,400を超える施設で利用されている。日本においてもサービス提供開始から現在まで、140を超える施設でご利用いただいており、線量管理の義務化に伴う医療従事者・施設からの高まる要望に応えるべく、現在も引き続き提供体制の強化を進めている。



基本機能と発展的機能

実際に装置から出力されてきた検査データは実 施された検査一覧として「DoseWatch」上に表 示され、患者毎の線量情報を確認することができ る。また、プロトコル別に分析することで線量最 適化に役立つ情報が取得可能となっており、平均 DLPや検査数など、期間や患者年齢別に抽出す ることや、高線量検査を把握できるアラート機能 の設定が可能である。アラート機能は、統計デー タの中央値や平均値を元に検査や累計線量に対し て、しきい値を設定することで、その値を超えた 検査にアラートを発する。撮影名称の標準化と、 しきい値の設定をすることで、診断参考レベル DRLs 2020に沿って比較が容易になる。アラー トを超えた場合、照射回数やCTDIなどを分析し て原因を追究することが可能で、カスタマイズさ れた情報は任意の項目(装置別、検査別、期間毎 など)で、PDFフォーマット形式でのレポート をエクスポートが可能である。

また、小児に対して大人用のプロトコルを使っ てしまうという検査はやはり線量の被ばくの観点 からも注視したい。こちらは、システムが自動で 抽出してくれ、小児に対しての線量を適正化させ るというニーズを持っているお客様に好評だ。

発展的分析機能として、臓器線量、4D皮膚線 量マップの2つを挙げる。

臓器線量は、患者体型等を用いたDuke大学の 技術ライセンスを使用しており、弊社線量管理シ ステム「DoseWatch」に搭載している代表的な 機能のひとつだ。Scout画像、撮影部位情報をも とに150のファントムから適切なものを自動抽出 しており、CTDI Volから各臓器の実効線量をよ り早く、正確に、自動で計算結果を表示する。

4D皮膚線量マップは、検査終了時における患 者の最終的な皮膚線量分布が2Dおよび3Dで表 示され、Cアームの位置、角度による線量の分布 とオーバーラップを、照射された数値、皮脂線量 マップを時間軸で視覚的にわかりやすく表示する。

「DoseWatch」では、基本機能に加え、上記の ような発展的な機能を備えているが、基本的には 施設全体の線量データを収集・管理することに加 え、患者単位、検査プロトコル単位でも線量情報 や撮影回数情報を収集することができ、線量の最 適化を実現できるものとなっている。ただそれだ けでなく、ソフトウェアの主な分析機能として、 患者別に装置を問わず放射線線量を確認すること、 プロトコル別に線量データを集計すること、動的 な計算により線量アラートを立てる閾値を決める こと、豊富なコンテンツを含んだ定期的な分析レ ポートの出力が可能になる。

新「オプションサービス」 ESWの登場

「DoseWatch」の使用方法、操作方法などわか らないことやどう活用していいのか、お困りにな られたことがみなさん一度はあるのではないで しょうか。弊社では、そのようなお客様の声から インサイトを発見し、新サービスの展開を決める に至りました。







- Duke大学ライヤン7使田
- 信頼偏偏含か高速官 150以上のファントム
- mA変調や体格補正に対応





- 信頼値幅含め高速自動計算
- 50のファントム 10種の妊娠週に対応 妊娠週を手入力して計算開始



核医学臟器線量



ICRP128を参照とした臓器線量 $OrganDose_{ICRP128}(mGy) =$ Factororgan Dose ICRP128 * Admin. Activity(mBq)



4D 皮膚線量マップ



- 特定のRDSRにより自動計算 検査後に最大皮膚線量を確認
- 3Dファントムモデルに重畳表示時間軸 (+1D)で線量を確認 テーブルと頭の位置、減衰も

その新しいサービスは、EdiSolWorks(以下 ESW) と呼ばれ、弊社、線量管理システム 「DoseWatch」のオプションサービスとして2021 年10月1日に提供を開始した。このサービスでは、 eラーニングやオンラインサロンに参加すること ができる。サービスの一例として、導入時の操作 説明資料、過去実施されたオンラインサロンの動 画や線量レポートについてのコンテンツが準備さ れている。その他、マッピング機能の有効活用や DRLsデータの有効活用、事例紹介などユーザー 間の"繋がる場"をGEヘルスケアが提供する。 また、個人情報の取扱いに同意いただいた施設に 限られるが、他施設とリファレンスデータの比較 が可能になる。このユーザー間の"繋がる場"に 参加するにはESWアカウント(無料)登録をし ていただくことで参加することができる。

なかでもオンラインサロンは大好評で、2021年の4四半期で4回開催し、初回の"DoseWatchの基礎操作編"をはじめ、Angio、核医学の基礎操作編が展開された。どの開催回も多数のユーザーのみなさまの参加で幕を閉じた。無料開催であったものの、皆様の線量管理に関する興味、関心、意欲が示す結果だと改めて確認することができた。

2021年のオンラインサロンはトレーニング中心となったが、2022年以降は、全国のDoseWatchユーザー様のご講演を考えている。さらには、まだ構想段階であるが、他社システム使用のユーザーのみなさまも集まれる"場所"となればと考えている。

病院の広範囲にわたっての運営をサポートする関 連製品

DoseWatchの関連製品のひとつにClinical Performance Management (CPM) がある。この製品は線量管理だけでなくCTやMRなど大型装置のモダリティの見える化を実現し、収集したデータを分析することができる。診断や処置に対

する定量的かつ客観的なデータを提供することで、 最適な個別患者のケアの実現を支援する。2022年 からは「DoseWatch」導入済みのユーザーのみ ならず、門戸をさらに拡大する製品も開発中だ。

その他、GEヘルスケアでは、Brilliant Hospital、医療機器などの利用状況を可視化するため、KPI 最適化アルゴリズムを実装して病院運営を支援している。院内のヒト・モノ・データをBig Data を源に病院運営の未来資源としていく。その中には、デジタル化された院内業務、予知・予防的な分析能力、高い生産性を持つ従業員、自己調整・自動化された機器、遠隔監視・遠隔分析の常態化が挙げられる。

今後の展望

「DoseWatch」は、多くの放射線装置を備える 医療施設でご活用いただいているが、線量の管理・記録の効率化・精緻化にとどまらず、放射線 検査に関する大量データの収集・分析が可能となり、ご施設における課題の可視化が進むというお 声を多数いただくようになった。医療の現場における課題解決をサポートするCPMサービスをご 利用いただくお客様も増え、新型コロナウイルス 感染症によるパンデミックにより浮き彫りにされ た医療現場のキャパシティの課題への取組みにも 貢献させていただいていることを大変嬉しく思う。

GEヘルスケアは、これからもヘルスケアに携わる医療従事者の皆様をサポートし、患者様やそのご家族が安心・安全な医療を享受いただけるために、引き続き提供体制の強化に努めていくとともに、医療機関が、限りある医療資源の中で、無駄を減らし効率を高めながら質の高い医療を提供し続けられるようにデジタルの力を用いて貢献して参ります。

* 1 http://www.kantei.go.jp/saigai/senmonka_ g65.html

学術論文

「医療デジタル化によるワークフローの改善および 人工知能技術を用いた画像診断・治療計画支援」

シーメンスヘルスケア株式会社 岩田 和浩

1. はじめに

医療のあらゆる段階において、医療データの利活用、人工知能技術やIoTデバイスを用いた医療のデジタル化が急速に進んでおり、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、さらなるスピードで多くのご施設での導入が進められている。Siemens Healthineersは、我々のPurpose(存在意義)として、「We pioneer breakthroughs in healthcare. For everyone. Everywhere.ヘルスケアを、その先へ。すべての人々へ。」を掲げ、私たちの事業の中核であるヘルスケアにおいてブレークスルーをもたらし続け、お客様や患者さんにとって目に見える成果を提供するというコミットメントをしている。また、我々をふくむ地球に住む80億の人々のためにそのブレークスルーをおこし続けることを存在理由として掲げている。

そして、我々はこれを実現するために、現在、スクリーニング、診断から治療、フォローアップまでの全ての段階において、画像診断装置・治療装置・臨床検査機器等の幅広いポートフォリオを提供すると同時に、医療のデジタル化及び人工知能技術を活用した製品・サービスの提供を行っている。

医療におけるDX (デジタルトランスフォーメーション)

医療におけるデジタルデータや、医療現場で使用されているIoTデバイスの数は年々増加している一方、それらデジタルデータの利活用についてはまだ不十分である。現段階では、各種データの統合やデータ分析、分析結果の活用にいくつかの

課題があることが、医療現場におけるデジタルトランスフォーメーションが進まない一つの原因であると考えられる。

また、昨今、日本の医療環境は高齢化や医師・スタッフ不足で人件費の増加や診療報酬改定などで収入減がつづいており、経営状況が伸び悩んでいる状態が続いている。一方で、そのような状況であっても、医療施設は医療の質を担保するための、継続的に高額なシステム投資や、システムメンテナンス費用を掛けながらシステムを維持しなければならない。

このような課題を解決するべく、Siemens Healthineersは、医療のデジタルトランスフォー メーションを実現するために、医療施設のコスト 負担を下げながらも、各医療施設に付加価値のあ るサービスを提供出来るのではないかと考えてい た。その一つのソリューションが、進化に順応で きる医療インフラとしての、「teamplay digital health platform | である。医療のデジタル化を進 めるplatformに搭載されているサービスは、クラ ウドを活用することで、「所有から利用」のモデ ルにすることが可能であり、これまでの高額な初 期投資を不要とした。また、オープンなplatform とすることにより、弊社独自で開発した製品・ サービスだけでなく、パートナー企業の魅力的な 製品・サービスを、各医療施設が契約に基づいて、 活用することが可能である。

teamplay digital health platformは、現時点において、2100以上の日本の医療施設で採用しており、線量管理をサポートする「teamplay Dose」、CTやMR装置等の放射線機器の稼働率等のパ

フォーマンスを管理する「teamplay Usage」や、 業務効率を向上させ、質の高いマンモグラフィー検 査をサポートする「teamplay Mammo Dashboard」 等の多くの有益な機能が既に使用できる。



図1. teamplay Usage

また、最新機能として、teamplay とIoTデバイスを活用し、セキュアな環境下で画像参照から、教育、研究目的の画像共有をサポートする「teamplay Images」が、この度追加された。teamplay Imagesは、チャット、医用画像共有、ビデオカンファレンスが可能であり、個人や組織が双方向に情報の発信ができるだけでなく、症例画像を遠隔からも参照できるため、現場にいる医師・技師をはじめとした医療従事者間でのコミュニケーションの活性化を実現する。また、これら機能を活用することで、医療現場で求められている、「働き方改革」や「タスクシフト」にも寄与すると考えられている。



図 2. teamplay Images

3. 人工知能技術を用いた画像診断・治療計画支援

Siemens HealthineersのAI技術開発の取り組みは歴史がある。1990年より人工知能技術の中の機械学習を応用し、CTやMR装置で得られた画像の解析を行う、多くのアプリケーションが開発され、長くにわたり、多くのご施設で活用されている。また、2010年からは、機械学習の中の深層学習(ディープラーニング)技術を応用し、画像解析のさらなる精度向上および新機能の製品開発を進めている。さらに、ディープラーニング技術を、CTやMR装置での撮影でも応用することで、検査効率の向上、検査の標準化、適正な線量による検査の実施を実現しており、撮影から計測、診断支援、治療計画支援までの一連のワークフローにおいて、人工知能を応用した製品が使用可能である。

画像診断・治療計画支援においては、人工知能技術を応用した製品・サービスのプラットフォームとして、「AI-Rad Companion」のブランド名で提供を開始しており、現時点で、薬機承認・認証を取得した4つのシリーズ、10の機能の活用が医療現場で進んでいる。

3-1. AI-Rad Companion Chest CT

1つ目のシリーズは、胸部CT画像の解析を行う、AI-Rad Companion Chest CT (以下、Chest CT)である。死因の42.6%が悪性新生物、心疾患と言われている中、これら疾患の診断目的のCT検査が増加している。また、未病、早期発見の観点から、がん検診の受診率が増加しており、医療現場でのCT検査の増加は年々進んでいる。一方で、日本においては、CT装置の台数に対する、放射線科読影医の数が少なく、読影効率の向上が求められている。そのような背景もあり、胸部CT検査における人工知能技術の応用は必須である。

Chest CTは2つ特長がある。1つ目の特長は、「Multi-Vender」である。弊社のCTに限らず、他社様のCT装置でも、撮影条件や再構成条件を調整していただくことで、解析ができるため、多くのご施設で、Chest CTの導入・活用を進めていただくことが可能である。また、2つ目の特長は、「Muti-Organ approach」である。単純胸部CT画像より、肺・心臓・大動脈・胸椎骨の複数の部位の計測・定量化が可能であり、以下の計測結果を同時に提供することで、読影医の生産性向上に寄与する。

【肺】

- ・肺結節 2D/3Dの直径および体積
- ・低吸収領域の自動計測および肺葉毎の割合 (肺気腫の評価指標)
- ・肺密度の自動計測および肺葉毎の割合 (陰影の評価指標として使用を想定)

【心臓】

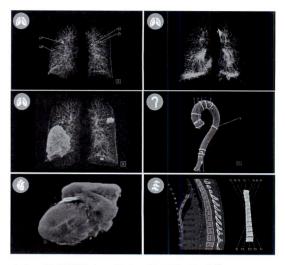
- ・心臓全体の体積の自動計測
- ・冠動脈石灰化部位の抽出と自動計測

【大動脈】

・9 か所の位置での直径の自動計測 (アメリカ心臓協会のガイドラインにより定義 された 9 か所)

【胸椎骨】

・T1からT12の12か所の椎骨の自動検出と高さの計測および、各椎骨のHU値の自動計測



左上:肺結節検出、右上:低吸収域計測* 左中:肺密度計測、右中:大動脈径計測

左下:心臓/冠動脈石灰化計測、右下:胸椎骨計測

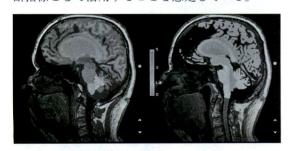
図3. Chest CT結果

※ -950HU前後に設定することで、肺気腫を示す低吸収領域が描出できると報告されている。(Wang Z, et al. Optimal threshold in CT quantification of emphysema. Eur Radiol 2013; 23: 975-84.)

さらに、各部位で計測された数値結果は、 Volume Rendering画像、Axial断面に追加された 計測結果と合わせて、定量レポートでも提供され るため、結果画像を用いた定性評価と合わせて、 計測された数値を使用した定量評価も可能である。 これにより、診断を客観的な指標をもって実施す ることが可能となる。このような客観的な指標に 基づいた読影は、全世界で猛威を振るっている、 新型コロナウイルス感染症患者の胸部CT画像を Chest CTにより、解析された結果を経時的に観察・評価することで、新型コロナウイルス感染症 の重症化予測や治療効果判定でも活用されている。 また、既に活用を始めているご施設からは、 Chest CTの最大の特長である、「Muti-Organ approach」により、一度に複数の部位の評価が可能なメリットを活かし、検診やCT肺がんドックなどでの活用が魅力的であるとの評価をいただいている。解析結果が、3次元データ、数値としても表示されるため、それらを用いて、結果説明をわかりやすく受検者に伝えることや、読影医が検査の依頼元の主治医にわかりやすく説明することにも寄与する。

3-2. AI-Rad Companion Brain MR

2つ目のシリーズは、頭部MR画像を解析可能な、「AI-Rad Companion Brain MR(以下、Brain MR)」である。頭部MR画像を解析することにより、各脳領域を自動セグメンテーションし、設定に基づいて各脳領域を色付け表示すると同時に、体積の自動計測を行う。その上で、年齢・性別によって作成された標準データベースと、計測された体積を比較し、画像上に偏差マップとして表示を行う。また、それと同時に、計測された体積結果と合わせて、偏差値は定量レポートで出力される。放射線科医および診療医が、アルツハイマー病、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症や脊髄小脳変性症などの神経変性疾患や脱髄疾患等の診断指標として活用することを想定している。



左:各脳領域の色付け表示結果 右:各脳領域の偏差マップ

図 4. Brain MR結果

各脳領域の色分け

脳葉 GM(灰白質):		脳葉 WM (白質):
• 前頭葉		• 前頭葉
• 頭頂葉		• 頭頂葉
• 後頭葉		。 後頭葉
• 側頭葉		• 側頭葉
• 帯状回		• 脳梁
• 小脳 GM		• 深部 WM
		· 小脳 WM
白質異常(WMAb)		CSF
側脳室 (左)		視床(左/右)
側脳室 (右)		尾状核(左/右)
第三脳室		被殼(左/右)
第四脳室		淡蒼球(左/右)
島 (左/右)		海馬(左/右)
中脳		橋
		延髓
側脳室(左) 側脳室(右) 第三脳室 第四脳室 島(左/右)		(CSF 視床 (左/右) 尾状核 (左/右) 被殻 (左/右) 淡蒼球 (左/右) 海馬 (左/右)

図5. 各脳領域と色分け表示

3-3. AI-Rad Companion Prostate MR for Biopsy Support

3つ目のシリーズは、前立腺がんの診断にとって非常に重要な、前立腺生検を支援する、「AI-Rad Companion Prostate MR for Biopsy Support (以下、Prostate MR biopsy)」である。前立腺MR画像を解析することで、前立腺の自動セグメンテーションを行い、体積の自動計測を実施する。その上で、放射線科医や泌尿器科医が前立腺の腫瘍部分を手動にて囲い込みを行い、DICOM-RTSSオブジェクトとして、超音波装置に転送され、前立腺および主要部分の位置情報を超音波装置上で重ね合わせを行うことで、的確な位置での生検を行うための支援ツールとして活用が可能である。

これにより、より精度の高い安定した前立腺生 検手技を確立し、的確に病変を疑う部位を特定し、 生検におけるワークフローの改善を実現する。

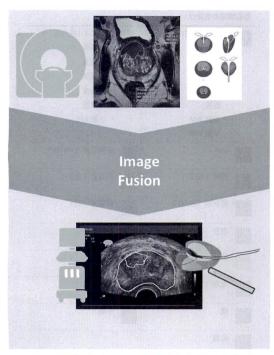


図6. 前立腺がんのケアでの人工知能の応用

3-4. AI-Rad Companion Organs RT

4つ目のシリーズは、放射線治療計画にとって非常に重要な、臓器の自動輪郭抽出を実現する、「AI-Rad Companion Organs RT(以下、Organs RT)」である。放射線治療医や物理士が手動にて実施する、臓器の輪郭抽出は、かなりの労力が必要であり、結果にばらつきが発生することで、放射線治療計画におけるばらつきという課題が存在している。これらの課題を解決する最適なソリューションがOrgans RTである。Organs RTは、CT画像から、80以上の臓器・部位を設定に基づいて、自動輪郭抽出することが可能であり、輪郭作成における時間短縮および一貫した高品質の輪郭抽出を実現する。

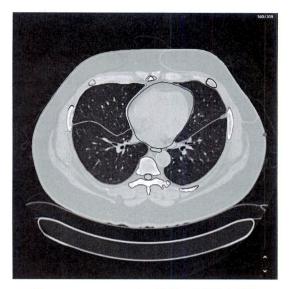
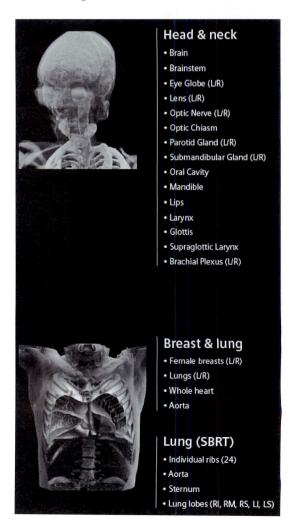


図7. Organs RTによる臓器の輪郭抽出結果



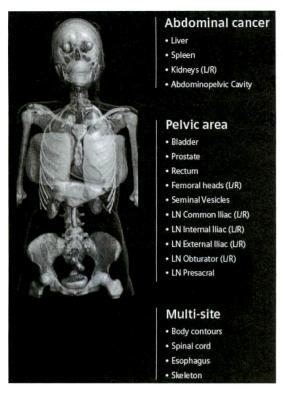


図 8. Organs RTでサポートする臓器

4. Siemens Healthineersが目指す、医療DXの 今後の展望

本稿で紹介した、「teamplay digital health platform」および「AI-Rad Companion」は、それらサービス自体が着実に進化を進めているだけでなく、急速に進む医療のデジタル化に柔軟に対応するべく、放射線科を中心に各診療科でも活用が可能な、製品・サービスの充実を図っている。これにより、医療のあらゆる段階において、医療のデジタライゼーションを推し進めることが可能となり、これらプラットフォームを通して最適なソリューション提供を行うことで、医療にかかわる人々のバリュー向上を実現する。

私たちは、自らの成長を通し、信頼されるパートナーとしてヘルスケアの未来に向けて邁進し続ける。

学術論文

※※※ 令和3年度静岡県放射線技師研修会 ※※※※※

「LEANを活用した業務改革と ヘルスコンティニウムの実現に向けて」

株式会社フィリップス・ジャパン 北原 雄高

1. コ・クリエイションアプローチの重要性

1) ヘルスケアを取り巻く環境変化

世界の先進諸国はいずれも高齢化、財政的制約、労働力不足という3つの課題に直面しています。わが国も、医療や介護のニーズが劇的に拡大する一方で、少子化により財政は一層厳しくなり、担い手不足は深刻化します。ヘルスケアシステムの持続性を担保するためには、抜本的な改革が求められます。

2) フィリップスの基本戦略

当社は基本戦略としてヘルスコンティニウ ムを通じた価値創造を掲げています。これは、 従来のように個々のタッチポイントで医療の 最適化を図るのではなく、予防、診断、治療、 ホームケアといった一人の患者が体験する一 連のペイシェントジャーニー全体で統合的な ケアを提供することで、投下した医療資源に 対するアウトカムの最大化を図ることです。 この基本戦略を軸に、我々が目指している4 つの目標があります。1つ目は、人々のより 良い健康アウトカムの実現です。ヘルスケア においては、何よりもその臨床的な質という ものが厳しく求められます。2つ目に患者体 験の向上です。近年は、患者自身のヘルスケ アサービスに対する情報収集力が高まり、医 療機関に訪れた患者やその家族における卓越 した体験が競争の新たな基軸となりつつあり ます。3つ目は、医療従事者の体験の向上で す。労働人口の減少が深刻さを増す中で、医 療従事者の働く環境の改善、生産性の向上の

実現を目指します。最後に、これら3つのアウトカムの達成を最適な医療資源投下によって実現することを目指します(図表1参照)。

Philipsは患者を中心とした統合的なケアの確立を図り、Quadruple aimの実現を図る



図表1 ヘルスコンティニウムと4つの目標

3) コ・クリエイションアプローチ

複雑化するヘルスケア課題に対し、医療機 関、ベンダー単独で医療のイノベーションを 起こすことは困難な状況になっています。そ こで当社では、医療機関とのコ・クリエイ ションの取り組みを強化しています(図表2 参照)。コ・クリエイションのポイントは3 つあります。一つ目に、目指すVisionとゴー ルを共創し、実現に向けた問題を医療機関と 当社が共有することです。次に、問題点の洞 察が最初であり、そこに解決策のデザインが 続くという順序を間違えないことです。3つ 目に、ゴールの達成に向けて解決策をデザイ ンする際に、相互の経験や専門性を持ち寄る ことです。当社は、医療機関とのコ・クリエ イションを強化すべく、社内にHealth Transformation Serviceという部隊を組成し ています。この組織は、臨床バックグラウン ド、コンサルティングファーム出身者、オペ レーション改革の専門家、IT専門家などに よって構成されており、医療機関とのコ・ク

リエイションを推進する上で、従来の製品情報とは異なる専門性をご提供し、医療機関の変革やVisionの実現を支援することを目指しております。



図表 2 Philipsのコ・クリエイションアプローチ

2. コ・クリエイションにおけるLEANの位置づけ当社は、医療機関とのコ・クリエイションを推進する上で、LEANによる業務改革を重視しています。LEANは、トヨタ生産方式を研究し、そのノウハウが体系化されたもので、今日では企業経営や病院経営にも広く応用されています。LEANに関する解説は専門書に委ねますが、根底にある考え方は、「顧客への価値提供の流れを改善し、顧客が欲するタイミングで顧客が期待する水準のサービス、モノ、情報を届けること」にあります。

医療機関において、顧客とは患者を指します。医療は、一人の患者に対して独立した部門や職種の業務が複雑に連携しながら提供されています。患者への価値提供の流れを改善するためには、一人の患者に関わる多部門の業務を、個別最適から全体最適の視点を持って改革を進めることが求められます。言い換えると、患者視点で一連のペイシェントジャーニーにおける価値提供を最大化するために、ペイシェントジャーニー横断的に問題を定義し、解決策をデザインすることが、イノベーションをコ・クリエイションするための基本アプローチであると考えております。

患者中心を追求することが、職員の業務負担の増加に繋がるとする議論もありますが、

患者視点で業務の流れを分析することで、個々の部門単位の活動では見えなかった問題が明らかとなり、スタッフの業務の効率化にもつながることも少なくありません。更に、業務改革を進める上で異なる職種間や部門間で利害相反が生じたときに、患者を中心とした価値基準を設定することが、利害を収斂させる上で極めて重要となります。

昨今、医療業界においてもデジタルトランスフォーメーションの重要性が議論されております。デジタルトランスフォーメーションはテクノロジーの導入によってのみ実現されるものではありません。そのテクノロジーが、有効に活用され、新たなオペレーション導入と組織・プロセス改革を伴って、初めて患者に新たな価値提供をもたらすことができます。更に最適なテクノロジーをデザインするためには、問題点に対する洞察が最初であり、続けてテクノロジー、組織・オペレーション改革を含めた解決策のデザインが続くという原則を忘れないことが必要です。

3. LEANによる業務改革アプローチ

LEANによる業務改革は、目標設定、現状の理解、解決策の立案、実行という4つのフェーズに分けることができます(図表3参照)。各フェーズの詳細は後述しますが、全体を通じて重要なことは現状の業務プロセスとその問題に対する正しい理解をチームで共有することが先であり、解決策を論じることは正しい理解に基づいて行われる必要があるということです。また、問題は、目指す姿と現状のギャップと定義されます。一般的に、プロジェクトに参加するメンバーが描いている目指す姿はそれぞれで異なる可能性があり、その状態で問題は何かという議論を行うことは問題の捉え方を誤る可能性があります。問題を正確に捉えるためには、先立ってその業

務改革によってチームとして目指す姿を設定 することが必要となります。



図表3 LEANによる業務改革アプローチ

1) フェーズ ()

このフェーズでは、対象とする業務改革プロジェクトによって目指すゴールを特定します。

目指すゴールは具体的であり、挑戦的であ り、参加メンバーが共感できるものが有効で す。例えば、「検査件数の増加」というゴー ルは、どこまで増加させるかの具体性があり ません。更には参加メンバーの中には検査件 数を増加させることが自身の業務負担の増加 につながるという直感から、プロジェクトの 推進に抵抗を感じるメンバーを生み出す可能 性もあります。異なる医療職の共感を高め、 プロジェクトに対するエンゲージメントを獲 得するためには、ゴール設定に患者視点のあ るべき姿を組み込むことが有効です。例に挙 げた検査件数を増加させるというゴールは、 「患者の待ち時間をゼロにする」といった表 現に変えることで、ゴールの具体性が増し、 さらには患者の待ち時間を削減するために実 施するものという認識がチームに醸成されま す。結果的には検査件数を上げる活動で同じ であったとしても、ゴールの表現がプロジェ クトの成否に与える影響は大きいと思います。

昨今ですと働き方改革推進の観点から、職員の業務効率化をゴールとしたプロジェクトの相談を頂くことが増えています。この場合も、業務負担の軽減そのものをゴールにする

のではなく、患者視点を取り入れたゴール設定にすることを推奨しています。業務負担の軽減そのものを主目標とすると、経験的に職種間や部門間で生じた利害相反の解決が難しくなることが多いと感じます。例えば、「業務時間内のオペレーションで、患者の待ち日数をゼロにする」など、患者視点と組み合わせてゴールに入れることで、何のために業務効率化を図るかが明確となり、利害相反が生じた場合も、「患者視点ではどっちがいいか」という議論の軸ができるため、解決策を導きやすくなります。

フェーズ1:現状のプロセスマッピング と問題点の特定

このフェーズでは現状のプロセスマッピングを行い、目指すゴールに対する問題をチームとして特定します。プロジェクトの範囲や規模にもよりますが、当社が支援するプロジェクトでは、3-4時間のグループ検討会を開催し、業務改革の対象となるプロセスの関係者が集まってワークショップ形式で行います。

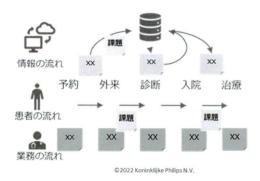
現状のプロセスマッピングは、患者の流れ、 業務の流れ、情報の流れで構成します(図表 4参照)。ポイントは、最初に患者の流れを 描き、その後、患者の流れに沿って業務と情 報の流れを描くことです。患者の流れを中心 に置くことで部門間や職種間の連携を患者視 点で眺めることが可能となり、その後の議論 を進めやすくなります。

また、もう一つのポイントは、描くプロセスの粒度を一定に保つことです。このフェーズで達成したいことは、細かいオペレーションの確認ではなく、達成したいゴールに対して、全体を俯瞰する中で、ボトルネックがどこに存在するかを特定することです。ある部分だけ詳細に描き、ある部分は粗く描いてし

まうと全体像の把握が難しくなります。適切 な粒度の見極めは、プロジェクトで達成した いゴールや範囲によって異なります。

一通りプロセスマッピングが終了したら、 次に目指すゴールを阻害する要因となっている問題を特定します。ここで重要なことは、 問題は目指すゴールを阻害する事項であり、 個人の解決したい関心事項ではありません。

このフェーズでは解決策の議論は行わず、まずは現状の理解と問題点の特定を行うことに集中します。先にも述べたように、正しい現状理解なくしては、正しい解決策を講じることはできません。正しい現状理解は、個人の理解ではなくチームとしての共通認識であるべきです。このチームとしての共通認識を醸成するために、ワークショップを開催する価値があると言えます。



図表4 現状のプロセスマッピング

3) フェーズ 2: あるべきプロセス設計と解 決策

フェーズ1で特定された問題点を解決する 施策のアイデアを出します。問題が正しく定 義されており、チーム内で合意形成がされて いれば、解決策のアイデア出しを行うことは 難しいことではありませんが、いくつかのポ イントを述べます。まず、実現のハードルは 一旦考慮せず、何をすべきか、どんな仕組み が必要かということに集中し、アイデアを発 散させます。一般的に、解決策のアイデア出 しを行うときには、平準化、標準化、可視化、 効率化という4つの視点を参考に議論を行う ことが有効です。

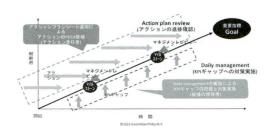
次に、それらのアイデアの優先度の評価を 行い、実行に移すものを選定します。解決策 のアイデアが多く出された時に、そのすべて を実行に移すことはチームが要する努力と効 果のバランスの観点で得策ではありません。 優先度の評価を行う際には、解決策がゴール に与えるインパクトと実行難易度の軸で評価 をするプライオリティマトリックスのフレー ムを適用することが有効です(図表5参照)。



図表 5 プライオリティマトリックス

4) フェーズ3: 実行と結果評価

フェーズ 3 は、解決策の推進を管理するアクションプランレビューと、本プロジェクトにおける重要評価指標(KPI)に対する達成進捗度を評価するデイリーマネジメントを両輪で実施しながら、PDCA管理を行います(図表 6 参照)。



図表6 実行管理の仕組み

アクションプランレビューは、フェーズ2 で選定した解決策のアイデアを活動ベースの 計画に落とし込み、その進捗を管理します。 この活動ベースの計画をアクションプランと 呼び、具体的な活動、スケジュール、責任者 などを記載します。施策実行の進捗を可視化 することで、予定通りにアクションが進捗し ていない場合、チームとして対策を講じます。 デイリーマネジメントは、アクション推進 の結果としてのゴール達成に対する定量的な 評価を行うものです。プロジェクトとしての KPIをチームとして合意し、その達成度を定 期的に確認します。内容にもよりますが、通 常は週次での評価が一般的です。掲げた目標 値と実績に乖離がある場合、それを埋める対 策をその場で合意し実行に移します。アク ションプランが比較的時間がかかるアクショ ンを管理するのに対し、デイリーマネジメン トでは目標とのギャップを埋めるために早期 に実行できる対策を合意します。

4. 業務改革の成功要因

ここまでLEANによる業務改革アプローチ について述べましたが、業務改革が成功する 要因は以下のとおりであると考えています。

- 1)目標設定:経営視点から明確な目標設定があり、当該目標が組織に浸透している。更に、患者にとっての価値に重きを置いた理想の姿を目標に掲げている。
- リーダーシップ:部門長クラスの改善に対する強いリーダーシップがある。
- 3) エンゲージメント:改善対象とするプロセス全体に関わる必要な人材を巻き込んでいる。
- 4) 手法:問題の解決のアプローチや考え 方に対して体系的な手法が活用される。

5. 最後に

当社はLEANによる業務改革を単なる業務 改革と位置付けておらず、お客様と共同で医 療のイノベーションを創出するコ・クリエイ ションを推進する上で重要な取り組みで考え ています。こうした取り組みが医療機関の皆 様の業務改善の一助となること、更に、ヘル スケア業界の課題解決に貢献することを願っ ています。

祝 第12回中部放射線医療技術学術大会学術奨励賞受賞

日付:2022年5月29日 場所:浜松プレスタワー

静岡県立こども病院放射線技術室の佐野恭平会 員が、2019年11月30日・12月1日に静岡県浜松市 (アクトシティ浜松コングレスセンター)で開催 されました、第12回中部放射線医療技術学術大会、 一般演題の口演発表において、学術奨励賞を受賞 されました。

受賞されました演題は、「Syntheric MRIのT1 値、T2値算出における撮影条件の影響」です。

佐野会員はこの発表で、一度の撮像で各ピクセル単位のT1値、T2値を求めることができ、複数コントラスト画像や、各Map画像が得られるSynthetic MRIにおいて撮影条件がT1値、T2値を算出する上でどのように影響するかを自作のファントムで検証した内容を発表されました。

県内選考委員による厳正なる選考により、本研究が静岡県内の演題発表で最も優れた内容であると評価され、今回の受賞となりました。

2022年第11回公益法人静岡県放射線技師会定時総会の授賞式で、佐野会員から日ごろの仕事で疑問に思うことを検証し、クリアしていくことがとても大切であり、これからも職場の仲間とともに、協力して業務にあたっていきたいと、喜びの言葉を述べられました。

佐野様、あらためて栄えあるご受賞、誠におめでとうございます。心からお祝いを申し上げますとともに、今後ますますのご活躍を心よりお祈りいたします。

今回の受賞に関し、新型コロナウィルス感染に

より県内での定時総会が中止、また、オンライン 形式となり、表彰状の授与が延期してしましまし た。この場をお借りしお詫び申し上げます。







メッセージポード

令和4年6月現在

東部地区

◎経過報告

2022.3.5(土)

ハガキ決議

第60回東部地区会通常総会

ハガキによる決議案承認を実施

2022.6.13(月)

メール会議

第1回幹事会(メール会議)

事務局「国際医療福祉大学熱海病院」より 事前に下記案件に対して幹事へ内容確認メー ル送信

- ①静岡県放射線技師会報告
- ②令和4年度事業計画
- ③東部地区連絡網について
- ④地区会だよりvol.1(案)について
- ⑤報酬・交通費について

2022.6.17(金)

東部地区会たよりvol.1 発行・発送

◎行事予定

2022.7.27(水) 18:30~

第2回幹事会(WEB会議予定)開催 「国際医療福祉大学熱海病院」配信

2022.9上旬

東部地区会たよりvol.2 発行

2022.10中旬

第3回幹事会 開催

2022.11.26(土)

第1回放射線セミナー

第1回胃がん検診X線撮影従事者講習会

「三島商工会議所」 4 階 大会議室

※)コロナ禍の状況により開催方法は検討

※)ふれあい広場等への参加は事務局で検討中

中部地区

〈経過報告〉

3月4日 第4回幹事会 島田市立総合医療センターにて(出席者8名)

- 1. 総会書面決議集計
- 2. 結果

議案1 令和3年度活動報告·事業報告· 会計決算報告·会計監查報告

議案2 令和4年度活動方針案·事業計画 案·予算案

議案3 令和4年度役員承認の件 中部地区会員350名中、206名の承認が得られ議 事承認となりました。

3月5日Web発信にて令和3年度第2回胃が ん検診エックス線撮影従事者講習会及び放射線 セミナーを開催 参加者42名(会員38名 非会 員4名)

第2回放射線セミナー

「Philips社MRI (Ambition、Elition)の使用経験について」

島田市立総合医療センター

山中 一仁 会員

第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会 「当院の運用状況と症例報告」

静岡市立清水病院 今林 教予 会員

「当院の胃がん検診運用と経験症例」

JA静岡厚生連静岡厚生病院 市川 慎也 会員



4月8日 次年度役員申し送りならびに令和4 年度第1回幹事会 済生会総合病院にて(出席 者10名)

- 1. 引継ぎ
- 2. 協議事項
- · 中部地区会総会採決結果報告
- ・放射線セミナー&胃がん検診エックス線撮影 従事者講習会
- ・中部地区施設連絡網の整備・改定
- ・静岡ふれあい広場
- ・レクリエーション
- ・地区会ニュースの発行
- ・中部地区会費の納入方法
- · 令和 5 年度県技師会総会·学術大会会場予約
- ・ その他

〈行事予定〉

- · 令和 4 年 7 月 地区会NEWS 夏号発行
- · 令和 4 年 9 月 第 2 回幹事会
- ・令和4年9月11日 静岡ふれあい広場
- ・令和4年10月1日 第1回放射線セミナー及 び胃がん検診撮影従事者講習会

西部地区

経過報告

第3回西部地区会勉強会

日時:令和4年3月5日(土)14:00~16:40

方法: WEBによるライブ配信(Zoom Webinar)

場所:アクトシティ浜松コングレスセンター

22、23会議室

参加人数:148名(WEB:143名、会場:5名)

(会員:92名、非会員:56名)

演題名:『バリウム検査における安全性情報』

伏見製薬株式会社 名古屋営業所

平松 周 先生

『脳血管障害における放射線技師の

役割の重要性』

浜松医科大学医学部附属病院 脳神経外科 病院講師

根木 宏明 先生

『何が起きているか分かれば心カテ はもっと楽しくなる』

浜松医科大学医学部附属病院

内科学第三講座 循環器内科 診療助教

茂木 聡 先生

臨時西部地区幹事会

日時:令和4年3月5日(土)16:50~17:30

方法:会場参加

場所:アクトシティ浜松コングレスセンター

22、23会議室

参加人数:10名

内容:第43回静岡県放射線技師西部地区会総

会

書面採決(会員数401名 350名(うち無

効:1名)の書面提出、臨時幹事会参

加者10名)

2021年度事業報告および決算報告 2022年度事業計画(案)および予算案

執行部提案

新旧役員引き継ぎ

日時:令和4年年3月5日(土) 17:30~

場所:アクトシティコングレスセンター2階

22、23会議室

参加者:18名(旧役員10名 新役員8名(旧役

員以外))



第3回西部地区会誌「西部TIPS」3月発行

令和4年度第1回西部地区会幹事会

日時: 令和4年4月28日(木) 18:30~20:30

方法:会場参加

場所: 浜松医科大学医学部付属病院

スマイルテラス

参加人数:23名

内容:事業計画について

書類の説明

会費の納入について

地区会規約

その他

行事予定

社会奉仕活動『可美公園まつり』

日時:10月23日(日)

場所:可美総合公園(浜松市)

第1回西部地区会勉強会

日時:12月3日(土)14:00~

方法:未定

内容: 『予定 胃がん検診関連演題講演』

聖隷予防検診センター 放射線課

朝比奈 真一 先生

『予定 造影コントラストに関する最

新技術関連講演』

名古屋市立大学病院 放射線技術科

大橋一也 先生

『予定 消化管関連の画像診断関連講演』 浜松医科大学 放射線診断科

川村謙士 先生

第2回西部地区会勉強会

日時: 令和5年3月4日(土) 14:00~

方法:未定 内容:未定

レクリエーション 開催予定

※詳細が決まり次第、西部地区会ホームペー

ジへ掲載予定

0 忐 4

(令和4年1月28日~令和4年5月31日)

R 4 / 1 /23

東部地区 第2回放射線セミナー・胃がん検診 X線撮影従事者講習会(WEB)

参加者 56名(会員49名 非会員7名)

○放射線セミナー

会員発表

·DRLs測定の実際(パノラマ撮影·一般撮 影・乳房撮影)

発表者

静岡県立静岡がんセンター 画像診断科 植平 彩人 様

富士市立中央病院 中央放射線科

岡田 和教 会員

静岡県立静岡がんセンター 画像診断科 森川 真衣 会員

- ○胃がん検診X線撮影従事者講習会
 - ・『胃がん検診X線検査の基礎~私の考える 撮影の重要性について~』

講師: JCHO 三島総合病院 放射線科

中村 洋介 会員

R 4 / 1 /27

第20回常任理事会: WEB

R4/2/10

第21回常任理事会 (技師会事務所)

山本 深澤 畑 高橋 後藤 森田 鈴木 大杉 遠藤 佐野

協議事項

- · 次年度事業計画案 · 予算案 · 特定費用準備金 積み立て案
- · 次期役員候補者確認
- · 総会 · 学術大会開催方法確認
- · 企画申請書 · 報告書
- ・ その他

R4/2/11

第35回乳腺画像部会研修会・第2回静岡県マン モグラフィ研修会 合同研修会(WEB) 参加者95名(県内会員48名 非会員20名 県外会員16名 県外非会員9名 検査技師1名 医師1名)

1. 症例検討およびディスカッション 『症例1』

島田市立総合医療センター

前島 由佳 会員

『症例2』

磐田市立総合病院 宮木 涼香 会員 『症例3』

聖隷三方原病院 篠田 奈美 会員

- 2. 第2回静岡県マンモグラフィ研修会・合同 研修会
 - ・県内の再撮影率と傾向、改善方法について 聖隷予防検診センター 齋藤 忍 委員 浜松ろうさい病院 内田 千絵 委員

R4/2/19

第4回理事会 (技師会事務所+WEB)

山本 深澤 高橋 畑 後藤 鈴木 大杉 遠藤 佐野 森田 廣澤 宿島 小林 神谷 廣瀬 栗田 松本 大倉

協議事項

- Ⅰ. 2022年度事業計画(案)承認の件
- ・セミナー等による診療放射線技術の向上発展 のための研修事業
- 体験活動、講演、相談等の事業による放射線 検査に関する知識の普及啓発事業
- 研修、訓練等による放射線管理及び安全推進 事業
- 会員に対する相互扶助事業

反対: 0名 保留: 0名 賛成:15名 (全会一致で承認)

- Ⅱ. 2022年度収支計画(案)承認の件
- · 令和 4 年度予算案

反対: 0名 保留: 0名 賛成:15名 (全会一致で承認)

- Ⅲ. 理事会選出理事候補者承認の件
- ・理事会選出理事候補者8名について

反対: 0名 保留: 0名 賛成:15名

(全会一致で承認)

Ⅳ. はがきによる書面決裁の件及びはがきの内 容について

反対: 0名 保留: 0名 賛成:15名

(全会一致で承認)

V. 総会式次第承認の件

反対: 0名 保留: 0名 賛成:15名

(全会一致で承認)

- VI. 総会、学術大会について
- WI. 企画申請書・報告書

R 4 / 2 / 24

第22回常任理事会 (WEB)

R 4 / 2 / 26

第6回ワークライフバランス検討委員会WEB 勉強会

参加者 54名

(会員34名 非会員11名 県外会員9名) 講演:『身近な先輩に聞く キャリアデザイン』 講師 聖隷浜松病院 小林 秀行 会員 演者

静岡県立病院機構 法橋 一生 先生 沖健康クリニック 高山 正子 先生 富士市立中央病院 猪股 崇亨 会員 GEヘルスケアジャパン 盛 史範 先生 静岡がんセンター 伊藤 宏明 会員

R4/3/5

西部地区 第2回胃がん検診エックス線撮影従 事者講習会、第2回西部地区会勉強 会(WEB)

参加者数 148名(会員92名、非会員56名)

- ○胃がん検診エックス線撮影従事者講習会 講演『バリウム検査における安全性情報』 講師 伏見製薬株式会社 名古屋営業所 平松 周 先生
- ○西部地区会勉強会

講演『脳血管障害における放射線技師の役割 の重要性』

講師 浜松医科大学医学部附属病院 脳神経外科病院講師

根木 宏明 先生

○西部地区会勉強会

講演『何が起きているか分かれば心カテは もっと楽しくなる

講師 浜松医科大学医学部附属病院内科学 第三講座循環器内科診療助教

茂木 聡 先生

R4/3/5

中部地区 第2回胃がん検診エックス線撮影従 事者講習会及び放射線セミナー(WEB) 参加者42名(会員38名 非会員4名)

- ○放射線セミナー
- ・「Philips社MRI (Ambition、Elition)の使用経 験について

島田市立総合医療センター

山中 一仁 会員

- ○胃がん検診エックス線撮影従事者講習会
- ・「当院の運用状況と症例報告」

静岡市立清水病院 今林 教予 会員 ・「当院の胃がん検診運用と経験症例」

静岡厚生病院 市川 慎也 会員

R 3 / 3 / 10

第23回常任理事会 (技師会事務所)

山本 深澤 畑 高橋 後藤 森田 鈴木 大杉 遠藤 佐野

協議事項

- · R 3 年度事業報告案
- · 企画申請書 · 報告書
- ・ その他

4月からは新常任理事と引継ぎです。

各自連絡を取って参加してもらうようにして ください。

交通費の請求の仕方など指導お願いします。

R 4 / 3 / 12

第14回静岡県MRI技術研究会(WEB)

参加人数 377名

(会員243名、非会員129名、賛助会員5名)

- ・会員発表:「こんな時どうする?部位別でみ るアーチファクト対策 |
- ① [MRCP]

国際医療福祉大学熱海病院

杉山 正樹 会員

① 「小臓」

中東遠総合医療センター

川瀬 俊浩 会員

· 教育講演

「即戦MRI講座:現場に役立つ私流のMRI戦 術について」

講師 東京慈恵会医科大学附属病院

北川 久 先生

R 4 / 3 / 19

令和3年度放射線技師研修会(WEB)

参加者30名(会員27名 非会員3名)

- ・メーカー講演: 3 題
- 特別講演:「静岡県放射線技師会の現在とタス クシフトから見る未来像について |

講師 公益社団法人静岡県放射線技師会 山本 英雄 会長

R 4 / 3 / 24

第24回常任理事会 (WEB)

R 4 / 3 /25

ジャーナルVol.31 No.3 2022(通巻213号) 発行 R4/4/14

令和4年度第1回常任理事会(技師会事務)

 山本
 深澤
 畑
 高橋
 後藤
 森田
 堀

 鈴木
 大杉
 遠藤
 佐野
 中村
 河井
 福地

 野沢
 齋藤
 常葉
 菅原

協議事項

- ・令和3年度事業報告及び附属明細書報告案
- ・令和3年度計算書類等一式承認の件
- ・令和4・5年度理事及び監事候補者
- · 総会 · 学術大会準備
- · 理事会協議事項
- · 技師会損害保険
- · 企画申請書 · 報告書
- ・ その他

R4/4/23

令和 4 年度第 1 回理事会(技師会事務所+WEB) 山本 深澤 髙橋 畑 後藤 堀 鈴木 大杉 遠藤 佐野 森田 廣澤 宿島 小林 神谷 廣瀬 栗田 和田

協議事項

- 1. 令和3年度事業報告及び同附属明細書報告 承認の件
- · 令和 3 年度事業報告及(案)

反対: 0 保留: 0 賛成: 16(全会一致承認)

- 2. 令和3年度監査報告承認の件
- · 令和3年度監查報告

反対: 0 保留: 0 賛成:16(全会一致承認)

- 3. 令和3年度計算書類等一式承認
- · 令和 3 年度会計報告

反対: 0 保留: 0 賛成:16(全会一致承認)

4. 第2号議案令和4·5年度理事及び監事候 補者(案)

反対: 0 保留: 0 賛成:16(全会一致承認)

- 5. 総会と学術大会の運営について 反対:0 保留:0 賛成:16(全会-致承認)
- 6. 永年勤続20年35年表彰および叙勲報告会に ついて
- 7. その他

R 4 / 4 / 28

第2回常任理事会(WEB)

R4/5/12

第3回常任理事会(技師会事務所)

 山本
 深澤
 畑
 高橋
 後藤
 森田
 堀

 鈴木
 大杉
 遠藤
 佐野
 中村
 河井
 福地

 野沢
 齋藤
 常葉
 菅原

協議事項

- · 総会、学術大会最終確認
- ・はがき確認方法
- ・後援申請について

日本乳がん検診学会学術総会

・その他

R 4 / 5 / 26

第4回常任理事会(WEB)

R4/5/29

第11回(公社)静岡県放射線技師会定時総会 第26回静岡県放射線技師会学術大会

浜松プレスタワー17階 静岡新聞ホール+WEB 山本 深澤 髙橋 畑 後藤 堀 鈴木 大杉 遠藤 佐野 森田 廣澤 宿島 小林 神谷 廣瀬 栗田 和田 春田 牛場 佐藤 大倉 中村 河井 福地 野沢 齋藤 常葉 大多和 中村 寺田 増田 坪内 伊東 清水 松本

- ●第11回(公社)静岡県放射線技師会定時総会 資格審査 会員 982名/有効評決数 677名
- 1. 報告
- ・令和3年度事業報告及び同附属明細書報告承 認の件
- · 令和 3 年度監查報告
- 2. 議事
- ・第1号議案 令和3年度計算書類等一式承認 の件

反対 0 賛成 674 保留 3

・第2号議案 令和4・5年度理事及び監事候 補者の件

反対 1 賛成 673 保留 2

●第26回静岡県放射線技師会学術大会

参加者

会場 81名(会員 75名 企業その他 6名) WEB 155名

(会員 126名 非会員 16名 一般 5名 学生 8名)

- ·一般研究発表:15演題
- ・ランチョンセミナー
 - ~ 動態画像の現在と未来 ~

『面検出器CTを用いた4Dイメージング』

講師:キャノンメディカル(株)

猪川 弘康 先生

『単純 X 線撮影技術で実現する動態撮影』 講師: コニカミノルタジャパン(株)

山口 晃史 先生

· 公開講演

『ラジエーションハウスが教えてくれたこと ~誕生から映画化までのキセキ~』

講師:福島県立医科大学

保健科学部診療放射線科学科

准教授 五月女 康作 先生

会 静 動 目 (敬称略)

(令和4年1月13日~令和4年5月11日)

【入 会】30名

東部: 古橋 都槻 伊豆慶友病院

> 滝口 京佑 静岡県立静岡がんセンター 松浦 大介 国立病院機構静岡医療センター

> 関口 僚祐 順天堂大学医学部付属静岡病院

渡邊 剛彦 フジ虎ノ門整形外科病院

亀田 菜月 富十宮市立病院

中部:小泉 健二 静岡瀬名病院

> 大長 愛実 静岡市立清水病院

浅見 千明 聖隷健康サポートセンター

Shizuoka

新井 洗希 静岡県結核予防会

西部:山本千穂里 浜松医科大学医学部附属病院

浜松医科大学医学部附属病院 山崎 信宏 佐々木祐輔 浜松医科大学医学部附属病院

西尾 彰浩 浜松医科大学医学部附属病院

藤居 真味 浜松医科大学医学部附属病院 小林 亮 浜松医科大学医学部附属病院

佐藤 智美 浜松医科大学医学部附属病院

金子 大祐 浜松医科大学医学部附属病院

後藤 勇磨 浜松医科大学医学部附属病院

浜松医科大学医学部附属病院 東田 真吾

藤井 真味 浜松医科大学医学部附属病院

武藤 佑河 総合病院聖隷浜松病院 村松 朋紀 浜松医療センター

高橋 遼 浜松医療センター

山田 暢子 すずかけセントラル病院

牧野 芽衣 すずかけセントラル病院

やまうち整形外科 加藤 雅也

林 英輝 IA静岡厚牛連 遠州病院

鈴木 優良 マツオ脳神経クリニック 國井 梨恵 聖隷予防検診センター

【再入会】 0 名 【転入】5名

中部:海野 奏 自宅

← 福岡県

石黒 裕海 藤枝健康診断センター

← 愛知県

聖隷健康診断センター 西部:遠藤 彩恵

← 愛知県

伊藤 和彦 聖隷健康診断センター

← 神奈川県

箕浦 香 聖隷浜松病院

← 兵庫県

【転出】9名

東部:初田 美咲 栃木県

> 平野 裕子 兵庫県

瓜倉 厚志 東京都

中部:村田 昌也 愛知県 後藤 瑚 埼玉県

> 原 陽子 石川県

西部:鈴木 聖佳 兵庫県

西川 遥香 滋賀県

県外:阿部 宏美 神奈川

【勤務先移動】13名

東部:山本 海登 富士脳障害研究所附属病院

← 聖隷三方原病院

静岡リウマチ整形外科リハビリ病院 久保田健吾

← 国際医療福祉大学熱海病院

飯野 紘司 富士市立中央病院

← 聖隷富士病院

南あたみ第一病院 齋藤 道弘

← 自宅

大橋魅輝斗 富士宮市立病院

← 聖隷三方原病院

中部:田川 均 白宅

← 静岡赤十字病院

前林 晴也 静岡県立総合病院

← 富士宮市立病院

自宅 佐藤 洋代

← 静岡市医師会健診センター

永田 豊明 ともの整形外科クリニック

← 自宅

横山 和佳 静岡徳洲会病院

← JA静岡厚生連 清水厚生病院

西部:渥美 雄介 浜松医療センター

← 聖隷三方原病院

浜松北病院 赤堀 令一

← 磐田市立総合病院

聖隷健康診断センター 小林 秀行

← 聖隷浜松病院

【退 会】18名

東部:石川 忠徳 井出 宣孝 平澤 大樹

> 西山 嵩人 土屋 孝広

中部:渥美 希義 桑原 彩花 野寄 哲

若杉由美子 大川 宏人 瀧澤 正明

智 西部:谷崎 靖夫 加藤 宏幸 竹内 安井 梨香 内倉 優

平野 昌弘

県外:山下 悠汰

【姓変更】5名

東部:山邊 慧

← 小林

鈴木真弓子

← 山本

中部:海野 奏

← 藤井

西部:月山 依子

← 松田

西川 遥香

← 影山

会員総数 981名

東部 277名

中部 295名

西部 407名

県外 2名

(令和4年5月11日現在)

【電報】2件

静岡医療科学専門大学校 祝電 吉川 典子(岐阜県技師会)弔電



- 2/1 埼玉放射線 2022 No.1
- 2/3 かながわ放射線だより Vol.74 No.5 Jan.2022
- 2/3 大放技会報 No.342 (大阪府診療放射線技師会)
- 2/4 東京放射線 2022年2月号 Vol.69 No.802
- 2/7 大分放射線 第126号 January 2022
- 2/7 放射線 やまぐち 2022 Vol.289
- 2/10 会誌 No.41 2022.2 (岡山県診療放射線技師会)
- 2/25 放射野 2022.No.133 (長崎県診療放射線技師会)
- 3/4 東京放射線 2022年3月号 Vol.69 No.803
- 3/8 兵庫県放射線技師会 会誌 2022.3.1 Vol.81-(3)

- 3/9 MART会誌97 宮城県放射線技師会
- 3/17 岐阜県診療放射線技師会 第97巻 通号133号
- 3/24 岩手県診療放射線技師会 No.48 2022.3月
- 3/25 福岡県診療放射線技師会誌 第349号 Mar.25.2022
- 3/28 滋賀県診療放射線技師会会誌 あふみ No.64.2022
- 3/31 かながわ放射線だより Vol.74 No.6 Mar.2022
- 4/4 東京都診療放射線技師会 創立70周年·法人化40周年記念誌
- 4/4 宮崎県放射線技師会会誌 2022.3 vol.110
- 4/4 大放技会報No.343 (大阪府診療放射線技師会)
- 4/5 東京放射線 2022年月4号 Vol.69 No.804
- 4/22 富山県診療放射線技師会会報 Vol.99 2022
- 5/6 愛知県診療放射線技師会誌 Vol.34 No.1 Dec.2022
- 5/6 東京放射線 2022年月5号 Vol.69 No.805
- 5/6 島根県診療放射線技師会雑誌 放射線島根 No.100 Vol58-1 2022.3
- 5/6 北海道放射線技師会会報 2022年5月
- 5/6 放射線 やまぐち 2022 Vol.290
- 5/6 新潟県診療放射線技師会々報 第96号 2022.4.25
- 5/17 かながわ放射線だより Vol.75 No.1 May.2022
- 5/17 福島県診療放射線技師会 2022 No.58
- 5/17 鹿苑 奈良県診療放射線技師会 季刊会誌 第106号 2002.4月
- 5/17 大分放射線 第127号 April 2022 総会資料号
- 5/23 解放「すいせん」157号 2022.05.13 福井県診療放射線技師会
- 5/30 放射野 2022.No.134 長崎県診療放射線技師会
- 6/2 兵庫県診療放射線技師会 2022.No.2
- 6/2 東京放射線 2022年月6号 Vol.69 No.806
- 6/6 大放技会報No.344 (大阪府診療放射線技師会)
- 6/8 京都府放射線技師会 令和3年度
- 6/14 山梨放射線 No.44 2022.4

^{令和4年度} 第1回 理事会 議事録

1. 開催日時 令和4年4月23日(土)

2. 場 所 技師会事務所+WEB会議

3. 出席者(敬称略)

山本 英雄·深澤 英史·髙橋 真

畑 利浩·後藤 修司·堀 吉孝

鈴木 紀晶・大杉 正典・遠藤 基生

佐野 祐二・森田 光博・廣澤 賢一

宿島 久志・小林 秀行・神谷 正貴

廣瀬 和秀・栗田 仁一・和田 健(顧問)

欠席者

松本 恭徳

(1) 山本会長挨拶

令和4年度第1回理事会を開催します。

定款34条に基づき理事会の議長は会長が務める 事になっていますので私が務めさせていただきま す。

議事録は36条で議長が指名となっています。総 務庶務・森田理事お願いします。

(2) 報告事項

I. 会長

IARTから会員数の報告です。

令和4年1月31日時点での都道府県別会員数及び組織率が報告され、静岡県は953人となっています。全国で31.887人です。

JARTでは昨年・一昨年の会員数減少を新型コロナウイルス感染症の影響と考えており、現在では例年通りの会員数となってきています。

静岡県の組織率は約63%となっています。県内におおよそ1,500人の技師が登録されており、内953人が会員となっています。

近隣県の組織率を見てみると、岐阜県85%、愛

知県71%となっています。静岡県も70%を超えるよう会員を増やしていきたいと思います。全国組織率は57.5%となっています。

次に、JARTで小・中・高校生への出張授業等 の実態アンケートを行いました。

出張授業等を行った事がある技師会が約38%という報告がありました。

対象者として中・高校生が多かったようです。 開催の契機として近隣学校・PTA・教育委員 会からの要請が多くありました。

環境省がJARTとタイアップし、国民に正しい 放射線の知識を伝えていく事業が始まっていくと 思います。

本県においても昨年度、西部地区で高校生を対象に出張授業を開催しました。これを参考にし、本年度の事業に組み込んで各地区で開催していきたいと思います。

続いて、第14回中部放射線医療技術学会につい てです。

2022年11月5・6日、愛知県ウインクあいちで 会場型で開催します。

愛知県技師会で2年前から会場予約をしていま した。コロナ禍でありますが多額のキャンセル料 が発生してしまうため、会場型での開催を決定し ました。

今大会の大会長は技術学会 國友会長。副会長 は愛知県技師会 水口会長が務めます。

既に大会のポスターが刷り上がり、皆様のところにも届いている施設があると思います。

参加をぜひお願いします。

3月、静岡医療科学大学校の卒業式に来賓として参加しました。医療放射線学科の卒業生は8名でした。

4月には入学式に技師会より祝電を送りました。 三十数名の新入生が入学しており、着実に志望 者は増えています。2028年の4年制移行を目指し ています。

移行にあたり、校内にCT・MRIの設置など設

備投資を順次進めて、初年度募集人員は80名を予 定しています。

JARTと学術委託契約を締結しました。告示研修、フレッシャーズセミナー等JART主催の事業を静岡県放射線技師会が請け負い開催する事で開催費用、補助金等が支払われます。

静岡県放射線技師会では、国内旅行傷害保険に加入しています。

理事会や各地区幹事会、セミナー等に参加する 際事故等がおきた場合に保障される保険です。

昨年度は約150,000円の保険料を支払いました。 内訳としては年間延べ参加者約500名×300円の計 算になります。

今年度、契約の見直しという事で、検討しました。3月時点で、281名が対象者になりました。例えば、1回の理事会に20名参加があり、4回開催すると80名の対象者がいる事になります。

内容を常任理事会で検討した結果、今年度は 300名の契約で決定しました。年度途中で契約者 数の変更も可能です。

常任理事会で保険について現在の傷害保険では なく共済保険を利用する案も出されました。

共済保険だと傷害、疾病に限らず慶弔費にも対 応ができます。導入について今後の検討課題とし ました。

静岡県放射線技師会に7月に実施される参議院 選挙に出馬する自民党・自見はなこ氏の推薦依頼 がきています。畦元議員、技師連盟からの推薦も あります。本来、理事会承認で推薦を決めなけれ ばいけませんが、期日が迫っていたため常任理事 会で承認を採り推薦状を送付しました。

Ⅱ. 副会長報告

東部 深澤副会長

令和4年度、原子力緊急時災害対策研修会は令和4年11月19日(土)、浜岡原発を予約しました。

内容は令和3年度開催と同様な形で提案し新役 員で協議してもらいます。オフサイトセンターの 利用は休日の対応が不可能な事から断念しました。

令和4年2月26日(土)第6回ワークライフバランス検討委員会勉強会がWEBで開催されました。参加者54名。県内会員34名、県外会員9名、非会員11名でした。

令和4年7月23日(土)・24日(日)の告示研修の会場について曽我委員長より富士宮市立病院の使用を打診されました。病院管理者と協議し会場利用について了解しました。

原子力安全管理対策課より、静岡県地域防災計画原子力災害編の原案が送付されました。意見、修正等あれば5月13日までに返信する事になっています。内容を精査し常任理事会で報告後、原子力安全管理対策課に返信する予定です。

中部 畑副会長

令和4年3月6日、事務所が入居するマンション運営管理臨時総会が開催されました。委任状を 提出しました。

議題はマンションの管理組合が加入している保 険についてです。

本日、定時総会が開催されています。理事会と 同時刻で開催のため、委任状を提出しています。

西部 高橋副会長

報告事項はありません。

Ⅲ. 常任理事報告

総務 後藤理事

医療機器メーカー等に令和4年度賛助会員会費 請求依頼をしました。

令和3年度と同数の23社。ジャーナル広告も13 社からきています。

5月連休明けに会費納入の請求を予定していま

企業の再編等で今までの社名、住所の変更があります。

事務局よりお願いがあります。

事務局あての会務メールで、返信が必要か否か 条に基づき本理事会での採決をお願いします。 を伝えて欲しいそうです。

よろしくお願いします。

新理事候補の皆様へのお願いです。

勤務先等変更があった場合、総務あてに変更の 連絡をお願いします。

神谷理事

返信メールについてですが、事務局メールアド レスの変更があり、事務局あてのメールが届いて いないのではないかという思いがあり、事務局あ てのメールについて返信をお願いしました。

深澤副会長

案内文の発送等を依頼した際、発送しましたと いう報告があるとありがたいです。

畑副会長

返信が必要ないのであれば返信不要の一文を入 れればいいですね。

総務庶務 森田理事

報告事項はありません。

庶務一般 堀理事

昨年度、静岡県から委託されていた令和3年度 胃がん検診エックス線撮影従事者講習会事業は、 収支決算書・実績報告書等を提出し契約を終了い たしました。

令和3年度の業者依頼の講演は認定されました が、本年度は認定されない可能性があります。で きるだけ業者講演は避けて企画していただきたい と思います。

県に申請を出す際、業者講演でも認定されるの か確認します。認定の可否報告は計画を立案する 前に各地区担当役員へ報告します。

続いて会員動静です。

新入会16名、転入4名について定款第3章第6

山本会長

新入会員16名、転入4名について承認の採決を とります。

反対: 0 保留: 0 賛成:16

(全会一致承認)

庶務会員管理 鈴木理事

日放技より除籍者(年会費2年未納者)1名の 通知が届きました。

東部 0名、中部 0名、西部 1名です。

会員数及び、2021年度会費納入状況です。

会費は2月納入分までで、会員数は県のみ会員 を含めて、972名となります。

1年未納者29名、2年未納者1名、全体の納入 率は、97.0%です。

日放技会員管理システムを検索し2022/04/22現 在の2021年度会費未納者を調べました。

全体で22名、東部8名、中部3名、西部11名で す。

納入率は全体で97.8%、東部97.1%、中部99.0%、 西部97.3%、県外100%です。

庶務会員管理からの報告は以上です。

山本会長

大変高い納入実績となっています。鈴木理事、 各地区組織理事をはじめ役員から各施設等への声 掛けの成果だと思います。

会計 大杉理事

後ほど2021年度決算報告があります。よろしく お願いします。

編集 遠藤理事

経過報告です。

3/25(金) ジャーナルVol.31 No.3 2022 (通巻 213号)を1075部発行完了しました。

次に総会資料についてです。

総会ハガキは4/22(金) に990部、納品されま した。

議案集は本日の第1回理事会、監事報告の原稿をもってすべて集まります。印刷会社より校正後の議案集が届いています。確認が必要な理事は原稿をお渡ししますのでご一報ください。修正や変更等がありましたら、本日中にご連絡ください。

4/25(月)より印刷・製本作業に入ります。

総会資料 (議案集、総会ハガキ、プライバシー保護シール) の発送作業を5/2(月) に行う予定です。5月の $1\sim2$ 週目に各会員の手元に届きますので、5/20(金) までにハガキの投函をお願いいたします。今回も前回同様ハガキによる書面表決になります。

各職場で早めの投函をお伝えいただきますよう お願い申し上げます。

次に、ジャーナルVol.32 No.1 2022 (通巻214号) の発送に向けた今後の予定です。

6/21(火) 原稿締め切り

6/28(火) 編集委員会(初校)

7/12(火) 編集委員会(2校)

7/29(金) 発行(発送作業)学術大会抄録集 も併せて発行します。

ジャーナルVol.32 No.1 (通巻214号) の目次予 定です。

原稿寄稿を随時お願いしていきますので、期日 までに原稿の作成をよろしくお願いします。

会告は8月から11月末までに開催されるものに ついて掲載が必要です。

新型コロナウイルス感染症の影響で開催日や内容が未定の場合、ジャーナルには会告は掲載いたしません。ご承知おきください。

締め切りまでに原稿が間に合わない場合は詳細 が決まり次第ホームページへ掲載をお願いします。

次号ジャーナルに新役員挨拶の原稿と共に顔写 真を掲載します。5月29日の総会・学術大会の時 に撮影をさせていただきますのでご承知おきくだ さい。前回より歴任される方で、写真が従来と同じでかまわないようでしたら、写真撮影は不要です。部会長や委員長など直接撮影できない方も何名かいると思います。こちらの方々には会務メールで顔写真を送ってもらうようにメールをします。

広報 佐野理事

広報からの報告事項です。

第26回学術大会公開講演会の後援申請について、 4/6 に静岡新聞社・静岡放送から許可取得。

静岡県は4月20日決裁処理中でしたが、4月23日連絡があり決裁がおりました。チラシをプリントパックへ依頼します。5月2日、総会資料発送 迄には事務所に届くよう手配します。

続いて情報管理委員会から報告です。

4月1日、Zoom Webinarを契約しました。最大参加収容人数500名、6月8日(水)まで利用可能です。

4月11日、学術大会・総会会場の下見に参加しました。

5月15日、学術大会・総会リハーサルに参加予 定です。

現在、学術大会と総会のWebinar設定中。リハーサル用のテスト学術大会、テスト総会は作成済です。理事の方々でテストの事前登録を行って頂き、事前動作テスト確認をお願いします。

事前登録項目で追加・修正箇所が御座いました ら、4月27日(水)までに広報担当理事の佐野に ご連絡下さい。

5月15日(日)、学術・総会リハーサルのWebinar も大会同様に作成予定です。

チラシには、ホームページの会告・WEB セミナーの「事前登録のお知らせ」から案内します。 事前登録期間は 4月29日~5月28日。

4月29日にホームページへ会告・WEBセミナーへ「事前登録用のお知らせ」を掲載します。

今回の学術大会・総会はハイブリッド開催という事で、ワイヤレスマイク「PHENYX PRO

PTU-5000」を購入し、本日事務所に持参しました。その他にLAN配線ケーブル30mとスイッチングハブ8ポートを購入済。

音響コード 5 m、 ϕ 6.3mm、C端子Pマルチポートアダプター(HDMI、USB、LAN、充電用C端子)等を購入予定です。

他にも必要な機材等あればご連絡ください。

次に、Web研修会会費徴収方法経過報告です。

各決済システムとの契約を申請中です。クレジットカード払いに関しては順調に進捗している 模様。銀行振込に関しても問題ありません。

QR決済ですが、実店舗を持たない販売になる ため利用できないサービスが出てきそうです。現 在業者に確認中です。

運用が確実な方法としてクレジットカード、銀行振込、PayPayの個人間送金を利用した決済ならば6月から運用開始できると思います。

今後、QR、クレジットについては決済の承認 が下り次第お知らせいたします。

再確認ですが、クレジットカード決済はVISA、Mastercard、JCB、AMEX、Dinersが、個々にクレジット審査中。審査が通ったカードが使用可能となります。

銀行口座は郵貯銀行、楽天銀行(ネット銀行) が使用可能となっています。

QR決済はPayPay以外に、加盟店手続きを申請中。

会費徴収システム運用はクレジット、銀行振込、QR決済と運用の流れが異なる場合もあるため、現在、アシストデザインと協議中です。

学術大会・総会のテスト用QRコードを作成しました。読み込んでいただくとそのまま登録へと 案内されます。

実際に読み込んで確認していただき不具合等無ければ本番用に修正し4月29日ホームページに掲載します。

Ⅳ. 地区選出理事

東部組織理事 廣澤理事

報告になります。

2月14日から3月5日に第60回東部地区会通常 総会をハガキによる議事決議を実施しました。

会員数271名に対して議決権行使状の返信が203 通。議案1から3までのすべての議案に対して承 認されました。

3月18日、東部地区会の幹事病院交代に伴う引き継ぎを実施しました。

今後の予定です。5月中旬に東部地区会第1回 幹事会をメール会議で。6月上旬に地区会たより 発行発送。8月中旬に第2回幹事会。9月上旬に 地区会たよりvol.2を発行発送と聞いております。

中部組織理事 宿島理事

中部地区の活動報告です。

3月4日(金) 第4回幹事会を島田市立総合医療センターで集合して行いました。

任期中で集まれたのは最初と最後の2回でした。 総会の書面決議を行いました。全ての議案につい て、中部地区会会員350名中、206名の承認が得ら れました。

3月5日(土) WEB配信にて令和3年度第2回 胃がん検診エックス線撮影従事者講習会及び放射 線セミナーを開催しました。

参加者42名。会員38名、非会員4名でした。

4月8日(金) 次年度役員申し送りならびに令和4年度第1回幹事会に参加しました。

西部組織理事 小林理事

西部地区会活動報告です。

第3回西部地区会勉強会、令和4年3月5日 (土) 14時から16時40分、アクトシティコングレスセンターをお借りして、Zoom Webinarを使用 しWEB開催しました。

参加者は148名。WEB参加143名、会場5名。 会員92名、非会員56名でした。 第44回西部地区総会を令和4年3月5日(土) 16時50分から17時30分で開催。アクトシティコン グレスセンターにおいて会長、副会長、庶務、会 計、監事、ブロック幹事5名による臨時幹事会を 開催し、ハガキによる採決を実施しました。

その後、新旧役員引き継ぎを行いました。

会報誌、西部TIPSvol.93を令和4年3月に発行。 会員に配布しました。技師会ホームページにも アップしてあります。是非ご覧ください。

今後の予定です。第1回幹事会を令和4年4月 28日(木) 18時30分から浜松医科大学医学部附属 病院で開催します。

V. 常設委員会理事報告

学術 神谷理事

学術大会に向け、プログラム、予稿集、パンフ レットを作成しました。

公開講演講師五月女先生は当日浜松まで来てい ただけることを確認しました。

学術大会演者に発表時の注意事項等を伝えると 共に、事前に発表ファイルを提出していただくよ う依頼しました。

最後に演者、共同発表者全員が技師会に加入している事を確認しました。

企画調查 廣瀬理事

3月19日(土)、令和3年度静岡県放射線技師研修会を開催しました。大きなトラブルなく終了しています。同日、新旧役員の引き継ぎをしました。

VI. 監事(監査報告以外)事務職員 栗田監事

報告事項はありません。 後ほど監査報告があります

Ⅵ. 和田顧問

今総会で退任されます役員の皆様、コロナ感染 症の蔓延に伴い、公益事業の運営に多大な影響が 生じるなど、そのご苦労に対し感謝申し上げます。

新たに役員として任命されます皆様には定款で 謳っております診療放射線技術の向上発展を図り もって県民の健康維持増進に寄与されますことを 希望したします。

(3)協議事項

1. 令和3年度事業報告及び同附属明細書報告承 認の件

令和3年度事業報告(案) 総 括

公益社団法人 静岡県放射線技師会

今年度も、昨年と同様に新型コロナウイルス感染症に翻弄された一年となりました。第五波では医療崩壊状態に陥る危機になりましたが何とか踏ん張ることが出来ました。そのような状況の中、東京オリンピック・パラリンピックが開催され国民の中には不安視する声もありましたが、開催されると大きな感動や勇気を与えてくれました。これがコロナウイルスと共存することなのかと感じさせてもらいました。国民のワクチン接種の2回目も進み一時は感染者数も激減し、一段落したかにみえましたが、年明けにはオミクロン株で再び感染拡大がおこり、感染対象者が高齢者層から若年層に移行していきました。会員の皆様におかれましては、ご自身の健康にも留意しながらの業務は厳しかったと存じます。

また、10月には衆議院選挙が行われ、診療放射線技師として畦元議員が再選を果たし、日本診療放射線技師会の上田会長が岸田総理と懇談をするという本会にとってこれまでにない貴重な機会を得ることができました。

7月9日医政局発0709号第7号「臨床検査技師等に関する法律の一部を改正する政令等の交付について」が厚生労働省医政局長より発出され、診療放射線技師の業務範囲の見直しが行われたこと

に伴い、追加された新しい業務を行う場合は、あらかじめ厚生労働大臣が指定する研修の受講が義務付けられました。この研修は、基礎研修(e-ラーニング)と実技研修(会場型)からなり、実技研修を受講するためには、基礎研修の終了が条件となっています。基礎研修は8月から受講が出来るようになり多くの会員がすでに完了しています。実技研修は、ファシリテータ養成講習を行い10月から各県で開催予定でしたが、コロナウイルスの影響で一か月遅れてしまいました。本県は、2月に開催を予定していましたが、残念ながらオミクロン株の拡大のため中止しました。

さて、静岡県放射線技師会においては、部会・委員会の役員が昨年からのオンライン開催になれてきて、研修会・セミナーも以前と同じ回数を開催することができ、参加人数も県外から多くの参加がみられるようになり、盛況なセミナーが開催されました。これもオンラインならではのメリットではないでしょうか。新春公開講演会では、ハイブリット開催を施行し、多少問題点もありましたが100名を超える参加をいただきました。

今後は、この問題点を改善して効果的にハイブ リット開催を行っていくことがウィズコロナ時代 にふさわしい学び方になると感じます。

社会活動としては、各地域でのふれあい広場は中止となりましたが、西部地区では今までと様式を変えて催し物が開催され、展示ブースを作り参加しました。また、西部地区会では初めて高校生への出張授業を行い、今後JARTが環境省とタイアップして計画している「国民への正しい放射線の知識を国民に広める」事業の一助になるものと思います。

静岡県放射線技師会は診療放射線技師の職業倫理を高揚するとともに、チーム医療の一員としての自覚と安全で質の高い医療の実践、そして高度な医療技術の提供を行い専門職としてのスキルアップを図り、県民の健康保持増進の貢献に努めてまいりました。

主な事業内容として公1.

セミナー等による診療放射線技術の向上発展のための研修事業

(1)講演・学術大会

・(公社) 静岡県放射線技師会 第25回静岡県放射線技師学術大会 (令和3年5月30日 於 WEB形式) 参加人数160名(会員152名、非会員8名) 大会テーマ

「県民の未来を支える医療技術」 学術大会 一般研究発表13題

【公開講演】

『日本診療放射線技師会の今後と診療放射線技師 の未来』

講師 公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長 上田 克彦 先生

・第37回日本診療放射線技師学術大会 (令和3年11月12日~14日 於 ハイブリット開催) 参加人数1,395名(会員1,334名、非会員32名、 学生29名、WEB44,300名)

大会テーマ

「国民と共にチーム医療を推進しよう」 〜技術の多様性と人の調和〜

 第13回中部放射線医療技術学術大会 (令和3年11月20日~26日 於石川県 WEB開催) 参加人数433名(会員402名、非会員14名、学生 17名、WEB2,586名)

大会テーマ

「見つけよう新時代に向けたベストプラク ティス」

·第62回東海四県放射線技師学術大会 (令和4年2月6日 於三重県 WEB開催) 参加人数152名

大会テーマ

「循環器領域の疾患に画像診断で迫る」

(2) 研修・講習会

・業務拡大による告示研修

「令和3年厚生労働省告示研修第273号研修」 会員·非会員対象

中日本地域ファシリテータ養成講座

(令和3年10月9、10日 於福井県)

参加人数49名(県内7名)

告示研修 (実技研修)

(令和4年2月12、13日 於 県立総合病院)

※コロナウイルス感染拡大防止のため中止

· 日本診療放射線技師会

放射線機器管理士分科会地域研修

(令和3年12月26日 於 アクトシティ浜松)

参加人数28名(会員のみ)

「医療機器管理における法令と更新手続き|

純真学園大学

中村 泰彦 会員

「MR装置における機器管理と実践」

琉球大学病院

青山 信和 会員

「CT装置における機器管理と実践」

管理士部会

小川 正人 会員

「X線撮影装置における機器管理と実践」

九州大学病院

加藤 豊幸 会員

· 令和 3 年度放射線技師研修会

(令和4年3月19日 WEB開催)

参加人数:30名(会員27名 非会員3名)

【特別講演】

「静岡県放射線技師会の現在とタスクシフトから 見る未来像

講師 静岡県放射線技師会

会長 山本 英雄 会員

【メーカー講演】

「画像診断装置の稼働データ統合と利活用~生産 性の向上と働き方改革を見据えて

講師 GEヘルスケアジャパン 秋山 謙作 氏 「医療デジタル化によるワークフローの改善および 人工知能技術を用いた画像診断・治療計画支援」

講師 シーメンスヘルスケア (株)

「LEANを活用した業務改革とヘルスコンティニ ウムの実現に向けて」

講師 (株) フィリップス・ジャパン

北原 雄高 氏

・第11回フレッシャーズセミナー(新人教育セミ +-)

(令和3年7月4日 於 アルフレッサ静岡支店 ハイブリット開催)参加人数26名

デジタルマンモグラフィ講習会

令和3年度 静岡県マンモグラフィ技術研修会 (令和4年2月11日 WEB開催)

参加人数152名(診療放射線技師:124名、医 師:24名、臨床検査技師4名)

「症例検討会」

聖隷三方原病院・島田市立総合医療セン ター・磐田市立総合病院

「県内の再撮影率と傾向、改善対策について」

聖隷予防検診センター 齊藤 忍 会員 静岡県立総合病院 早坂みさを 会員 浜松労災病院 内田 千絵 会員

「再撮影の被ばくについて」

静岡がんセンター 伊東 孝宏 会員 ・放射線セミナー胃がん検診従事者講習会 東部地区

(令和3年11月6日 WEB)

参加人数51名(会員45名、非会員6名) (令和4年1月23日 WEB)

参加人数56名(会員49名、非会員7名) 中部地区

(令和3年10月2日 WEB)

参加人数35名(会員30名、非会員5名) (令和4年3月5日 WEB)

参加人数42名(会員38名、非会員4名) 西部地区

(令和3年9月18日 WEB)

参加人数137名(会員80名、非会員57名) (令和3年12月18日 WEB)

岩田 和浩 氏 参加人数91名(会員65名、非会員26名)

(令和4年3月5日 WEB)

参加人数148名(会員92名、非会員56名)

・第5回ワークライフバランス検討委員会

(令和3年7月31日 WEB開催)

参加人数30名(会員25名、非会員5名)

「理学療法士が教える正しい知識で無理なく安 全にトランスファー」

浜松市リハビリテーション病院

理学療法士 河上 智 氏、安井 萌 氏

・ 第6回ワークライフバランス検討委員会

(令和 4 年 2 月 26日 WEB開催)

参加人数54名(会員43名、非会員11名)

「診療放射線技師のキャリアをデザインしよう」

聖隷浜松病院 小林 秀行 会員

「教えて!あなたの働き方|

家庭に軸を置いた働き方に変更した人

沖健康クリニック 高山 正子 会員 働きながら大学院に行っていた人

富士市立中央病院 猪俣 崇亨 会員 技師からメーカーへの転職した人

GEヘルスケアジャパン 盛 史範 会員 専門性を高め、追及している人

静岡がんセンター 伊東 宏明 会員 情報ネットワークの知識で他職種へ転身した人 静岡県立総合病院 法橋 一生 会員

(3) 専門部会の活動

管理士部会 (令和3年6月26日)

参加人数62名 (会員58名、非会員1名、県外3名) (令和4年1月22日)

参加人数62名(会員52名、非会員6名、県外4名)

乳腺画像部会(令和3年11月20日)

参加人数54名(会員35名、非会員12名、県外7名) (令和4年2月11日)

参加人数95名(会員48名、非会員21名、県外26名)

アンギオ部会(令和3年4月10日)

参加人数50名(会員35名、非会員8名、県外7名) (令和3年10月30日) 参加人数39名(会員30名、非会員4名、県外5名)

MRI部会 (令和3年12月8日)

参加人数323名(会員240名、非会員79名、賛助 会員4名)

(令和4年3月12日)

参加人数377名(会員243名、非会員129名、賛助会員5名)

超音波部会 (令和3年6月12日)

参加人数50名(会員26名、非会員24名)

(4) 出版物等による情報提供

静岡県放射線技師会誌

「しずおかジャーナル」3回発行

静岡県放射線技師学術大会抄録集 1回発行 静岡県放射線技師会定時総会議案集及び学術大会 プログラム 1回発行

ホームページによるセミナーや研修会の情報公開

公2.

体験活動、講演、相談等の事業による放射線検査 に関する知識の普及啓発事業

- ・第42回静岡ふれあい広場 (令和3年9月 於 静岡市青葉シンボルロード) ※コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ・メディメッセージ2021 (令和3年11月28日~29日 キラメッセ沼津) ※コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ・西部地区ふれあい広場 (令和3年10月24日浜松市可美公園総合センター) 可美公園秋の体験プログラム2021への参加 診療放射線技師のお仕事紹介、コロナ禍で頑張 る診療放射線技師、応援メッセージ等 参加者約100名 応援メッセージ寄稿2名
- ・社会活動「出張授業」 聖隷クリストファー高校(令和3年7月27日) 参加人数28名(学生27名、教員1名) 講義「診療放射線技師の仕事」

実演「ワークステーションをさわってみよう」

聖隷浜松病院 小林 秀行 会員

· 令和 3 年 新春公開講演会

(令和4年1月15日 ハイブリット開催)

参加者:会場 26名(会員23名、賛助会員3名) WEB 163名(会員48名、県外10名、一般105名)

【公開講演】

『乳がん検診の現在 無痛乳がんMRI検診とは』 講師 東海大学 工学部医用生体工学科

教授 高原 太郎 先生

【教育講演】

『診療放射線技師免許アップデート~現状と未来~』 講師 日本診療放射線技師会

副会長 児玉 直樹 会員

· 秋季公開講演会

レントゲン週間事業

(令和3年11月3日 WEB開催)

参加人数49名(会員28名、非会員6名、一般14 名、講師医師1名)

【公開講演】

「前立腺がんの健診から診断・治療まで」 講師 国際医療福祉大学熱海病院

副院長 石井淳一郎 先生

【会員演題】

「胃がん検診について」

聖隷沼津病院健診センター

い合わせ相談 件数:1件

山崎 洋和 会員

「肺がん検診について」

聖隷健康サポートセンターShizuoka

上原 晋 会員

「乳がんについて」

中東遠総合医療センター 竹山 有希 会員 ・ホームページやFAXによる放射線に関する問

相談内容:放射線検査による被ばくの不安につ いて

公3.

研修、訓練等による放射線管理及び安全推進事業

· 令和 3 度原子力災害時緊急対策研修会 (令和3年10月30日於 浜岡原子力発電所) 参加者:会場31名WEB 20名(会員48名、一般 3名)

「GM管取り扱いとスクリーニング」

講義と実習 管理士部会 勝浦・千葉 「浜岡原子力発電所の概要と安全性向上対策」 浜岡原発総括広報グループ 生田 康平 氏 「施設見学」

- · 静岡県原子力防災訓練 (令和4年1月28日9時~11時 於 浜名湖SA) ※コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- · 静岡県原子力防災情報伝達訓練 (令和4年1月28日) 訓練開始11時 対象49施設 県原子力防災訓練に合わせて東部・中部・西部 地区基幹病院の会員へ机上伝達訓練実施
- ・第15回医療安全セミナー (令和3年12月11日 於 WEB開催) 参加人数39名(会員28名、他県6名、一般5名) 【講演】

「医療の質・安全性の向上と働き方改革を推進す る統合診療支援プラットフォームについて

講師 富士フイルムメディカル (株)

岩井 聰明 先生

【会員発表】

「各施設における画像診断レポート未読影対策の 現状

島田市立総合医療センター 宿島 久志 会員 国際医療福祉大学熱海病院 杉村 俊樹 会員 聖隷三方原病院 仁 会員 中野

会員に対する相互扶助事業

· 表彰事業

永年勤続35年表彰者:11名、 永年勤続20年表彰者:13名 (令和3年5月30日総会時)

・(公社) 静岡県放射線技師会第29回アール祭お よび叙勲祝賀会

※コロナウイルス感染拡大防止のため中止 その他事業

·(公社) 静岡県放射線技師会第10回定時総会 (令和3年5月30日 於技師会事務所)

※コロナウイルス感染拡大防止のため、理事立 ち会いのもと書面決議とした

表決状646名(会員数940名)

·(公社)日本診療放射線技師会第83回定時総会 (令和3年6月5日於WEB開催)

本県代議員出席者:6名

これに庶務一般から提出される詳細な資料が加わり、令和3年度事業報告となります。

質問等無ければ、承認を採ります。

山本会長

それでは令和3年度事業報告(案)について承認をとります。

反対: 0 保留: 0 賛成:16

(全会一致承認)

承認されましたので、(案)を外して議案集へ 掲載します。

2. 令和3年度監査報告承認の件 栗田監事

令和3年度監査報告です。

令和3年4月1日から令和4年3月31日までの年度における会長提出の事業報告書、及び経理規程第44条第1項の会計理事提出の財務諸表を、公益社団法人静岡県放射線技師会定款第44条第3項に基づき令和4年4月23日に監査を実施いたしました。その結果、適正に処理されていることを確認しましたのでご報告いたします。

監査意見として、貸借対照表及び正味財産増減 計算書は、定款に従い会の財産及び損益の状況を 正しく示しているものと認めます。事業については、厳しい財政での事業であり会員一人一人のいっそうの努力で身のある事業になることを望みます。

役員の職務遂行に関する不正の行為または定款 に違反する事業は認められません。

会費納入については、事業を円滑に遂行するため年度当初の納入を切に望みます。また、遅くとも会費納入期限9月30日の完納を望みます。

事業費に占める公益事業比率は71.3%でした。 今後も公益比率の維持を望みます。

山本会長

質問等ありますか。

無いようなので、承認をとります。

反対: 0 保留: 0 賛成: 16

(全会一致承認)

3. 令和3年度計算書類等一式承認の件 大杉理事

令和3年度会計報告です。

貸借対照表になります。

当年度の現金預金は、3月31日時点で 5.702.252円。

特定資産として、記念講演積立金(周年記念事業費)を400,000円追加し800,000円となっています。

資産整備積立金は0円となります。

事務所営繕取得準備資金は、324,563円増加し 7.108.563円です。

その他固定資産は、建物の減価償却により 193,276円減少しています。什器備品は資産準備 資金よりPC、マイクスピーカー、GMサーベイ メータを購入したため、558,150円増加しています。 以上より、当年度資産合計は31,680,576円と

続きまして、正味財産増減計算書です。

経常収益です。正会員受取会費は増加していま

なっています。

すが、賛助会員受取会費が企業の合併等あり130,000円減少しています。

受託収益の増加はデジタルマンモグラフィー講習会の収入により268.120円増加しています。

雑収益は部会の返金が少なかったためなかった ため124,974円減少しています。

乳腺部会から本年度19,306円返金がありました。 こちらは事業費の旅費交通費に入っています。

広告掲載収益は令和2年度に無かった抄録集の 広告収入で270,000円増加しています。

次に経常費用です。

事業費-会議費の増加は各委員会等の会議費が 増加したため267.529円増加。

事業費-旅費交通費の増加は各委員会等の旅費 交通費が増加したため457.834円増加。

管理費-消耗品費の減少はHP管理運営作業費がなかったため431,620円減少していますが、毎年支払っているものなので来年度への持ち越しとなります。

管理費-委託費の減少は役員変更登記がなかったため107,014円減少しています。

当期経常増減額ですが、こちらは経常収益から 経常費用を差し引いて1.865.257円となります。

次に正味財産増減計算書内訳表です。

公益目的事業会計の経常収益計は4,611,038円。 経常費用計は5,927,173円です。公益目的事業会計 の経常増減額はマイナス1,316,135円となります。

公益目的事業比率は、総費用(経常費用計の総合計)8,864,276円、公益目的事業会計の経常費用計5,927,173円。それと記念講演積立金400,000円で計算すると71.3%で50%以上を満たしています。(5927173+400000) ÷8864276=0.713 → 71.3%

財務諸表に関する注記会計方針、基本財産及び 特定資産、固定資産、補助金等の内訳を記載して います。

財産目録は貸付対照表の資産詳細です。

付属明細書ですが、特定資産の明細となります。 記念講演積立金を本年度も400,000円追加しまし た。合計800,000円。こちらはは令和4年度に周 年事業費として使用予定です。

資産設備積立金は本年度、WEB用パソコン 108,350円、ミーティングオウル126,830円、GM サーベイメータ384.615円を購入しました。

収支計算書になりますが、こちらは予算額と決 算額の比較となります。

新型コロナの影響により対面式の活動が縮小されており、事業活動収入は272,967円。事業活動 支出は2,180,863円の差異が出ています。

収支計算書に関する注記の次期繰越収支差額は 5.690.586円になります。

当年度も新型コロナの影響により、対面形式の 事業が少なく以前に比べ支出が少なくなっていま す。公益事業比率50%以上、収支相償は確保され ていますが、流動資産合計が5,690,586円、公益目 的事業費が本年度5,927,173円と流動資産が公益目 的事業費に近づいている。来年度は告示研修と周 年事業も予定しており超えることはないと思われ るが、何かしらの対策を考えていきたいと思いま す。

会長

質問等無ければ採決を採ります。

反対: 0 保留: 0 替成: 16

(全会一致承認)

山本会長

次に、第2号議案令和4・5年度理事及び監事 候補者という事で選挙管理委員 大倉委員長お願 いします。

大倉選挙管理委員長

5月の理事選挙、公示(案)を提示させていただきます。

名前、勤務先等間違いが無いかご確認いただき、 修正が無ければホームページへの掲載をお願いし ます。

公示 (案)

定款第18条第3項の規定により、下記の令和4, 5年度理事及び監事候補者の承認決議を第11回公 益社団法人静岡県放射線技師会定時総会にて行い ます。

議案の表決はハガキでのみ行いますので期限までに必ず投函していただきますようお願いいたします。

また、不信任の候補者につきましては、対象者 の氏名の記載をお願いいたします。

以前、会長より名前の間違えをご指摘いただき 修正しています。

他間違い等無いでしょうか。

承認決議日は令和4年5月29日(日)。会場は郵便番号430-0927 静岡県浜松市中区旭町11-1プレスタワー17階静岡新聞ホールです。

小林理事

4月から所属施設が変わりました。

大倉選挙管理委員長

所属施設の変更について、私の責任で修正させていただき、承認をお願いいたします。

山本会長

選挙管理委員会からの公示 (案) について承認の決をとります。

反対: 0 保留: 0 賛成: 16

(全会一致承認)

公示(案)について承認されました。(案)を 外してホームページに掲載します。

大倉選挙管理委員長

承認ありがとうございます。

先ほど小林理事より報告のありました所属施設 の変更については私の責任で修正し掲載を依頼し ます。

掲載の担当は広報・佐野理事でよろしいですか。 理事会終了後、修正し公示データを送付します。 4月25日掲載に向けてご対応の程よろしくお願い します。

候補者推薦届、候補者18名の内17名分は頂いているのですが、会長用候補者推薦届、理事会推薦 理事候補届が提出されていません。

山本会長

事務局で保管されていると思います。

大倉選挙管理委員長

帰りにお預かりします。

5月29日(日) に開催予定の臨時理事会で新会 長用の当選証書をお渡しします。証書の準備をお 願いするように前任委員長より聞いております。 担当理事ご協力お願いいたします。

選挙管理委員からは以上です。

山本会長

次は総会と学術大会の運営について担当理事の 皆様お願いします。

後藤理事

5月29日(日) 第11回定時総会の運営について です。

会場浜松市中区プレスタワー17階 静岡新聞ホールです。

開場が9時なので、参加役員は9時集合となり ます。

事前打ち合わせを行います。採決ハガキの枚数 は事前に事務局で確認をしておきます。

9時30分定時総会開始。本年度は表彰がありま

す。2019年度CCRT学術奨励賞表彰。続いて永年 勤続表彰。理事・監事退任の感謝状および功労賞 授与があります。

山本会長報告、栗田監事より監査報告、議事を 進めていきます。1号議案、2号議案それぞれハ ガキでの決済を報告し議事を終了。定時総会終了 となります。

会場内のレイアウト等小林理事お願いします。

小林理事

会場ですが、4月11日会場であるプレスタワー に髙橋副会長、佐野理事、神谷理事、私で下見に 行ってまいりました。

静岡新聞ホールは17階にあり、エレベーターが 3基あります。それを利用して会場まで来ていた だきます。

総会時の机・椅子等の配置はホールのスタッフで配置します。

学術大会はレイアウトが若干変わります。会場 にいる役員で椅子・机等の移動をお願いします。

プレスタワー17階でエレベーターを降りるとロ ビーがあるのでそこに机を配置して受付とします。 プレスタワーに消毒液が配置してあり、利用可

能という事なので使用させていただきます。

会場は定員170名となっています。当日はその 半分の約80名入場可能としました。

ホールに装飾用の花が配置されていました。利 用可能という事で大会当日に使用します。

プロジェクターは位置が決まっているそうなので、そのまま利用する配置にします。

つづいて音響設備です。

今回の一番の懸案事項でした。音響設備の利用 方法を検討した結果、スピーカーを会場の物だけ を使用します。

マイク、ミキサーを使用しての音声の振り分けは技師会で用意したものを使用します。接続も確認しました。

ケーブル端子の接続も確認し、合うものを用意

しました。

会場担当者とも相談しましたが、利用するほとんどの団体が音響設備はスピーカーのみ会場の物を使用するという事でした。会場のマイク等を利用する事も可能ではあるが、準備等が煩雑になってしまうという事でした。

WEB配信用のホストPCは音響装置の近いところに設置します。

LAN設備ですが、会場にはLAN設備があります。無線LANも利用できますが、会場内にルーターが1基のみです。ホストPCは有線で接続しますが、参加者が接続してしまうと全てが1基のルーターに集中してしまい、配信に影響が出てしまう事から参加者の接続は全て禁止させていただきます。会場内のパスワードは隠します。

次に控室等で使用する15階21世紀倶楽部の会場 です。講師控室、臨時理事会の会場として使用し ます。

講師控室として11時から14時まで予約してあります。

臨時理事会会場も11時から14時まで予約しました。こちらの会場は飲食可能となっています。音響設備ですが、会場の天井が低いのでマイクを使用しなくても大丈夫だと思います。こちらの会場はインターネット環境がありません。大会のサテライト会場として利用する事も考え環境を整える事も検討しましたが、コスト、準備の手間を考慮し準備する必要はないと判断しました。後ほど意見をお聞かせください。

垂れ幕ですが、ランチョンセミナー、市民公開 講座については縦の物を用意します。総会・学術 大会の看板ですが設置スペースは問題ないと思い ます。

後藤理事

看板の準備はプレスタワーに費用の問い合わせ をしてからになります。確認が取れ次第報告しま す。

レントゲン博士像は総会時、演台の上。学術大 会の時は片付けます。

会場の案内係は、来場者を限定しています。1 階にも案内表示がされます。特に必要ないと思い ます。

受付は事前登録制で会費の徴収もありません。 会員登録の準備だけでスムーズな対応ができると 思います。

ランチョンセミナーの食事配布場所ですが、ロビーの受付向かい側に机等を準備しておけば対応できると思います。

会場の下見、準備についての報告は以上です。

神谷理事

本日の報告とプログラムの修正が無いという事 であれば講師、演者の皆様に案内を送らせていた だき、演顕発表の準備を進めていきます。

あとは演者と関係者1名の入場という事を強調 して演者とのコミュニケーションをとっていきた いと思います。

当日は集合してから準備する時間が十分に確保 できないという事ですが、前日に会場準備ができ るので大丈夫だと思います。

後藤理事

佐野理事、会場の準備、LANの配置などどうでしょうか。 困難な事があるかどうかですが。

新春公開講演の時のようなセッティングをした いと思っています。

新しいマイクとミキサーを使用する事で新春公 開講演の時のような音響トラブルが起きないと聞 いています。

トラブルを起こさない気持ちで臨みます。

準備は28日18時から会場を使用できる予定となっています。リハーサルの状況をみながら集合時間を決めていきたいと思います。

5月15日に予定しているリハーサルの時間、参

加者等を小林理事と相談して報告します。

神谷理事

WEB配信ですが、今回のセッティングでは WEBからの音声も会場のスピーカーから流れる ようになります。その状況を想定するか確認が必 要かと思います。想定しないのであれば音声を接 続する必要がありません。

リハーサルの時に入っていただき、外からの音 声も頂ければ確認もできると思います。よろしく お願いします。

佐野理事

リハーサル用のZoom Webinarを近日中に設定します。設定が完了次第メールにて配信します。

理事の皆様、事前登録をお願いします。また、 事前登録の内容も確認をお願いします。

小林理事

リハーサルは5月15日(日)16時から2時間を 予定しています。

1時間ほどでセッティングができると思います。 17時くらいに配信が開始できると思います。

髙橋副会長

17時くらいからの配信を予定しているという事でよろしいですか。

小林理事

何名くらい参加できますか。

髙橋副会長

できる限り入れる方は入っていただきたいですね。

佐野理事

広報・情報委員会は新旧理事が会場で参加しま す。

先日の下見に参加した理事と新理事に会場に来ていただき、そのほかの理事はWEBで入っていただきたいと思います。

総会・学術大会の組織図になりますが、先日 メールにて配信したものから一部変更があります。

前回は議長に現理事が入っていると会長よりご 指摘があり、修正しました。東部地区から廣澤組 織理事が入っていましたが、静岡県立がんセン ターの伊藤孝宏会員に承諾いただけましたので変 更しました。

中部地区から中村英明会員ですが、新理事候補はどうですか。

山本会長

2 号議案に名前が入っている会員が議長になる のは問題があります。

小林理事

組織図の役割について、入場制限の定数もあり 新役員で役割を入れていかなければと思い中村会 員を議長に入れました。

山本会長

本来は定款にあるように役員でない会員を会場から議長に選出する事になっています。

伊藤会員は議長選出に問題ありませんが、新理 事の選出は問題があります。

宿島理事

この2年はコロナ禍で参加人数を最小限にする 事で総会を運営してきました。

次回の中部組織理事は中村会員です。来年度、 実行委員長になるので運営に参加してもらいたい と思っています。

山本会長

議長については西部地区から一般の会員を選出

してもらいましょう。

後藤理事

中村会員は宿島理事の資格審査のサポートで 入ってもらえばよいと思います。

宿島理事

中村会員は資格審査で運営に参加するという事でよろしいでしょうか。

山本会長

はい。問題ありません。

宿島理事

次に議長の問題ですが、一般会員を選出しなければいけないですね。

小林理事

議長は西部地区より選出します。

従来は開催地区以外の会員から議長を選出していましたが、コロナ禍で状況が変化してきている事もあり、移動距離も少ない方が良いと思うので 西部地区より選出します。

静岡済生会病院 中村会員は資格審査に入って いただき、組織図を修正します。

山本会長

学術大会にアナウンサーをお願いしますか。

小林理事

今まではアナウンサーにお願いしていましたが、 人数をできるだけ増やさないように司会だけで進 行しようと考えています。

山本会長

台本の用意はできていますか。

台本は欲しいですね。

後藤理事

昨年は神谷理事に作成していただきました。 過去の資料を探してみます。

神谷理事

学術委員会の資料にあると思います。確認します。

髙橋副会長

台本があれば司会進行やります。

進行の方向性が分かっていれば問題ないと思います。

山本会長

臨時理事会があるので、ランチョンセミナーの 時は代わりの司会をお願いしなければいけないで すね。

小林理事

現理事にお願いした方が良いですね。

山本会長

それでは順に確認していきたいと思います。 9時10分からの総会運営会議の会場はどちらで すか。

後藤理事

17階の総会会場で行います。

山本会長

参加人数、ハガキを確認するのは森田理事ですか。

森田理事

はい。

山本会長

着席の位置ですが、ステージに向かって右側に 執行部。会長、副会長、会計、常任理事が着席。

右側には監事2名、組織理事3名が着席します。 ランチョンセミナーは80食を用意ですか。役員 の分は含まれていますか。

神谷理事

役員分を含めて80食です。

演題が15演題。演者15名に関係者1名で計30名。

小林理事

担当役割の総計で37名です。

選挙管理委員長、事務局も含まれています。

山本会長

臨時理事会会場には新役員と顧問の食事を持っていきます。

旧役員はランチョンセミナーの運営があるので17階で食事をとります。

来場者がいた場合はどうしますか。

神谷理事

案内には、入場者制限がある事を謳ってあります。基本的には一般の来場者はいないという認識でいらっしゃると思います。また、そのようなつもりで会告を出しています。

後藤理事

下見の際に、もし一般の来場者がいた場合、用 意した食事をお渡しして、不足分は現地で用意す るという相談をしています。

深澤副会長

臨時理事会開催中、旧理事は受付、案内等をや らなければならないですね。

山本会長

朝の運営会議の時は新役員の皆様が受付で案内等お願いします。

運営会議には、副会長、常任理事、議長が参加 します。

後藤理事

受付ですが、事前登録なので名簿が作成できます。受付は来場者の名簿チェックをするだけで大 丈夫だと思います。当日の来場者はその場で記帳 していただきます。新春公開講演の時と同じよう にできると思います。

深澤副会長

PCは持ち込みますか。

後藤理事

会場に用意はしますが、使用しなくても大丈夫 だと思います。

森田理事

臨時理事会の議事録作成がありますが、映像記録は必要ですか。

後藤理事

WI-FI環境が無いのでICレコーダーでの対応を お願いします。

佐野理事

総会の記録はZoom Webinarでレコーディングできます。

山本会長

総会は総務理事、臨時理事会の議事録作成は新 総務庶務理事お願いします。

役員の控室は15階で良いですか。

後藤理事

15階を利用してください。

山本会長

講師の案内係は誰が担当しますか。

後藤理事

まだ決めていません。

神谷理事

学術委員で担当するのであれば、プレスタワー に到着した時点で連絡をいただき、出迎えるよう に手配する事は可能です。

山本会長

講師、先生の食事はどうなっていますか。

神谷理事

発表関係30名、役員40名、計70名で10食余裕がある気持ちでいました。メーカーの講師は出しません。

山本会長

五月女先生のスライドの確認が必要となります ね。

神谷理事

確認をする時間を設ける事ができません。

髙橋副会長

事前に頂くことはできませんか。

神谷理事

先生がMacを持参して接続します。

後藤理事

新春公開講演の高原先生と同じです。

接続に関して少し不安があります。

佐野理事

音声については、専用のマイクを購入したので 新春公開講演時のような状況は無いと思います。

後藤理事

動画の中に音声があった場合どうなるか分からないですね。

神谷理事

音声付きの動画あります。

講演は慣れてらっしゃるので大丈夫だと思って います。

佐野理事

リハーサルの時に動画を流して確認してみま しょう。

神谷理事

音声付きの動画を流していただければ良いと思います。ただ、先生のPCを接続するので少し不安は残ります。

小林理事

リハーサルの時にMacが接続できれば良いのですが。

山本会長

5月15日のリハーサルで設定や役割の確認をお 願いします。

総会・学術大会の進行表、組織図など若干の修 正がありましたが承認を採ります。

反対: 0 保留: 0 賛成:16

(全会一致承認)

山本会長

次に表彰者についてです。

後藤理事

20年35年表彰について、鈴木理事よりリストをいただき、総会で発表していただく畑副会長にお渡ししました。

感謝状等は規約を確認してどのような形式にするか検討し作成します。

山本会長

退任時の感謝状について、役員として継続して も役割が変わったら任期はそこまでとします。

後藤理事

感謝状は当日渡しますか。

山本会長

表彰は永年勤続表彰対象者が会場にいれば壇上 で渡しましょう。

感謝状は現理事から代表者1名に渡します。 次に叙勲受賞式典です。

後藤理事

叙勲報告会という形で進行表を作成しました。 飲食はありません。

学術大会が16時30分終了予定。その後準備。17 時開始します。

司会、略歴紹介等役割を決めていただきたいと思います。

深澤副会長

司会は過去の例だと、叙勲の時は東部地区で司会だったと思います。

山本会長

司会は深澤副会長。略歴紹介は髙橋副会長、閉会挨拶を畑副会長お願いします。

後藤理事

花束、記念品贈呈のプレゼンターはどうしますか。

山本会長

顧問の所属していた西部医療センターに声をかけて10名程の参加があると聞いています。

後藤理事

和田顧問の勤務歴のある3病院連絡し、参加希 望者の名簿を作成し報告してもらう予定でいます。

和田顧問

略歴・功績の紹介を私自身がやったらどうで しょうか。

浜松医療センターの設立当初からの状況を若手 技師に伝えていく事も大事ではないかと思います。 世代も大きく違います。これまでに自分がやって きたことを紹介していく事はどうかと考えていま した。

髙橋副会長

挨拶の時間を設けてありますのでそちらでいか がですか。

和田顧問

私の事をお伝えする時間はどちらでも良いです。 浜松南病院、スポーツ整形病院については祝電、 記念品をいただいております。この2病院につい ては報告会に参加頂かなくても結構です。

浜松医療センターは名称が変更される西部医療 センター時代からで思い入れが非常に強く、記念 品等頂けるのであれば非常にうれしく思います。

山本会長

私のあいさつで少し略歴・功績を皆様にお伝え します。細かいところは和田顧問ご自身からお願 いします。

和田顧問

細かいところは私のあいさつでお話ししたいと 思います。

山本会長よろしいでしょうか。

山本会長

よろしくお願いします。

医療センターから祝辞と記念品贈呈をお願いしましょう。

深澤副会長

進行表を作成しますので、確認をお願いします。

髙橋副会長

会場の利用時間を確認しておいてください。

小林理事

18時まで利用可能です。

山本会長

花束、記念品の手配をお願いします。

後藤理事

準備します。

山本会長

叙勲報告会は顧問の意向に沿って進めていきた いと思います。

協議事項は以上になります。

1点報告事項です

告示研修の申し込み案内が遅れてしまい申し訳 ありません。

研修申し込みが28日からで、統一講習会受講者 が済んだ会員は21日からになっていました。

また、申し込みシステムにトラブルが生じてご 迷惑をお掛けしました。申し訳ありません。

深澤副会長

申込みシステムにトラブルがあったそうでしたが、翌日には復旧したそうです。

土曜日開催分が申込みできなかったそうです。

山本会長

他に報告事項・協議事項等無いようなので以上 をもちまして令和4年第1回理事会を終了します。

※議長が第1回理事会の終了を宣言したので、令和3年4月23日午後5時00分理事会を閉会。

議事録作成 森田光博

第11回公益社団法人静岡県放射線技師会定時総会議事録(抄)

【開催日時】 令和 4 年 5 月29日(日) 9 時30分~10時30分

(Hvbrid開催)

【場 所】 浜松 プレスタワー

【参加者】

山本 英雄 (会長) 大会委員長 廣澤 賢一 (組織理事·東部) PC·WEB管理 深澤 英史 (副会長・東部) 採決・受付 畑 利浩 (副会長・中部) 表彰報告 (副会長・西部) 学術大会司会 髙橋 真 春田 孝博 (会員) 議長 伊東 孝宏 (会員) 議長 小林 秀行 (組織理事・西部) 実行委員長 宿島 久志 (組織理事・中部) 資格審查 堀 吉孝 (庶務一般常任理事) 議事録署名 鈴木 紀晶 (会員管理常任理事) 写真担当 光博 森田 (総務庶務常任理事) 書記 大杉 正典 (会計常任理事) 会計報告 遠藤 基生 (編集常任理事) 採決 祐二 佐野 (広報常任理事) PC·WEB管理 後藤 修司 (総務常任理事) PC·WEB管理 神谷 正貴 (学術理事) 学述大会委員長 松本 恭徳 (監事) 監事報告 栗田 仁一 (監事) 監事報告 清水 陽代 (事務) 受付

【次 第】

第11回(公社) 静岡県放射線技師会定時総会 式次第

- 1. 開会の辞
- 2. 会長挨拶
- 3. 表 彰
- 4. 報告

令和3年度事業報告及び同附属明細書報告

令和3年度監查報告

- 5. 議長団選出
- 6. 議案

第1号議案 令和3年度計算書類等一式承認の件 第2号議案 令和4・5年度理事、監事候補者承 認の件

その他

- 7. 議長団解任
- 8. 閉会の辞

【定時総会】

小林総合司会

定刻になりましたので、ただ今より、第11回公 益社団法人静岡県放射線技師会定時総会を開催し ます。

はじめに、山本英雄会長から挨拶があります。

1、会長あいさつ

山本会長

皆さま、おはようございます。朝早くから第11 回静岡県放射線技師会定時総会・第26回学術大会 にご参加いただきありがとうございます。コロナ 禍の中で2年連続開催することができませんでし たが、感染状況の落ち着きと役員がいろいろと本 当に努力し、知恵を出し合ってこのように Hybrid開催することができました。今回は診療 放射線技師にとってプラスのことがいろいろあり ますけれども、今日の特別講演の中で『ラジエー ションハウス』の五月女先生が来ていただき、こ のポスターも貼ってありますが、映画の宣伝だけ ではなく、厚生労働省、日本放射線技師会の名前 が載っているということは初めてのことでありま す。当初は厚生労働省だけでしたが、議員さんな どの働きがけによって日本放射線技師会も掲載さ れるようになりました。皆さまの病院等に行って いるところもありますし、まだなところはポス ターを持って行っていただき、放射線科内ではな く、病院全体に貼っていただきたいと思います。

厚生労働省のお墨付きもありますのでよろしくお願いいたします。ところで『みなさん映画は観ましたか?』、『観た方はいらっしゃいますか?』私も観に行きましたが、そんなにチャラチャラしたものではなくしっかりした内容であります。その中でも診療放射線技師がいろいろと活躍する表現がされ、IVRのセカンド・助手として『カテの手渡し』などの新しい役割が映し出され、今年から始まる告示研修の中でも、このような作業が演習の一つに入っております。一般の方々も診療放射線技師はこんな仕事もしているのだ、手術室に見えるようですが、診療放射線技師が医師の介助をするのだということが一般の方々にも知られております。

皆さまも告示研修を早めに受けていただいて、そのような業務をいっしょに行うようにしていただきたいと思います。6月より始まり、東部・中部・西部といろいろなところで、年5回ぐらい、週末に5回、土日の計10回を計画しておりますので申込みをよろしくお願いいたします。

私事ではありますが、今回で会長職は最後でありますので、この総会・学術大会を楽しんで参加したいと思いますのでよろしくお願いいたします。 簡単ではありますが、挨拶に代えさせていただきます。本日は一日よろしくお願いいたします。

小林総合司会

山本会長、ありがとうございました。

次に表彰に移らせていただきます。表彰委員代行として島田市立総合医療センター 畑利浩副会 長、よろしくお願いいたします。そのまま、山本 会長もお願いいたします。

2019年度CCRT学術奨励賞の表彰となります。 静岡県立こども病院 佐野恭平様、前へお願いい たします。

2019年度CCRTは2年ぐらい前の話になり、学 術奨励賞を日放技よりいただいていたのですが、 表彰する機会がなく、会場開催の本日の総会で表 彰させていただきます。

2019年度 CCRT学術奨励賞

『Synthetic MRI T 1 値T 2 値算定における撮影条件への影響』

静岡県立こども病院 佐野 恭平 様 おめでとうございます。

佐野様よりひとこと、

本日はこのようなお時間をいただき、恐縮でございます。僕自身は研究者と自任しているわけではありませんで、日々の仕事をしながら『困ったことがでてきたり』、『臨床側からの要望』、『仲間から出てくる改善の要求』などを一つ一つクリアしていく中で形にできたものをこのような場で皆さまに報告させていただいています。

今回のものも、その中の一つを使わせていただいております。これからも仲間と協力していきながら一つ一つの課題をクリアし、また皆さまの前で報告ができるよう改心していきたいと思います。

本日はありがとうございます。

佐野様ありがとうございました。 畑利浩副会長、お願いいたします。

【表彰】

畑利浩 表彰報告

小池表彰委員長に代わりまして、私、畑の方から永年勤続35年及び20年の方のお名前を御呼びさせていただきます。

永年勤続35年表彰者(11名)

杉山 哲一(沼津市立病院)

瀧井 達志 (焼津市立総合病院)

杉村 俊樹 (焼津市立総合病院)

土井 良高(中東遠総合医療センター)

小栗 徳彦(中東遠総合医療センター)

小山 雅之(高仲循環器クリニック)

本多 正英 (常葉大学リハビリテーション病院)

橋本 和明(沼津中央病院)

永年勤続20年表彰者(13名)

篠田 里沙(中東遠総合医療センター)

太田 達也(聖隷予防検診センター)

石原 和浩 (聖隷健康サポートセンターShizuoka)

河井 淑裕 (藤枝市立総合病院)

鈴木 恵 (聖隷健康診断センター)

和田 裕香(JA静岡厚生連 遠州病院)

松崎 真也 (ハートセンター磐田)

石塚 正哲(聖隷富士病院)

畑中 貴台(中東遠総合医療センター)

山村 楠明(JA静岡厚生連 遠州病院)

鈴木 絵理(自宅)

榊原 智子(静岡県結核予防会)

内田 知宏(IA静岡厚生連 遠州病院)

大川 宏人 (静岡県立静岡がんセンター)

深井 智章(静岡県立静岡がんセンター)

伊藤 勝利 (中伊豆リハビリテーションセンター)

中山 謙(菊川市立総合病院)

続きまして理事・感謝状・功労賞の授与の発表 をさせていただきます。

山本 英雄 (会長)

廣澤 賢一 (組織理事·東部)

深澤 英史 (副会長・東部)

畑 利浩 (副会長・中部)

髙橋 真 (副会長·西部)

石原 太一 (会員)

小林 秀行 (組織理事·西部)

堀 吉孝 (庶務一般常任理事)

鈴木 紀晶 (会員管理常任理事)

森田 光博 (総務庶務常任理事)

大杉 正典 (会計常任理事)

遠藤 基生 (編集常任理事)

佐野 祐二 (広報常任理事)

後藤 修司 (総務常任理事)

神谷 正貴 (学術理事)

松本 恭徳 (監事)

中村 元哉 (超音波)

大石 恵一 (MRI)

畑中 貴台 (Angio)

竹山 有希 (乳腺画像)

勝浦 拓也 (管理士)

疋野 奈央子 (ワークバランス)

大倉 善郎 (選挙管理)

曽我 隆正 (生涯学習)

中村 文俊 (医療推進)

小池 澄男 (表彰審査)

代表として永年勤続20年表彰

河井 淑裕 (藤枝市立総合病院)

以上の方々となります。

小林総合司会

次に報告に移らせていただきます。

2021年度事業報告及び同附属明細書報告を、山 本英雄会長お願いします。

山本会長

それでは議案集2ページをご覧ください。

今年度も、昨年と同様に新型コロナウイルス感染症に翻弄された一年となりました。第五波では医療崩壊状態に陥る危機になりましたが何とか踏ん張ることが出来ました。そのような状況の中、東京オリンピック・パラリンピックが開催され国民の中には不安視する声もありましたが、開催されると大きな感動や勇気を与えてくれました。これがコロナウイルスと共存することなのかと感じさせてもらいました。国民のワクチン接種の2回目も進み一時は感染者数も激減し、一段落したかに思えましたが、年明けにはオミクロン株で再び感染拡大がおこり、感染対象者が高齢者層から若年層に移行していきました。会員の皆様におかれ

ましては、ご自身の健康にも留意しながらの業務 は厳しかったと存じます。

また、10月には衆議院選挙が行われ、診療放射 線技師として畦元議員が再選を果たし、日本診療 放射線技師会の上田会長が岸田総理と懇談をする という本会にとってこれまでにない貴重な機会を 得ることとなりました。

7月9日医政局発0709号第7号「臨床検査技師 等に関する法律の一部を改正する政令等の交付に ついて一が厚生労働省医政局長より発出され、診 療放射線技師の業務範囲の見直しが行われたこと に伴い、追加された新しい業務を行う場合は、あ らかじめ厚生労働大臣が指定する研修の受講が義 務付けられました。この研修は、基礎研修 (e-ラーニング)と実技研修(会場型)からなり、実 技研修を受講するためには、基礎研修の終了が条 件となっています。基礎研修は8月から受講が出 来るようになり多くの会員がすでに完了していま す。実技研修は、ファシリテータ養成講習を行い 10月から各県で開催予定でしたが、コロナウイル スの影響で一か月遅れてしまいました。本県は、 2月に開催を予定していましたが、残念ながらオ ミクロン株の拡大のため中止しました。

さて、静岡県放射線技師会においては、部会・委員会の役員が昨年からのオンライン開催になれてきて、研修会・セミナーも以前と同じ回数を開催することができ、参加人数も県外から多くの参加がみられるようになり、盛況なセミナーが開催されました。これもオンラインならではのメリットではないでしょうか。新春公開講演会では、ハイブリッド開催を施行し、多少問題点もありましたが100名を超える参加をいただきました。

今後は、この問題点を改善して効果的にハイブ リッド開催を行っていくことがウィズコロナ時代 にふさわしい学び方になると感じます。

社会活動としては、各地域でのふれあい広場は 中止となりましたが、西部地区のイベントではこ れまでと様式を変えた催し物が開催され、地区会 として放射線展示ブースを作り参加しました。また、西部地区会では初めて高校生への出張授業を行い、今後JARTが環境省とタイアップして計画している「国民への正しい放射線の知識を国民に広める」事業の一助になるものと思います。

静岡県放射線技師会は診療放射線技師の職業倫理を高揚するとともに、チーム医療の一員としての自覚と安全で質の高い医療の実践、そして高度な医療技術の提供を行い専門職としてのスキルアップを図り、県民の健康保持増進の貢献に努めてまいりました。

主な事業内容として

公1. セミナー等による診療放射線技術の向上発展のための研修事業

(1)講演・学術大会

(公社) 静岡県放射線技師会

第25回静岡県放射線技師学術大会

(令和3年5月30日 於 WEB形式) 参加人数160名(会員152名、非会員8名) 大会テーマ「県民の未来を支える医療技術」 学術大会 一般研究発表13題

【公開講演】

『日本診療放射線技師会の今後と診療放射線技師 の未来』

講師 公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長 上田 克彦 先生

 第37回日本診療放射線技師学術大会 (令和3年11月12日~14日 於 ハイブリット開催) 参加人数1,395名(会員1,334名、非会員32名、 学生29名、WEB44,300名) 大会テーマ

「国民と共にチーム医療を推進しよう」

~技術の多様性と人の調和~

·第13回中部放射線医療技術学術大会 (令和3年11月20日~26日 於石川県 WEB開催) 参加人数433名(会員402名、非会員14名、学生 17名、WEB2,586名)

大会テーマ

「見つけよう新時代に向けたベストプラク ティス」

·第62回東海四県放射線技師学術大会 (令和4年2月6日 於三重県 WEB開催) 参加人数152名

大会テーマ

「循環器領域の疾患に画像診断で迫る」

(2) 研修・講習会

・業務拡大による告示研修

「令和3年厚生労働省告示研修第273号研修」 会員:非会員対象

中日本地域ファシリテータ養成講座

(令和3年10月9、10日 於福井県)

参加人数49名(県内7名)

告示研修 (実技研修)

(令和4年2月12、13日 於 県立総合病院)

※コロナウイルス感染拡大防止のため中止

· 日本診療放射線技師会

放射線機器管理士分科会地域研修

(令和3年12月26日 於 アクトシティ浜松)

参加人数28名(会員のみ)

「医療機器管理における法令と更新手続き」

純真学園大学

中村 泰彦 会員

「MR装置における機器管理と実践 |

琉球大学病院

青山 信和 会員

「CT装置における機器管理と実践」

管理十部会

小川 正人 会員

「X線撮影装置における機器管理と実践|

九州大学病院

加藤 豊幸 会員

· 令和 3 年度放射線技師研修会

(令和4年3月19日 WEB開催)

参加人数:30名(会員27名 非会員3名)

【特別講演】

「静岡県放射線技師会の現在とタスクシフトから 見る未来像! 講師 静岡県放射線技師会

会長 山本 英雄 会員

【メーカー講演】

「画像診断装置の稼働データ統合と利活用~ 生産性の向上と働き方改革を見据えて」

講師 GEヘルスケアジャパン 秋山 謙作 氏 「医療デジタル化によるワークフローの改善および 人工知能技術を用いた画像診断・治療計画支援」

講師 シーメンスヘルスケア(株)

岩田 和浩 氏

「LEANを活用した業務改革と

ヘルスコンティニウムの実現に向けて|

講師 (株) フィリップス・ジャパン

北原 雄高 氏

・第11回フレッシャーズセミナー

(新人教育セミナー)

(令和3年7月4日 於 アルフレッサ静岡支店 ハイブリット開催)

参加人数26名

デジタルマンモグラフィ講習会

令和3年度 静岡県マンモグラフィ技術研修会 (令和4年2月11日 WEB開催)

参加人数152名(診療放射線技師:124名、医

師:24名、臨床検査技師4名)

「症例検討会」聖隷三方原病院

島田市立総合医療センター

磐田市立総合病院

「県内の再撮影率と傾向、改善対策について」

聖隷予防検診センター

齊藤 忍 会員

静岡県立総合病院

早坂みさを 会員 内田 千絵 会員

浜松労災病院

「再撮影の被ばくについて」

静岡がんセンター 伊東 孝宏 会員

・放射線セミナー胃がん検診従事者講習会 東部地区(令和3年11月6日 WEB) 参加人数51名(会員45名、非会員6名)

(令和 4 年 1 月23日 WEB)

参加人数56名(会員49名、非会員7名)

中部地区(令和3年10月2日 WEB) 参加人数35名(会員30名、非会員5名) (令和4年3月5日 WEB) 参加人数42名(会員38名、非会員4名) 西部地区(令和3年9月18日 WEB) 参加人数137名(会員80名、非会員57名) (令和3年12月18日 WEB) 参加人数91名(会員65名、非会員26名) (令和4年3月5日 WEB) 参加人数148名(会員92名、非会員56名) ・第5回ワークライフバランス検討委員会 (令和3年7月31日 WEB開催) 参加人数30名(会員25名、非会員5名) 「理学療法士が教える正しい知識で無理なく 安全にトランスファー」 浜松市リハビリテーション病院

理学療法士 河上 智、安井 萌 氏 第6回ワークライフバランス検討委員会 (令和4年2月26日 WEB開催) 参加人数54名(会員43名、非会員11名) 「診療放射線技師のキャリアをデザインしよう」 超音波部会(令和3年6月12日) 聖隷浜松病院 小林 秀行 会員 「教えて!あなたの働き方」

家庭に軸を置いた働き方に変更した人 沖健康クリニック 高山 正子 会員 働きながら大学院に行っていた人

富士市立中央病院 猪俣 崇亨 会員 技師からメーカーへの転職した人

GEヘルスケアジャパン 盛 史範 会員 専門性を高め、追及している人

静岡がんセンター 伊東 宏明 会員 情報ネットワークの知識で他職種へ転身した人 静岡県立総合病院 法橋 一生 会員

(3) 専門部会の活動

管理士部会(令和3年6月26日) 参加人数62名

(会員58名、非会員1名、県外3名) (令和4年1月22日)

参加人数62名

(会員52名、非会員6名、県外4名) 乳腺画像部会(令和3年11月20日)

参加人数54名

(会員35名、非会員12名、県外7名) (令和4年2月11日)

参加人数95名

(会員48名、非会員21名、県外26名) アンギオ部会(令和3年4月10日)

参加人数50名

(会員35名、非会員8名、県外7名) (令和3年10月30日)

参加人数39名

(会員30名、非会員4名、県外5名)

MRI部会(令和3年12月8日)

参加人数323名

(会員240名、非会員79名、賛助会員4名) (令和4年3月12日)

参加人数377名

(会員243名、非会員129名、賛助会員5名)

参加人数50名(会員26名、非会員24名)

(4) 出版物等による情報提供

静岡県放射線技師会誌「しずおかジャーナル」 3回発行

静岡県放射線技師学術大会抄録集

1回発行

静岡県放射線技師会定時総会議案集及び学術大会 プログラム

1回発行

ホームページによるセミナーや研修会の情報公開

公2. 体験活動、講演、相談等の事業による放射 線検査に関する知識の普及啓発事業

・第42回静岡ふれあい広場 (令和3年9月日 於 静岡市青葉シンボルロード) ※コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- ・メディメッセージ2021 (令和3年11月28日~29日 キラメッセ沼津) ※コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ・西部地区ふれあい広場 (令和3年10月24日 浜松市可美公園総合センター) 可美公園秋の体験プログラム2021への参加 診療放射線技師のお仕事紹介、コロナ禍で頑張 る診療放射線技師、応援メッセージ等 参加者約100名 応援メッセージ寄稿2名
- ・社会活動「出張授業」聖隷クリストファー高校 (令和3年7月27日)

参加人数28名(学生27名、教員1名)

講義「診療放射線技師の仕事|

実演「ワークステーションをさわってみよう」

聖隷浜松病院 小林 秀行 会員

· 令和 3 年 新春公開講演会

(令和4年1月15日 ハイブリット開催)

参加者: 会場 26名(会員23名、賛助会員3名) WEB 163名(会員48名、県外10名、一般105名)

【公開講演】

『乳がん検診の現在 無痛乳がんMRI検診とは』 講師 東海大学 工学部医用生体工学科 教授 高原 太郎 先生

【教育講演】

『診療放射線技師免許アップデート~現状と未来~』 講師 日本診療放射線技師会

副会長 児玉 直樹 会員

・秋季公開講演会 レントゲン週間事業 (令和3年11月3日 WEB開催)参加人数49名(会員28名、非会員6名、一般14名、講師医師1名)

【公開講演】

「前立腺がんの健診から診断・治療まで」 講師 国際医療福祉大学熱海病院 副院長 石井淳一郎 先生

【会員演題】

「胃がん検診について」

聖隷沼津病院健診センター 山崎 洋和 会員

「肺がん検診について」

聖隷健康サポートセンターShizuoka

上原 晋 会員

「乳がんについて」

中東遠総合医療センター 竹山 有希 会員 ・ホームページやFAXによる放射線に関する問

い合わせ相談 件数:1件

相談内容:放射線検査による被ばくの不安について

公3. 研修、訓練等による放射線管理及び安全推 進事業

· 令和 3 度原子力災害時緊急対策研修会(令和 3 年10月30日 於 浜岡原子力発電所)

参加者: 会場31名 WEB 20名 (会員48名、一般3名)

「GM管取り扱いとスクリーニング」講義と実習 管理士部会 勝浦・千葉

「浜岡原子力発電所の概要と安全性向上対策」 浜岡原発総括広報グループ

生田 康平 氏

「施設見学」

· 静岡県原子力防災訓練(令和4年1月28日9時 ~11時 於 浜名湖SA)

※コロナウイルス感染拡大防止のため中止

· 静岡県原子力防災情報伝達訓練(令和4年1月 28日)

訓練開始11時 対象49施設

県原子力防災訓練に合わせて東部・中部・西部 地区基幹病院の会員へ机上伝達訓練実施

・第15回医療安全セミナー(令和3年12月11日 於 WEB開催)

参加人数39名(会員28名、他県6名、一般5名) 【講演】

「医療の質・安全性の向上と働き方改革を推進す る統合診療支援プラットフォームについて」

講師 富士フイルムメディカル (株)

岩井 聰明 先生

【会員発表】

「各施設における画像診断レポート未読影対策の 現状 |

島田市立総合医療センター 宿島 久志 会員 国際医療福祉大学熱海病院 杉村 俊樹 会員 聖隷三方原病院 中野 仁 会員

会員に対する相互扶助事業

表彰事業

永年勤続35年表彰者:11名、永年勤続20年表彰者:13名(令和3年5月30日総会時)

・(公社) 静岡県放射線技師会第29回アール祭 および叙勲祝賀会

※コロナウイルス感染拡大防止のため中止

その他事業

·(公社) 静岡県放射線技師会第10回定時総会 (令和3年5月30日 於 技師会事務所)

※コロナウイルス感染拡大防止のため、理事立 ち会いのもと書面決議とした

表決状646名(会員数940名)

·(公社) 日本診療放射線技師会 第83回定時総会(令和3年6月5日 於 WEB 開催)

本県代議員出席者:6名 報告は以上となります。

廣澤総合司会

山本会長、ありがとうございました。 つづきまして2021年度監査報告を栗田仁一監事 お願いいたします。

【監事報告】

栗田仁一 監事

令和3年度監査報告をさせていただきます。 私ども監事は令和3年4月1日から令和4年3 月31日までの年度における会長選出の事業報告書、

及び経理規定第44条第1項の会計理事提出の財産

諸表を公益社団法人静岡県放射線技師会定款第44 条第3項に基づき令和4年4月23日に監査を実施 いたしました。

その結果、適正に処理されていることを確認い たしましたのでご報告いたします。

監査の意見としては

- (1)貸借対照表及び正味財産増減計算書は定款 に従い会の財産及び損益の状況を正しく示 しているものと認めます。
- (2) 事業については厳しい財政での事業であり 会員一人一人のいっそうの努力で身のある 事業になることを望みます。
- (3)役員の職務遂行に関する不正の行為または 定款に違反する事業は認められません。
- (4) 会費納入については事業を円滑に遂行する ために年度当初の納入を望みます。また、 遅くとも会費納入期限9月30日の完納を望 みます。
- (5)事業費に占める公営機事業比は71.3%と昨年よりも高くなっております。今後も公営機比率の維持を望みます。

以上となります。

小林総合司会

栗田監事、ありがとうございました。 ひきつづき、総会議事を行います。

【議長選任】

小林総合司会

それでは議事に入りたいと思います。

議長選任につきましていかが取り計らいましょうか?

『司会者一任』

ありがとうございます。

『司会者一任』をいただきましたのでこちらよ り指名させていただきます。

静岡県立がんセンター 伊東 孝宏 会員 中東遠総合医療センター 春田 孝博 会員 にお願いたします。

よろしくお願いいたします。

【議事進行】

石原議長

ご指名いただきました

静岡県立がんセンター 伊東 孝宏 会員 中東遠総合医療センター 春田 孝博 会員 よろしくお願いいたします。

総会の資格審査を本部より報告願います。

【資格審查】

宿島久志 組織理事・中部

資格審査委員を担当します、中部組織理事の宿 島です。それでは資格審査委員より本日の総会成 立に関しまして、報告いたします。

定款第18条には、現会員数982名の過半数を 持って総会の成立が定められております。

今回はすべてハガキでの採決であることを会員 にはお願いしております。

午前10時30分現在、表決状677名であり、表決 状の数が定款に定められた過半数を満たしており ますので、本総会の成立をここにご報告いたしま す。以上です。

伊東議長

本部より本総会の成立が報告されましたので、 これより議事にはいりますが、ここで、総会運営 委員の任命をします。すでに決定してありますの で紹介します。

【総会運営委員任命】

書 記:森田 光博(もりた みつひろ)

常任理事 総務庶務理事

採 決 係:遠藤 基生(えんどう もとお)

常任理事 編集理事

深沢 英史(ふかさわ ひでふみ)

東部 副会長

議事録署名人:堀 吉孝(ほり よしたか)

常任理事 庶務一般理事

以上よろしくお願いいたします。

伊東議長

進行は、総会次第にのっとり第1号議案の進行 いたします。

本総会では議案について表決は表決ハガキの採決結果報告となりますので会計報告後、会場採決報告を行います。反対・賛成・保留の順に伺いますので人数の確認をしますので、確認が済むまでお待ちください。

春田議長

5 - 議事

<1号議案>

第1号議案、定款第44の第1項、第3号から第 5号までを総称して、2021年度計算書類(貸借対 照表及び正味財産増減計算書)等一式承認の件を 大杉正典会計理事よりお願いいたします。

大杉 正典 会計常任理事

令和3年度会計報告です。

貸借対照表になります。

当年度の現金預金は、3月31日時点で5,702,252 円です。

特定資産として、記念講演積立金(周年記念事業費)を400,000円追加し800,000円となっています。

資産整備積立金は0円となります。

事務所営繕取得準備資金は、324,563円増加し 7.108.563円です。

その他固定資産は、建物の減価償却により 193,276円減少しています。什器備品は資産準備 資金よりPC、マイクスピーカー、GMサーベイ メータを購入したため、558,150円増加しています。

以上より、当年度資産合計は31,680,576円と なっています。 続きまして、正味財産増減計算書です。

経常収益です。正会員受取会費は増加していますが、賛助会員受取会費が企業の合併等あり130,000円減少しています。

受託収益の増加はデジタルマンモグラフィ講習会の収入が268,120円増加しています、これは令和2年度の補助金が少なかったためです。

雑収益は部会の返金が令和2年度124,974円あったためです。

本年度も19,306円返金がありましたが、こちらは事業費の旅費交通費に入っています。

来年度から、部会の費用は、支払負担金に統一します。

広告掲載収益は令和2年度に無かった抄録集の 広告収入で270,000円増加しています。

次に経常費用です。

事業費-会議費の増加は各委員会等の会議費が 増加したため267.529円増加。

事業費 - 旅費交通費の増加は各委員会等の旅費 交通費が増加したため457.834円増加。

管理費 - 消耗品費の減少はHP管理運営作業費がなかったため431,620円減少していますが、毎年支払っているものなので来年度への持ち越しとなります。

管理費-委託費の減少は役員変更登記がなかったため107,014円減少しています。

当期経常増減額ですが、こちらは経常収益から 経常費用を差し引いて1.865.257円となります。

次に正味財産増減計算書内訳表です。

公益目的事業会計の経常収益計は4,611,038円。 経常費用計は5,927,173円です。公益目的事業会計 の経常増減額はマイナス1,316,135円となります。

公益目的事業比率は、総費用(経常費用計の総合計)8,864,276円、公益目的事業会計の経常費用計5,927,173円。それと記念講演積立金400,000円で計算すると71.3%で50%以上を満たしています。 (5927173+400000) \div 8864276=0.713 \rightarrow 71.3%

財務諸表に関する注記は、会計方針、基本財産

及び特定資産、固定資産、補助金等の内訳を記載 しています。

財産目録は貸付対照表の資産詳細です。

付属明細書ですが、特定資産の明細となります。 記念講演積立金を本年度も400,000円追加しました。合計800,000円。こちらはは令和4年度に周年事業費として使用予定です。

資産設備積立金は本年度、WEB用パソコン 108,350円、ミーティングオウル126,830円、GM サーベイメータ384,615円を購入しました。

収支計算書になりますが、こちらは予算額と決 算額の比較となります。

新型コロナの影響により対面式の活動が縮小されており、事業活動収入は272,967円。事業活動 支出は2,180,863円の差異が出ています。

収支計算書に関する注記の次期繰越収支差額は 5.690.586円になります。

当年度も新型コロナの影響により、対面形式の 事業が少なく以前に比べ支出が少なくなっていま す。公益事業比率50%以上、収支相償は確保され ていますが、流動資産合計が5,690,586円、公益目 的事業費が本年度5,927,173円と流動資産が公益目 的事業費に近づいている。来年度は告示研修と周 年事業も予定しており超えることはないと思われ るが、何かしらの対策を考えていきたいと思いま す。

それではただ今の2021年度計算書類(貸借対照 表及び正味財産増減計算書)等一式承認の件に対 しまして採決に入りたいと思います。

それでは、はじめに表決ハガキによる採決結果 を報告します。

採決係の方、数を数えて報告下さい。

第1号議案の2021年度計算書類(貸借対照表及 び正味財産増減計算書)等一式書承認の件は、 反対 0名、賛成 674名、保留 3名です。

採決の結果、第1号議案は(賛成多数)に より、可決しました。

< 2号議案>

続きまして、第2号議案、令和4・5年度理 事・監事候補承認の件を大倉善郎選挙管理委員長 よりお願いいたします。

【地区会選出理事候補者名】

理事 牛場 克明 理事 佐藤 正明 理事 小林 秀行 理事 大多和純一 理事 中村 英明 理事 神谷 正貴 理事 寺田 理希 理事 廣澤 腎一

【理事会選出理事候補者名】

理事 髙橋 真 理事 菅原 和仁 理事 福地 大介 常葉 勇介 理事 理事 野沢 滋幸 理事 中村 真也 理事 河井 淑裕 理事 齋藤 忍 監事 大倉 善郎 監事 栗田 仁一

以上18名となります。理事・監事候補者の審査 承認のほどよろしくお願いいたします。

それではただ今の第2号議案、令和4・5年度 理事・監事候補承認の件に対しまして採決に入り たいと思います。

第2号議案、令和4・5年度理事・監事候補承 認の件は

不信任候補者名なし

反対<u>1名</u>、賛成<u>673名</u>、保留<u>2名</u>です。 採決の結果、第2号議案は(賛成多数)に より、可決しました。

<その他>

続きまして、その他、何か審議の必要案件ございましたらお願いします。

山本会長

執行部の方から少しお話しをさせていただきま す。

総会はがきを出していただいて、その中のコメントがありましたのでこの場をかりて回答させていただきます。

『技師会関連の会費が高い看護学会を見習って ほしい』とあります。

回答;日放技会費・告示研修・静放技会費・部会参加費などを言っていると思いますが、事業運営するには財源が必要となります。看護協会と比べると会員数が違いすぎ、10倍ぐらいの会員数差があります。全然財源が違います。同じ事業を行うとすれば一人当たりの負担が大きくなるので工夫をして運営していくのが重要と思っております。会員数を増やすことで本人の負担も減るのではないかと思われます。静岡県の技師会への加入率は60%です。全国と同じくらいですがこれを増やすことで財源が増えますので、もう少し還元できたらと思っております。

『福利厚生の慶弔で、弔電は自己申告しないと 送られてこないから、弔電は必要ないのではない か?』といただきました。

回答: 弔電に関しては自己申告というよりは関係者・周りで働いている人達が申請していただくということになっておりますのでよろしくお願いいたします。

『当院では救急が少ないため撮影時に戸惑いが 生じます。他施設の撮影方法を知りたいです』と ご意見をいただきました。

回答;これには部会・委員会等で企画していただ

いて救急撮影の内容を組み入れて検討していた だきたいと思います。

『新春公開講演会を聞き、無痛MRIを知った』 の内容の文面もいただきました。

以上が総会はがきコメントの紹介となります。 他に何かありますか?

他に無いようですので、第11回公益社団法人静岡県放射線技師会定時総会の議事を終了いたします。

熱心なご討議ありがとうございました。

以上を持ちまして議長団を解任させていただき ます。

小林総合司会

議長ご苦労様でした。

これをもちまして第11回公益社団法人静岡県放 射線技師会定時総会を終了します。

長い間、熱心なご検討をいただきまして有難う ございました。

^{令和4年度} 臨時理事会 議事録

1. 開催日時 令和4年5月29日(日)

 $11:55 \sim 12:10$

2. 場 所 浜松プレスタワー

3. 出席者(敬称略)

山本 英雄、牛場 克明、大多和純一、

廣澤 賢一、佐藤 正明、中村 英明、

小林 秀行、神谷 正貴、寺田 理希、

福地 大介、常葉 勇介、野沢 滋幸、

中村 真也、河井 淑裕、齋藤 忍、

髙橋 真、栗田 仁一、大倉 善郎

欠席者

菅原 和仁、和田 健

4. 議事

司会 山本前会長

山本前会長

本日をもちまして皆様が公益社団法人の理事となります。責任をもって責務を全うされることを願います。

それでは会長の選出に入ります。

立候補はありますか?

いま、髙橋氏より挙手がありました。ほかにいなければ髙橋氏を会長として選出したいと思います。

(会場、満場一致で承認)

皆さんこれまでご協力ありがとうございました。 それでは髙橋氏に交代します。

大倉選挙管理委員長より当選証書授与

司会 山本前会長から髙橋会長に交代

髙橋新会長

高橋です。新会長としてまずは1期2年よろしくお願いいたします。みなさまご協力お願いいたします。会務の在り方や県民に対する事業など皆で相談しながら進めていきましょう。

それでは役員の任命を行います。

【会長·副会長】

会 長:髙橋 真(すずかけセントラル病院)

副会長(東部):牛場 克明

(富士脳障害研究所附属病院)

副会長(西部):小林 秀行

(聖隷健康診断センター)

副会長(中部):佐藤 正明

(JA静岡厚生連清水厚生病院)

【常任理事】

総 務:中村 真也 (静岡県立こども病院)

総務庶務:河井 淑裕(藤枝市立総合病院)

庶務一般:福地 大介 (JA静岡厚生連静岡厚生病院)

庶務会員管理:野沢 滋幸

(聖隷健康サポートセンターShizuoka)

会 計: 齋藤 忍(聖隷予防検診センター)

編 集:常葉 勇介(静岡市立清水病院)

広 報: 菅原 和仁(富士市立中央病院)

【組織理事】

東 部:大多和純一(国際医療福祉大学熱海病院)

中 部:中村 英明(静岡済生会総合病院)

西 部:神谷 正貴 (浜松医科大学医学部附属病院)

学 術:寺田 理希(磐田市立総合病院)

企画調査:廣澤 賢一 (静岡県立静岡がんセンター)

【監事】

監事:栗田仁一(聖隷浜松病院)

監 事:大倉 善郎 (伊豆保健医療センター)

【顧問】

顧問:和田 健(髙橋整形リハビリクリニック)

また、役員皆さんの承認が得られれば山本前会 長を顧問として引き続き本会の運営にご協力いた だきたいと思いますがいかがでしょうか。

(会場、満場一致で承認)

それでは山本前会長には顧問としてこれからも 本会の運営にご尽力いただきたいと思いますので 引き続きご指導よろしくお願いいたします。

顧問:山本 英雄(聖隷袋井市民病院)

以上のメンバーで2年間取り組んでいきますの でご協力お願いいたします。

> 以上 議事録作成 河井淑裕

行事予定カレンダー

令和4年8月~11月)

8 月			9 月			10 月			11 月		
1	月		1	木		1	土	中部地区会第1回放射線セミナー・ 胃がん検診X線撮影従事者講習会	1	火	
2	火		2	金		2	日		2	水	
3	水		3	土		3	月		3	木	文化の日 秋季公開講演会
4	木		4	日		4	火		4	金	
5	金		5	月		5	水		5	土	
6	土		6	火		6	木		6	日	→ 第14回 中部放射線医療技術学術大会(愛知)
7	日		7	水		7	金		7	月	
8	月		8	木	第11回常任理事会(事務所)	8	土		8	火	編集委員会(二校)
9	火		9	金		9	日		9	水	
10	水	第9回常任理事会(事務所)	10	土	第12回 フレッシャーズセミナー	10	月	スポーツの日	10	木	第15回常任理事会(事務所)
11	木	山の日	11	日	中部地区静岡ふれあい広場	11	火		11	金	
12	金		12	月		12	水		12	土	第55回アンギオ部会研修会
13	土		13	火		13	木	第13回常任理事会(事務所)	13	日	
14	日		14	水		14	金		14	月	
15	月		15	木		15	土	第15回静岡県MRI技術研究会	15	火	
16	火		16	金		16	日		16	水	
17	水		17	土	→ 第38回 日本診療放射 線技師学術大会(神戸)	17	月		17	木	
18	木		18	日		18	火		18	金	
19	金		19	月	敬老の日	19	水		19	土	令和4年度原子力緊急時災害対策研修 会(第48回放射線技師のためのセミナー)
20	土		20	火		20	木		20	日	
21	日		21	水		21	金		21	月	
22	月		22	木	第12回常任理事会(Web会議)	22	土	第79回超音波部会研修会	22	火	
23	火		23	金	秋分の日	23	日	可美公園まつり(西部)	23	水	勤労感謝の日
24	水		24	土		24	月		24	木	第16回常任理事会(Web会議)
25	木	第10回常任理事会(Web会議)	25	日		25	火	編集委員会(初校)	25	金	編集委員会(ジャーナル発行)
26	金		26	月		26	水		26	土	東部地区会第1回放射線セミナー・ 胃がん検診X線撮影従事者講習会 第36回乳腺画像部会研修会
27	土	第2回理事会	27	火		27	木	第14回常任理事会(Web会議)	27	日	
28	日		28	水		28	金		28	月	
29	月		29	木		29	土		29	火	
30	火		30	金		30	日		30	水	
31	水					31	月				
den	_			_	県技師会・各地区会の広						

^{*}都合により変更になる場合があります。県技師会・各地区会の広報誌もしくは静岡県技師会ホームページにてご確認ください。

^{*}日放技主催の生涯学習セミナー・ADセミナー等は、JARTまたはNetwork Nowをご覧下さい。

編集後記

- *実はとある事情により、2年ぶりに再び編集理事の職をいただくこととなりました。 編集業務に関しては既に忘れていることばかりではありますが、少しずつ思い出しながら地道に取り組んでいきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。 常葉
- *もう2年間、編集委員としてお仕事をさせて頂きます。理事の常葉さんをはじめ、編集委員の方々 どうぞよろしくお願いいたします。また、今年度から中部地区会の会計も担当します。果たして自 分に務まるのか不安ではありますが、前向きに頑張ります。
- *初めまして。今年度から編集委員を担当させて頂くことになりました、静岡厚生病院の福地です。 まさか、読み手から委員の一員になるとは夢にも思っていませんでした。至らぬ点も多々あるかと 思いますが宜しくお願い致します。それでは、猛暑とコロナに負けず、お仕事頑張りましょう! 福地
- *夏野菜のおいしい季節になりました。昨年はゴーヤを栽培したところ大量に収穫できたのですが、 家族に今年はもういらないといわれてしまいました。おもしろいので今年も苗を植えてしまいました。今年の夏も"ステイファーム"収穫が楽しみです。 堀
- *60代最後の1年になりました。現役で仕事を続けられる喜びと両親の介護の大変さも喜びに変えて 毎日を過ごしています。もう若くはありませんが、できることは少しでも前向きに頑張っていこう と思っています。

発行所 : 〒420-0064 静岡市葵区本通1丁目3-5 フェリス本通り202

公益社団法人 静 岡 県 放 射 線 技 師 会

発行人 : 髙 橋 真編集者 : 常 葉 勇 介

印刷所 : 松本印刷株式会社 〒420-0054 静岡市葵区南安倍1丁目1番18号

TEL (054) 255 - 4862 FAX (054) 253 - 2309

事務所案内

執務時間:月曜日~金曜日 午前10時より午後1時まで

TEL (054) 251 - 5954

執務時間外は留守番電話にてお受けいたします。 FAX(054)251 - 9690

URL http://shizuhogi.jp

E-mail address: info-shizuokahousya@shizuhogi.jp